DocuPrint 3100/3000

PostScript ユーザーズガイド

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは富士ゼロックスの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本機を PostScript プリンターとして使用するときに、最初に読んでいただきたいマニュアルです。

なお、本書の内容は、プリンターの操作方法、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属のマニュアルをお読みください。

また、本書は製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じてお読みください。

富士ゼロックス株式会社

マニュアル体系

本製品には、次のマニュアルを用意しています。

■PostScript ユーザーズガイド　＜本書＞

本機を PostScript プリンターとして使用するための、ドライバーのインストール方法や設定できる機能について説明しています。

■PostScript Driver Library について

PostScript Driver Library の CD-ROM のディレクトリー構成について、説明しています。

本機には、次のマニュアルが同梱されています。プリンター機能としての設定 / 操作方法、ネットワーク環境の設定などについて参照してください。

■ セットアップガイド

本機の設定手順を説明しています。

■ 知りたい、困ったにこたえる本

プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1 冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、オプションの増設システムメモリーやセキュリティ拡張キット、パラレルインターフェースカードの取り付け手順について説明します。

■ ユーザーズガイド（PDF）

本機の設定が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について説明しています。

このマニュアルは、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM 内に収録されています。

■ エミュレーション設定ガイド（PDF）

ART Ⅳ、ESC/P、PCL、PC-PR201H、HP-GL、HG-PL2 の各エミュレーションについて説明しています。

このマニュアルは、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM 内に収録されています。

本書の使い方

ここでは、本書の読み方について説明します。

本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

■1 概要

このマニュアルの概要、インストール時の機種名などについて説明しています。

■2 プリンタードライバーのインストール（Windows）

Microsoft® Windows® でのプリンタードライバーのインストール方法と、機種共通の設定項目について説明しています。

■3 プリンタードライバーのインストール（Macintosh）

Macintosh でのプリンタードライバーおよびユーティリティソフトウエアのインストール方法と、各種設定項目について説明しています。

■4 プリンタードライバーの設定（Windows）

プリンタードライバーの固有機能の設定方法や、使用できるフォントなどについて説明しています。

■5 プリンタードライバーの設定（Macintosh）

プリンタードライバーの固有機能の設定方法や、使用できるフォントなどについて説明しています。

■6 バーコード /OCR-B の設定

PostScript ソフトウエアキットを装着することにより、バーコードをプリントできる機種について、対応するバーコードの種類、バーコードキャラクタに割り当てられた文字コード、プリントされるバーコードのサイズなどについて説明しています。

本書の表記

- 各種ドライバーやユーティリティソフトウエアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記
- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

参照
- 参照先を記述しています。

補足
- 補足事項を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

『　』:	参照するマニュアルを表します。
「　」:	本書内にある参照先を表します。 また、CD-ROM、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表します。
[　]:	本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。また、コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。
〈　〉ボタン:	操作パネル上のハードウエアボタンを表します。
〈　〉キー:	コンピューターのキーボード上のキーを表します。

- チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。
- ラジオボタンは、チェックされている項目が、選択されている項目です。

目次

1　概要

同梱品の確認と設置

PostScript ソフトウエアキットの同梱品と設置については、PostScript ソフトウエアキットに同梱されているマニュアルを参照してください。

お使いの機種によっては、マニュアルが同梱されていないことがあります。その場合は、弊社カストマーエンジニアが同梱品の確認と設置を行います。

プリンタードライバーインストール時のプリンター名について

プリンタードライバーをインストールするときに選択するモデル名は、下表の「インストール時のプリンター名」と書体の組み合わせで表示されます。

インストール時のプリンター名	お使いの機種名
FX DocuPrint 3100	DocuPrint 3100
FX DocuPrint 3000	DocuPrint 3000

書体の表示について

「インストール時のプリンター名」のあとに表示される文字列は、PostScript ソフトウエアキットに入っている書体を表します。お使いの PostScript ソフトウエアキットに合わせて選択してください。

- ××××× PS J2: モリサワ 2 書体
- ××××× PS H3: 平成 3 書体

注記

- モリサワ書体を使用する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーを自動でインストールすると、適切なプリンタードライバーがインストールされないで、印刷エラーが発生することがあります。
  インストールする場合は、「Windows の「プリンタの追加ウィザード」を利用してインストールする」(P.33) を参照してください。USB ポートを利用してプリントする場合は、「USB ポートを利用する」(P.48) を参照してください。

補足

- ×××××には、プリンター名が入ります。
- お使いの PostScript ソフトウエアキットの書体は、機能設定リスト、またはプリンター設定リストで確認できます。

プリンターに対応した PPD ファイル名について

プリンター名に対応した PPD ファイル名は、次のとおりです。

Windows 用 PPD ファイル名

お使いの機種名	フォント	PPD ファイル名	プリンター名
DocuPrint 3100	モリサワ２書体	FXBN2W21.PPD	FX DocuPrint 3100 PS J2
	平成３書体	FXBN2X31.PPD	FX DocuPrint 3100 PS H3
DocuPrint 3000	モリサワ２書体	FXBN1W21.PPD	FX DocuPrint 3000 PS J2
	平成３書体	FXBN1X31.PPD	FX DocuPrint 3000 PS H3

Mac OS 用 PPD ファイル名

お使いの機種名	フォント	PPD ファイル名 / プリンター名
DocuPrint 3100	モリサワ２書体	FX DocuPrint 3100 PS J2
	平成３書体	FX DocuPrint 3100 PS H3
DocuPrint 3000	モリサワ２書体	FX DocuPrint 3000 PS J2
	平成３書体	FX DocuPrint 3000 PS H3

利用可能なソフトウエアと対象 OS について

「PostScript Driver Library」の CD-ROM で利用可能なソフトウエアと OS は次のとおりです。

補足
- このCD-ROMに格納されていない対象ドライバーは、ホームページからダウンロードしてください。

Windows 用ソフトウエア

分類	ソフトウエア	対象 OS
プリンター ドライバー	Microsoft 社製日本語版プリンタードライバー（MS Pscript5）+ 弊社製 Plugin ドライバー+PPD ファイル	• Windows 2000 • Windows XP • Windows XP 64 ビット版 • Windows Server 2003 • Windows Server 2003 64 ビット版 • Windows Vista • Windows Vista 64 ビット版 • Windows 7 • Windows 7 64 ビット版 • Windows Server 2008 • Windows Server 2008 64 ビット版 • Windows Server 2008 R2
	Microsoft 社製英語版プリンタードライバー（MS Pscript5）+ 弊社製 Plugin ドライバー+PPD ファイル	• Windows 2000 • Windows XP • Windows XP 64 ビット版 • Windows Server 2003 • Windows Server 2003 64 ビット版 • Windows Vista • Windows Vista 64 ビット版 • Windows 7 • Windows 7 64 ビット版 • Windows Server 2008 • Windows Server 2008 64 ビット版 • Windows Server 2008 R2
PPD ファイル	Windows アプリケーション用 PPD ファイル（日本語版）	• Windows 2000 • Windows XP • Windows XP 64 ビット版 • Windows Vista • Windows Vista 64 ビット版 • Windows Server 2003 • Windows Server 2003 64 ビット版 • Windows 7 • Windows 7 64 ビット版 • Windows Server 2008 • Windows Server 2008 64 ビット版 • Windows Server 2008 R2
スクリーン フォント	Adobe 社製 Windows スクリーンフォント PostScript 3 標準 136 書体（欧文）	• Windows 2000 • Windows XP • Windows XP 64 ビット版 • Windows Vista、 • Windows Vista 64 ビット版 • Windows 7 • Windows 7 64 ビット版 • Windows Server 2003 • Windows Server 2003 64 ビット版 • Windows Server 2008 • Windows Server 2008 64 ビット版 • Windows Server 2008 R2

分類	ソフトウエア	対象 OS
Adobe Reader	日本語版 Adobe Reader（9.3.3）[*1]	—

[*1] Adobe Reader の対象システムについては、Adobe 社のホームページなどを参照してください。

Macintosh 用ソフトウエア

分類	ソフトウエア	対象 OS
プリンタードライバー	Adobe 社製日本語版プリンタードライバー（Ver:8.8J）+PPD ファイル	Mac OS 9.2.2 日本語版（Mac OS Classic を含む）
	Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11 用PPD インストールパッケージ(日本語用)+ 弊社製 Plugin ドライバー	Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11 日本語版（10.4.7 を除く）
	Mac OS X 10.5 - 10.6 用 PPD インストールパッケージ（日本語用）+ 弊社製 Plugin ドライバー	Mac OS X 10.5 - 10.6 日本語版
プリンタ記述ファイル	日本語版	—
	英語版	—
スクリーンフォント	欧文フォント / 和文フォント	—
和文フォント	和文モリサワ 2 書体	Mac OS 9.2.2 日本語版
	和文平成 3 書体	Mac OS 9.2.2 日本語版
PS Utility	弊社製 Macintosh 用 PS Utility 日本語版（Ver: 1.5.0）[*1]	—

[*1] 接続する機種によって、使用できる機能が異なります。

補足

- 本マニュアル（PDF）を閲覧する場合は、Mac OS X の［プレビュー］を使うか、Adobe 社のホームページから Adobe Reader をダウンロードしてください。

プリンター側の設定

PostScript ソフトウエアキットを装着すると、PostScript に関する設定項目が追加されます。追加される項目は、お使いの機種によって異なります。

追加される設定項目と操作方法の詳細については、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM 内の『ユーザーズガイド』を参照してください。

UNIX 環境で使用するには

プリンターを UNIX 環境で使用する場合の設定方法、および操作の詳細については、本機に同梱されているマニュアル、またはドライバー CD キットの CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

なお、UNIX 環境で使用するには、UNIX フィルター(エイセル株式会社製)が必要です。

最新版ソフトウエアの入手方法

最新版ソフトウエアは、インターネットのホームページで提供しています。ダウンロードしてお使いください。

なお、通信費用はお客様の負担となりますので、ご了承ください。

ダウンロードページのアドレスは、次のとおりです。

http://www.fujixerox.co.jp/download/

補足

- 本書を Adobe Acrobat 6.0 以上で開き、上記アドレスをクリックすると、そのページにジャンプします。

PostScript フォント一覧

和文

■モリサワ 2 書体

- リュウミン L-KL
- 中ゴシック BBB

■平成 3 書体

- 平成明朝体 TMW3
- 平成角ゴシック体 TMW5
- 平成丸ゴシック体 TMW4

欧文

■136 書体

- Albertus, Albertus Italic, Albertus Light
- Antique Olive Roman, Antique Olive Italic, Antique Olive Bold, Antique Olive Compact
- Apple Chancery
- Arial, Arial Italic, Arial Bold, Arial Bold Italic
- Bodoni Roman, Bodoni Italic, Bodoni Bold, Bodoni Bold Italic, Bodoni Poster, Bodoni Poster Compressed
- ITC Bookman Light, ITC Bookman Light Italic, ITC Bookman Demi, ITC Bookman Demi Italic
- Carta
- Chicago
- Clarendon Roman, Clarendon Bold, Clarendon Light
- Cooper Black, Cooper Black Italic
- Copperplate Gothic 32BC, Copperplate Gothic 33BC
- Coronet
- Courier, Courier Oblique, Courier Bold, Courier Bold Oblique
- Eurostile Medium, Eurostile Bold
- Eurostile Extended No. 2, Eurostile Bold Extended No. 2
- Geneva
- Gill Sans, Gill Sans Italic, Gill Sans Bold, Gill Sans Bold Italic, Gill Sans Light, Gill Sans Light Italic, Gill Sans Extra Bold, Gill Sans Condensed, Gill Sans Condensed Bold
- Goudy Oldstyle, Goudy Oldstyle Italic, Goudy Bold, Goudy Bold Italic, Goudy Extra Bold
- Helvetica, Helvetica Oblique, Helvetica Bold, Helvetica Bold Oblique

- Helvetica Narrow, Helvetica Narrow Oblique, Helvetica Narrow Bold, Helvetica Narrow Bold Oblique
- Helvetica Condensed, Helvetica Condensed Oblique, Helvetica Condensed Bold, Helvetica Condensed Bold Oblique
- Hoefler Text, Hoefler Text Italic, Hoefler Text Black, Hoefler Text Black Italic, Hoefler Ornaments
- ITC Avant Garde Gothic Book, ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, ITC Avant Garde Gothic Demi, ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
- ITC Lubalin Graph Book, ITC Lubalin Graph Book Oblique, ITC Lubalin Graph Demi, ITC Lubalin Graph Demi Oblique
- ITC Mona Lisa Recut
- ITC Zapf Chancery Medium Italic
- ITC Zapf Dingbats
- Joanna, Joanna Italic, Joanna Bold, Joanna Bold Italic
- Letter Gothic, Letter Gothic Slanted, Letter Gothic Bold, Letter Gothic Bold Slanted
- Marigold
- Monaco
- New Century Schoolbook Roman, New Century Schoolbook Italic, New Century Schoolbook Bold, New Century Schoolbook Bold Italic
- New York
- Optima Roman, Optima Italic, Optima Bold, Optima Bold Italic
- Oxford
- Palatino Roman, Palatino Italic, Palatino Bold, Palatino Bold Italic
- Stempel Garamond Roman, Stempel Garamond Italic, Stempel Garamond Bold, Stempel Garamond Bold Italic
- Symbol
- Tekton Regular
- Times Roman, Times Italic, Times Bold, Times Bold Italic
- Times New Roman, Times New Roman Italic, Times New Roman Bold, Times New Roman Bold Italic
- Univers 45 Light, Univers 45 Light Oblique
- Univers 53 Extended, Univers 53 Extended Oblique
- Univers 55, Univers 55 Oblique
- Univers 57 Condensed, Univers 57 Condensed Oblique
- Univers 63 Extended Bold, Univers 63 Extended Bold Oblique
- Univers 65 Bold, Univers 65 Bold Oblique
- Univers 67 Condensed Bold, Univers 67 Condensed Bold Oblique
- Wingdings

2 プリンタードライバーのインストール（Windows）

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM（PostScript Driver Library）に同梱されているものは、次のとおりです。

補足

- Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7 および Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 で利用できます。
- 次の各フォルダーは、CD-ROM の中の「Japanese」フォルダー、「English」フォルダーのどちらか、または両方にあります。

■「Win2K_Vista」フォルダー内の「DocuPrint_3100」フォルダー

Microsoft 社製 PostScript Driver に弊社機の機能を追加したプリンタードライバーをインストールするための、INF ファイルと日本語版の PPD ファイルが入っています。32bit 版の OS に対応しています。

■「WinX64」フォルダー内の「DocuPrint_3100」フォルダー

Microsoft 社製 PostScript Driver に弊社機の機能を追加したプリンタードライバーをインストールするための、INF ファイルと日本語版の PPD ファイルが入っています。64bit 版の OS に対応しています。

■「WinPPD」フォルダー内の「DocuPrint_3100」フォルダー

PPD ファイルが入っています。アプリケーションなどに PPD ファイルを追加するときに使用します。

■「Utility」フォルダー内の「WinScreenFont」フォルダー

プリンターフォントに対応した、スクリーンフォント 136 書体（TrueType 形式の 19 書体と Type1 形式の 117 書体）が入っています。

「TrueType （Core OS）fonts」フォルダーに、TrueType フォント 19 書体が入っています。

■「Utility」フォルダー内の「WinAR」フォルダー

Windows 用の Adobe Reader が入っています。

■readme ファイル

プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。また、各フォルダー内の「readme.txt」にも、プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。

ソフトウエアの動作環境

Windows 用のプリンタードライバーの動作環境は、次のとおりです。

■コンピューター本体

- Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 が動作する、IBM PC/AT、およびその互換機

■基本ソフトウエア

- Microsoft Windows 2000 Professional
- Microsoft Windows 2000 Server
- Microsoft Windows XP Home Edition
- Microsoft Windows XP Professional
- Microsoft Windows XP Professional x64 Editions
- Microsoft Windows Server 2003
- Microsoft Windows Server 2003 x64 Editions
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows Vista 64 ビット版
- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows 7 64 ビット版
- Microsoft Windows Server 2008
- Microsoft Windows Server 2008 64 ビット版
- Microsoft Windows Server 2008 R2

プリンタードライバーのインストール

付属の CD-ROM から「ドライバーインストールツール」を起動して、日本語版の Microsoft 社製 PostScript Driver に弊社機の機能を追加したプリンタードライバーをインストールできます。プリンタードライバーのインストール方法は、標準セットアップとカスタムセットアップがあります。
また、付属の「ドライバーインストールツール」を利用しないで、Windows の「プリンタの追加ウィザード」を利用して、プリンタードライバーをインストールすることもできます。

■標準セットアップ

LPR（TCP/IP）プリンター（ネットワーク接続）を自動検索し、1 回の操作で複数のプリンターをセットアップします。特に指定がなければ、こちらのセットアップをお勧めします。

参照

• インストールの方法については「標準セットアップ」（P.23）を参照してください。

■カスタムセットアップ

LPR（TCP/IP）/SMB プリンター、NetWare 共有プリンター、パラレルポートを指定してインストールできます。1 回の操作で 1 台のプリンターをセットアップします。

補足

• ローカルプリンターを指定する場合、プリンターオプションの自動設定は行われませんで、インストール後にプリンターのプロパティで設定してください。
• パラレルポートはオプション（パラレルインターフェースカード）を接続している場合、使用できます。

参照

• LPR（TCP/IP）プリンターを指定する場合
「TCP/IP ネットワークで接続されたプリンターの場合」（P.25）を参照してください。
• SMB プリンターを指定する場合
「Windows ネットワークで接続されたプリンターの場合」（P.26）を参照してください。
• 共有プリンターを指定する場合
「Windows サーバー上の共有プリンターの場合」（P.28）、「NetWare サーバー上の共有プリンターの場合」（P.29）を参照してください。
• ローカルプリンターを指定する場合
「既存のポートを利用する場合」（P.30）、「ローカルプリンターの場合」（P.32）を参照してください。

■Windows の［プリンタの追加ウィザード］を利用してインストールする

「ドライバーインストールツール」を使わないで、Windows の［プリンタの追加ウィザード］を利用してプリンタードライバーをインストールします。

参照

• 「Windows の「プリンタの追加ウィザード」を利用してインストールする」（P.33）を参照してください。

■USB ポートを利用する

USB 接続をしてプリンタードライバーをインストールします。

参照

• 「USB ポートを利用する」（P.48）を参照してください。

標準セットアップ

付属の CD-ROM から「ドライバーインストールツール」を起動して、標準セットアップでコンピューターにプリンターを追加する手順を説明します。

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

補足

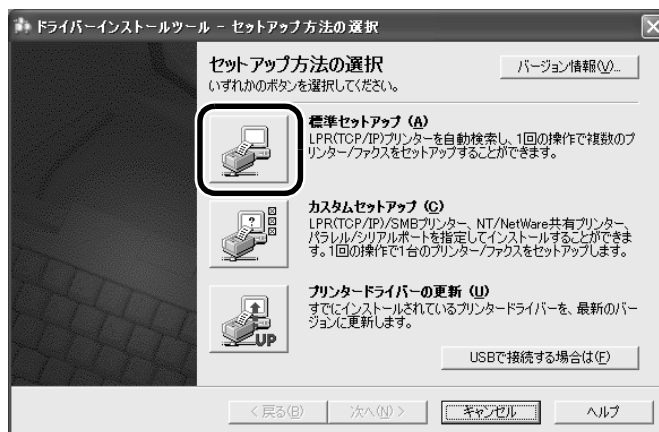
- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1つ前の画面に戻ります。

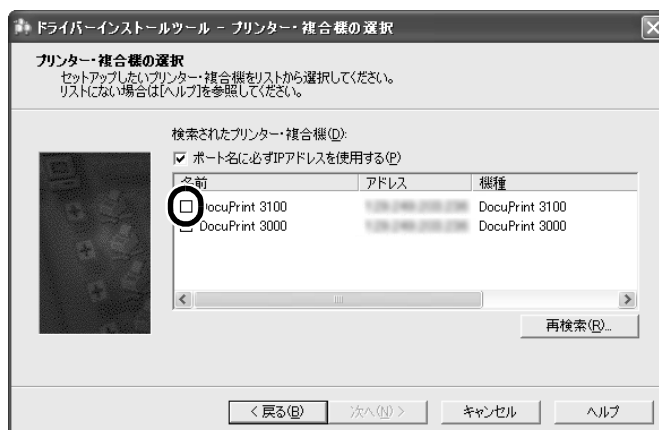
1 Windows XP を起動します。

補足

- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows XP に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［標準セットアップ］をクリックします。

［プリンター・複合機の選択］画面が表示されます。
同じサブネット内で TCP/IP または LPD 接続されているプリンターが検索され、［検索されたプリンター・複合機］に一覧が表示されます。

4 ［検索されたプリンター・複合機］から、お使いの機種にチェックマークを付けてください。

補足

- お使いになる機種が検索されない場合は、次のことを確認してください。
  - プリンターの IP アドレスの確認
    CIDR（Classless Inter Domain Routing）に対応している機種については、ドライバー CD キットの CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。CIDR に対応していない機種では、サブネットマスクを「255.255.240.0」と設定した場合も、「255.255.255.0」として動作します。
  - SNMP UDP/IP ポートが起動されているか
    それでも検索されない場合は、[戻る] をクリックして [カスタムセットアップ] をクリックし、作業を進めてください。
- プリンターは、複数選択できます。
  表示されている機種名、IP アドレスを確認して対象プリンターを特定し、選択してください。
  [検索されたプリンター・複合機] に一覧表示されているプリンターを選択すると、左側にプリンターのグラフィックが表示されます。

参照

- [カスタムセットアップ] については、次のページを参照してください。

  - 「カスタムセットアップ」（P.25）
  - 「Windows ネットワークで接続されたプリンターの場合」（P.26）
  - 「Windows サーバー上の共有プリンターの場合」（P.28）
  - 「NetWare サーバー上の共有プリンターの場合」（P.29）
  - 「既存のポートを利用する場合」（P.30）
  - 「ローカルプリンターの場合」（P.32）

5 [次へ] をクリックします。
[使用許諾条件への同意] 画面が表示されます。

補足

- [プリンタードライバの選択] 画面が表示されることがあります。その場合には、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して [次へ] をクリックしてください。

6 内容を確認して、同意する場合は [同意する] をチェックして、[インストール] をクリックします。
インストールが開始されます。
インストールが完了すると、[セットアップ完了] 画面が表示されます。

7 [追加 / 更新されたプリンター] のリストの中から、お使いの機種を選択して、[テスト印刷] をクリックします。

プリンターからテスト印刷のページがプリントされます。

8 [完了] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

9 ［はい］をクリックします。
インストールが終了します。

カスタムセットアップ

付属の CD-ROM から「ドライバーインストールツール」を起動して、カスタムセットアップでコンピューターにプリンターを追加する手順を説明します。

TCP/IP ネットワークで接続されたプリンターの場合

TCP/IP でネットワークで接続されたプリンター用にプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。
LPR（TCP/IP）プリンターを指定してインストールします。

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

補足

- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1つ前の画面に戻ります。

1 Windows XP を起動します。

補足

- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows XP に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。
［プリンター指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［LPD（TCP/IP）プリンターを指定する］を選択して、［次へ］をクリックします。
［LPD（TCP/IP）プリンターの指定］画面が表示されます。
同じサブネット内で TCP/IP または LPD 接続されたプリンターが検索され、［指定できるプリンター］に一覧が表示されます。

5 お使いの機種を［指定できるプリンター］から選択して、［次へ］をクリックします。
インストールを確認する画面が表示されます。

補足

- ［指定できるプリンター］に目的のプリンターが表示されない場合は、お使いの環境によって次の操作を行います。
  - IPv4（インターネットプロトコル バージョン 4）を使用している場合：
    IP アドレスまたはホスト名が分かっている場合は、［IP アドレス］または［ホスト名］をチェックし、IP アドレスまたはホスト名を直接入力します。このとき、IP アドレスは「X.X.X.X」（X は 255 以下の数字。ピリオドの省略不可）の形式で入力してください。
    プリンターを検索する場合は、［検索範囲］をクリックして、IP サブネットアドレスを指定します。（CIDR（Classless Inter Domain Routing）に対応している機種については、ドライバー CD キットの CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。CIDR に対応していない機種では、サブネットマスクを「255.255.240.0」と設定した場合も、「255.255.255.0」として動作します。）
  - IPv6（インターネットプロトコル バージョン 6）を使用している場合：
    ［IP アドレス］または［ホスト名］をチェックし、IP アドレスまたはホスト名を直接入力します。他のサブネット上にあるプリンターの IP アドレスを指定する場合は、必ずグローバルアドレスを指定してください。
    検索範囲を指定したプリンターの検索はできません。

6 設定を確認して、［はい］を選択します。
［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

補足
- ［プリンタードライバの選択］画面が表示される場合があります。その場合には、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

7 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。
インストールが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

8 ［テスト印刷］をクリックします。
プリンターからテスト印刷のページがプリントされます。

9 ［完了］をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

10 ［はい］をクリックします。
インストールが終了します。

Windows ネットワークで接続されたプリンターの場合

Windows でネットワークで接続されたプリンター用にプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。
SMB プリンターを指定してインストールします。

TCP/IP プロトコルと NetBEUI プロトコルの場合の操作手順があります。

補足
- NetBEUI プロトコルは、Windows 2000 のみに対応しています。
- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1つ前の画面に戻ります。

■TCP/IP プロトコルを使用する場合

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

1 Windows XP を起動します。

補足
- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows XP に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。
［プリンター指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［SMB プリンターを指定する］を選択して、［次へ］をクリックします。
［SMB プリンターの指定］画面が表示されます。

5 ［ホスト名］に、対象プリンターのホスト名を入力するか、［指定できるプリンター］から、お使いの機種を選択して、［次へ］をクリックします。
インストールを確認する画面が表示されます。

補足
- 対象プリンターのホスト名は、機能設定リスト（プリンター設定リスト）をプリントすると確認できます。
  ［指定できるプリンター］にお使いの機種が表示されていない場合は、［ワークグループ］で、お使いの機種のワークグループ名または、ドメイン名を選択してから、[機種の選択］をクリックします。

6 設定を確認して、［はい］を選択します。

7 ［次へ］をクリックします。
［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

補足
- ［プリンタードライバの選択］画面が表示される場合があります。その場合には、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

8 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。
インストールが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

9 ［テスト印刷］をクリックします。
プリンターからテスト印刷のページがプリントされます。

10 ［完了］をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

11 ［はい］をクリックします。
インストールが終了します。

■NetBEUI プロトコルを使用する場合

ここでは、Windows 2000 を例にインストール操作の手順を説明します。

1 Windows 2000 を起動します。

補足
- NetBEUI プロトコルは、Windows 2000 のみに対応しています。
- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。
  「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。
［プリンター指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［共有プリンターを指定する］を選択します。

5 ［次へ］をクリックします。
［共有プリンターの指定］画面が表示されます。

6 ［共有名］にプリンター名を、「¥¥コンピューター名¥共有プリンター名」の書式で入力、または、［参照］をクリックして表示される画面で共有プリンターを選択し、［次へ］をクリックします。
［プリンターの指定］画面が表示されます。

7 ［機種］を選択して、［次へ］をクリックします。
［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

補足
- 「IPアドレス/ホスト名/IPXアドレスを入力しないで処理を続けますか？」というメッセージが表示されるので、［はい］をクリックしてください。プリンタードライバで対応するプリンターのオプション（例：用紙トレイ数やフィニッシャーの有無など）を自動的に設定するには、IP アドレス / ホスト名 /IPX アドレスのどれかの入力が必要です。

8 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。
インストールが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

9 ［プロパティ］をクリックして、デバイスオプションの設定をします。

補足
- オプションを必ず設定してください。オプションの種類については、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

10 ［テスト印刷］をクリックします。
プリンターのテスト印刷のページがプリントされます。

11 ［完了］をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

12 ［はい］をクリックします。
インストールが終了します。

Windows サーバー上の共有プリンターの場合

Windows サーバー上の共有プリンター用プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

補足
- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1 つ前の画面に戻ります。

1 Windows XP を起動します。

補足
- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows XP に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。
［プリンター指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［共有プリンターを指定する］を選択します。

5 ［次へ］をクリックします。
［共有プリンターの指定］画面が表示されます。

6 ［共有名］にプリンター名を、「￥￥コンピューター名￥共有プリンター名」の書式で入力、または、［参照］をクリックして表示される画面で共有プリンターを選択します。

7 ［次へ］をクリックします。
［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

補足

- 指定したプリンターが確認できなかった場合は、［プリンターの指定］画面が表示されます。
［IP アドレス］、［ホスト名］、［IPX アドレス］のどれかを入力し、［お使いの機種］を選択して［次へ］をクリックします。確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。
- ［プリンタードライバーの選択］画面が表示される場合があります。その場合には、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」(P.12) を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

8 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。
インストールが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

9 ［テスト印刷］をクリックします。
プリンターのテスト印刷のページがプリントされます。

10 ［完了］をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

11 ［はい］をクリックします。
インストールが終了します。

NetWare サーバー上の共有プリンターの場合

NetWare サーバー上の共有プリンター用プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

補足

- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1つ前の画面に戻ります。

1 Windows XP を起動します。

補足

- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。
「Administrators」グループの詳細については、Windows XP に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。
［プリンター指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［共有プリンターを指定する］を選択して、［次へ］をクリックします。
［共有プリンターの指定］画面が表示されます。

5 ［共有名］に対象プリンターが使用できるオブジェクトを、「¥¥サーバー名¥キュー名」または「¥¥ツリー名¥コンテキスト名¥・・・¥キュー名」の書式で入力するか、［参照］をクリックして表示される画面で共有プリンターを選択します。

補足
- 「・・・」の部分は、ネットワークの環境によって設定してください。

6 ［次へ］をクリックします。

補足
- 指定したプリンターが確認できなかった場合は、［プリンターの指定］画面が表示されます。
［IP アドレス］、［ホスト名］、［IPX アドレス］のどれかを入力し、［お使いの機種］を選択 して［次へ］をクリックします。確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。

7 お使いの機種を選択して、［次へ］をクリックします。
［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

補足
- ［プリンタードライバの選択］画面が表示される場合があります。その場合には、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

8 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。
インストールが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

補足
- インストール終了後に、オプションを必ず設定してください。
Windows の［スタート］メニューから［設定］＞［プリンタと FAX］の順にクリックします。インストールしたプリンターのプロパティを開いて、［プリンタ構成］タブでオプションを設定します。
オプションについては、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

9 ［テスト印刷］をクリックします。
プリンターからテスト印刷のページがプリントされます。

10 ［完了］をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

11 ［はい］をクリックします。
インストールが終了します。

既存のポートを利用する場合

コンピューター本体の既存のポートを指定してインストールします。プリンターオプションの自動設定は行われませんので、インストール後にプリンターのプロパティで設定してください。

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

補足
- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1 つ前の画面に戻ります。

1 Windows XP を起動します。

補足
- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows XP に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。
［プリンター指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［ローカルプリンターを指定する］を選択して、［次へ］をクリックします。
［ローカルプリンターの指定］画面が表示されます。

5 ［ポート］から既存のポートと［機種］から機種を選択して、［次へ］をクリックします。
［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

注記
- 次のホスト名は、選択しないでください。
  - IP アドレス（ホスト名）：ART
  - IP アドレス（ホスト名）：PS
  - IP アドレス（ホスト名）：エミュレーション

補足
- ［プリンタードライバの選択］画面が表示される場合があります。その場合には、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

6 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。
インストールが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

7 ［テスト印刷］をクリックします。
プリンターからテスト印刷のページがプリントされます。

補足
- ［通常使うプリンタの設定］で選択されているプリンターが、通常使うプリンターになります。
- ［追加 / 更新されたプリンタ］のリストで選択しているプリンターが 1 つで、Windows 2000 / XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008 のときには、共有の設定をクリックすると、そのプリンターを共有プリンターに設定できます。
- ［プリンタ名の変更］をクリックして表示される画面で、プリンター名を変更できます。
- ［追加 / 更新されたプリンタ］のリストで選択しているプリンターが 1 つの場合は、［プロパティ］をクリックして表示される画面で、プリンターのプロパティを確認できます。
- ［印刷指示の設定］をクリックして表示されるプリンターのプロパティで、設定情報を変更できます。
- ［繰り返し］をクリックすると起動画面に戻り、続けてほかのプリンターを追加できます。

8 ［完了］をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

9 ［はい］をクリックします。
インストールが終了します。

ローカルプリンターの場合

コンピューター本体のパラレルポートを指定してインストールします。プリンターオプションの自動設定は行われませんので、インストール後にプリンターのプロパティで設定してください。
あらかじめ、お使いの機種のマニュアルを参照して、「機能設定リスト（プリンター設定リスト）」を用意してください。

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

補足
- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1 つ前の画面に戻ります。

1 Windows XP を起動します。

補足
- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows XP に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。
［プリンター指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［ローカルプリンターを指定する］を選択して、［次へ］をクリックします。
［ローカルプリンターの指定］画面が表示されます。

5 ［ポート］から既存のポートと［機種］から機種を選択して、［次へ］をクリックします。［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

注記
- この方法で追加したプリンターは「ドキュメントモニター」を使用しても、プリンターの状態やユーザー自身がプリントを指示したドキュメントの状態を取得できません。

補足
- ［プリンタードライバの選択］画面が表示される場合があります。その場合には、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

6 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。
インストールが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

7 ［プロパティ］をクリックして、オプションの設定をします。

補足
- オプションを必ず設定してください。オプションの種類については、お使いの機種のマニュアルを参照してください。インストール終了後は、インストールしたプリンターのプロパティを開き、［プリンター構成］タブの［オプションの設定］を表示して設定します。［プリンター構成］タブの表示方法については、「［プリンター構成］タブ」（P.90）を参照してください。

8 ［テスト印刷］をクリックします。
プリンターからテスト印刷のページがプリントされます。

9 ［完了］をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

10 ［はい］をクリックします。
インストールが終了します。

Windows の「プリンタの追加ウィザード」を利用してインストールする

付属の CD-ROM から「ドライバーインストールツール」を使わないで、コンピューターにプリンターを追加する手順を説明します。

Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

補足

- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1 つ前の画面に戻ります。

1 Windows XP を起動します。

補足

- 「Power User」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Power User」グループの詳細については、Windows XP に付属のマニュアルを参照してください。

2 ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］を選択します。

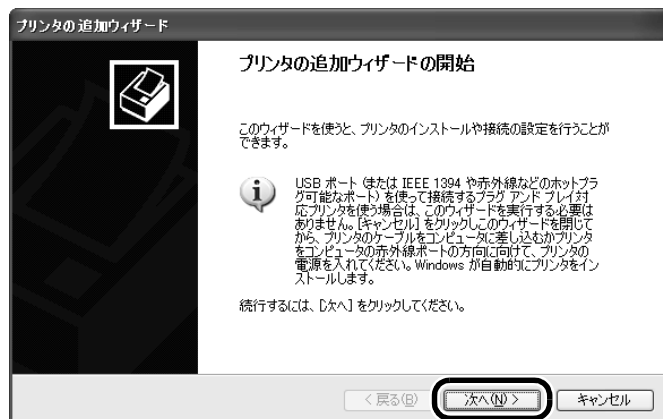
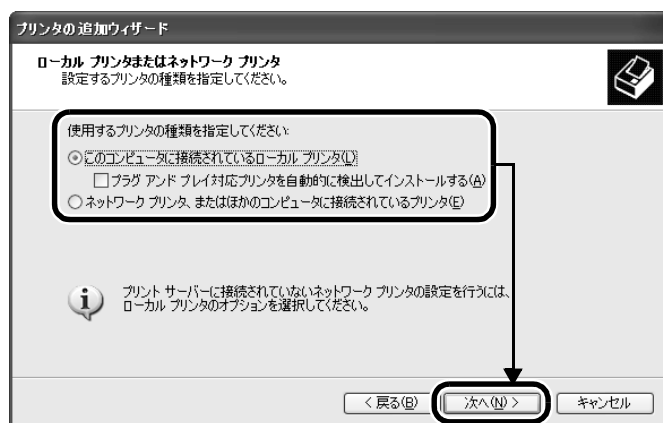
補足

- Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］を選択します。

3 ［プリンタのタスク］から［プリンタのインストール］を開きます。

補足

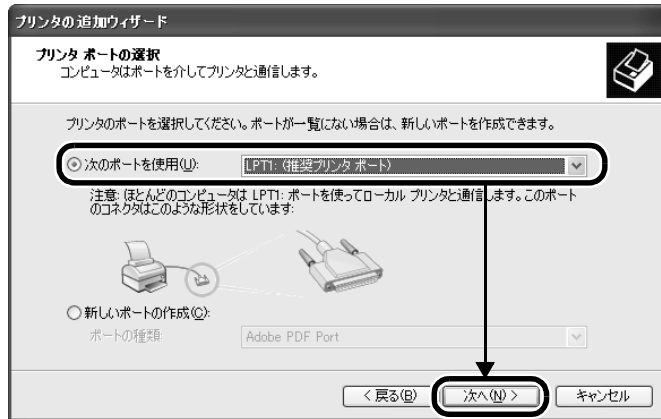
- Windows 2000 の場合は［プリンタ］のウィンドウから［プリンタの追加］を開きます。

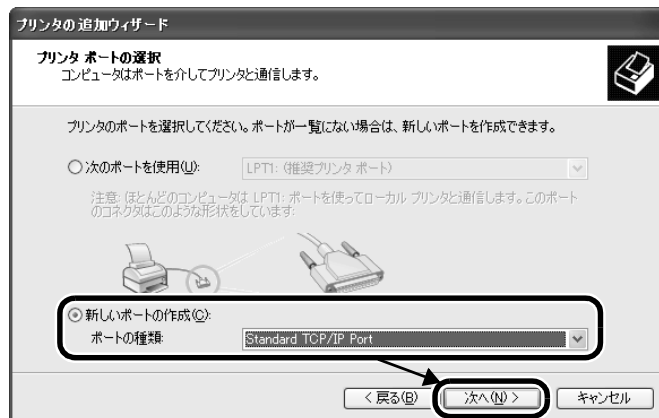
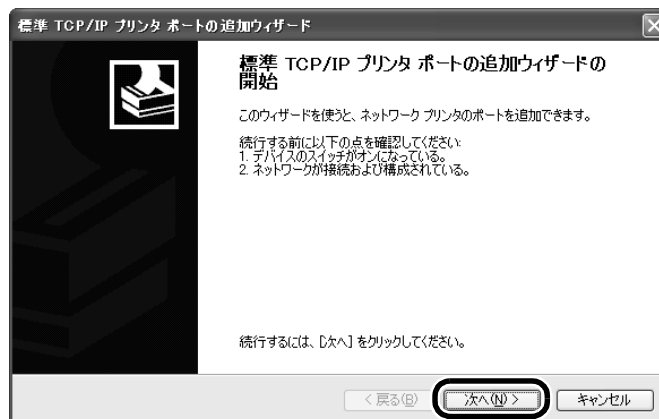
4 ［次へ］をクリックします。

5 プリンターの接続方法を選択して、［次へ］をクリックします。

プリンターが直接コンピューターに接続されているとき、またはプリンターが TCP/IP 環境にネットワークプリンターとして接続されているときは、［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。それ以外は、［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択します。

補足

- Windows 2000の場合、プリンターが直接コンピューターに接続されているとき、またはプリンターが TCP/IP 環境にネットワークプリンターとして接続されているときは、［ローカルプリンタ］を選択します。それ以外は、［ネットワークプリンタ］を選択します。
- ［ローカルプリンタ］、または［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択した場合は、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスをオフにしてください。
- ［ネットワークプリンタ］、または［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択した場合は、［プリンタの指定］画面で対象プリンターを設定します。

ポートを選択する画面が表示されます。

6 使用するポートを選択して、［次へ］をクリックします。

■LPR プロトコルを使用してプリンターに直接接続する場合

1) ［新しいポートの作成］をクリックし、［ポートの種類］メニューから［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

2) ［次へ］をクリックします。

3) ［プリンタ名または IP アドレス］にプリンターの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

4)「ポート情報がさらに必要です。」と表示された場合は、［デバイスの種類］の［標準］で、お使いの機種のシリーズ名を選択し、［次へ］をクリックしてください。

5) 表示される画面で、［完了］をクリックします。

7 「PostScript Driver Library」の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

8 ［ディスク使用］をクリックします。

9 ［製造元のファイルのコピー元］に「x:¥Japanese¥Win2K_Vista¥DocuPrint_3100」と入力して、［OK］をクリックします。

補足

- ここでは、CD-ROM のドライブ名を「x:」として説明しています。CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブ名を指定してください。
- 64 ビットの場合は「x:¥Japanese¥WinX64¥DocuPrint_3100」と入力します。
- 英語版のドライバーを指定するときは「Japanese」の代わりに「English」と指定します。
- ［参照］をクリックして、CD-ROM 内のフォルダーを直接指定することもできます。

10 ［プリンタ］一覧の中から、機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせてモデルを選択して、［次へ］をクリックします。

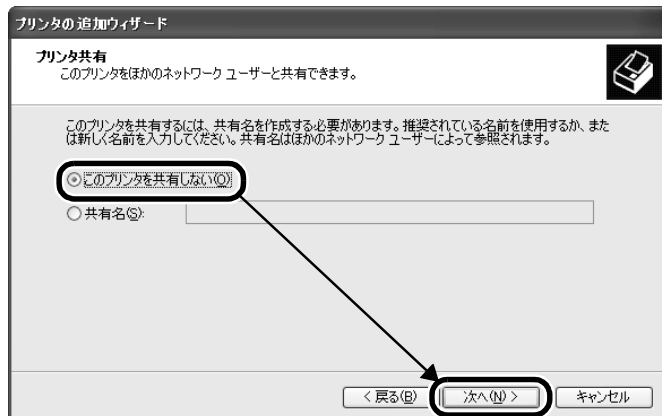
ここでは、FX DocuPrint 3100 PS J2 を選択した例で説明します。

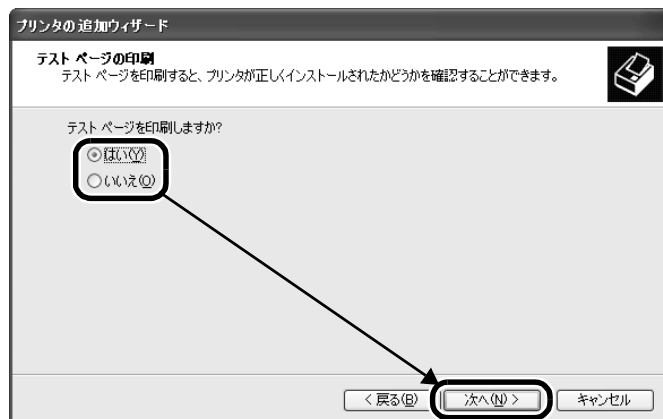
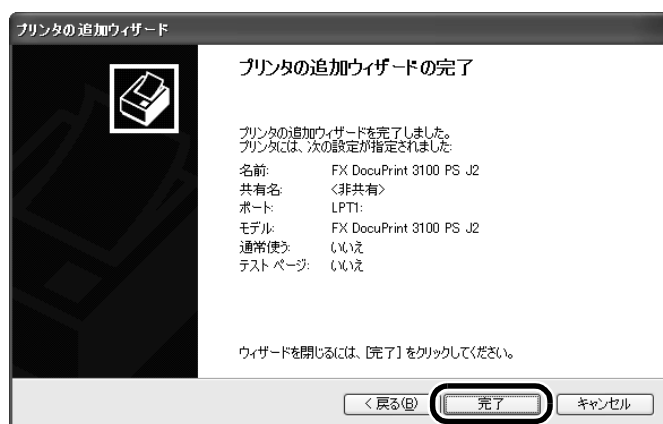
補足

- ［プリンタ］に表示されるモデル名とお使いの機種との対応については、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」(P.12) を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

11 プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、［次へ］をクリックします。

12 プリンタ共有を指定する画面が表示されます。
ここでは、［このプリンタを共有しない］を選択して、［次へ］をクリックします。

補足

- コンピューターへのインストールは各OS用の手順で、コンピューターごとにインストールすることをお勧めします。

13 ［はい］または［いいえ］を選択して、［次へ］をクリックします。

14 インストール完了の画面が表示されます。［完了］をクリックします。

補足

- Windows 2000 の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されたときは、［はい］をクリックして、インストールを続けてください。
- Windows XP、または Windows Server 2003 の場合、「ハードウェアのインストール」という画面が表示されたときは、［続行］をクリックして、インストールを続けてください。

必要なファイルのコピーが開始されます。

15 コピーが終了したら、［スタート］＞［プリンタと FAX］で［プリンタと FAX］画面を開き、プリンターが追加されたことを確認します。

参照

- インストール終了後に、オプションを必ず設定してください。オプションはインストールしたプリンターのプロパティを開き、［プリンター構成］タブの［オプションの設定］を表示して設定します。［プリンター構成］タブの表示方法については、「［プリンター構成］タブ」（P.90）を参照してください。

これで、プリンタードライバーのインストールが終了しました。CD-ROM を取り出してください。
続けて、「プリンタードライバーの設定項目」（P.88）を参照して、プリンタードライバーを設定します。

注記

- 使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

ここでは、Windows Vista を例にインストール操作の手順を説明します。

補足

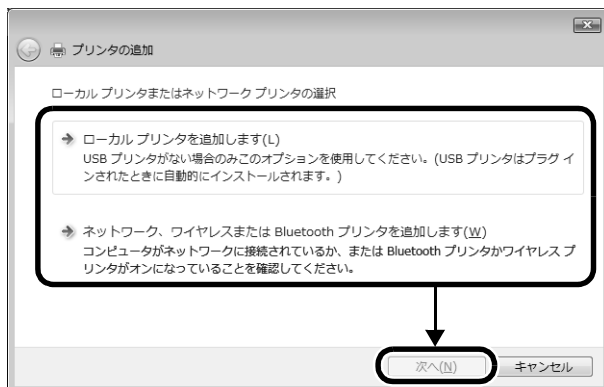
- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1 つ前の画面に戻ります。

1 Windows Vista を起動します。
管理者アカウントでログインしてください。

2 ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選択します。

3 ［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選択します。

4 ［プリンタのインストール］を選択します。

5 プリンターの接続方法を選択して、［次へ］をクリックします。

プリンターが直接コンピューターに接続されているとき、またはプリンターが TCP/IP 環境にネットワークプリンターとして接続されているときは、［ローカルプリンタを追加します］を選択します。それ以外は、［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］を選択します。

補足

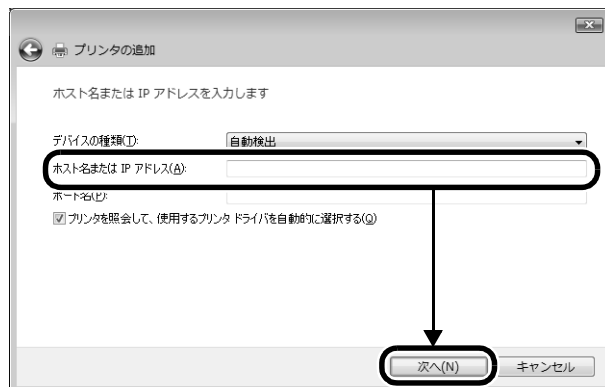
- ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］を選択した場合は、［プリンタ名または TCP/IP アドレスでプリンタを検索］画面で対象プリンターを設定します。

6 使用するポートを選択して、［次へ］をクリックします。

◆LPR プロトコルを使用してプリンターに直接接続する場合

1) ［新しいポートの作成］をクリックし、［ポートの種類］で［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加」ウィザードが起動します。

2) ［ホスト名または IP アドレス］にプリンターの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

3) 「ポート情報がさらに必要です」と表示された場合は、［デバイスの種類］の［標準］で、お使いの機種のシリーズ名を選択してください。

4) 表示される画面で、［完了］をクリックします。
プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

7 「PostScript Driver Library」の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

8 ［ディスク使用］をクリックします。

9 ［製造元のファイルのコピー元］に「x:¥Japanese¥Win2K_Vista¥DocuPrint_3100」と入力して、［OK］をクリックします。

補足

- ここでは、CD-ROM のドライブ名を「x:」として説明しています。CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブ名を指定してください。
- 64 ビットの場合は「x:¥Japanese¥WinX64¥DocuPrint_3100」と入力します。
- 英語版のドライバーを指定するときは「Japanese」の代わりに「English」と指定します。
- ［参照］をクリックして、CD-ROM 内のフォルダーを直接指定することもできます。

10 ［プリンタ］一覧の中から、機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせてモデルを選択して、［次へ］ をクリックします。

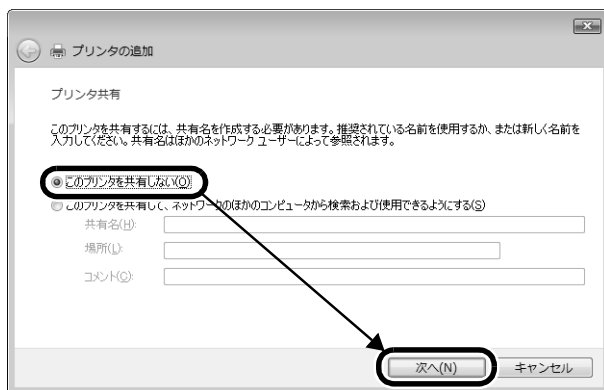
ここでは、FX DocuPrint 3100 PS J2 を選択した例で説明します。

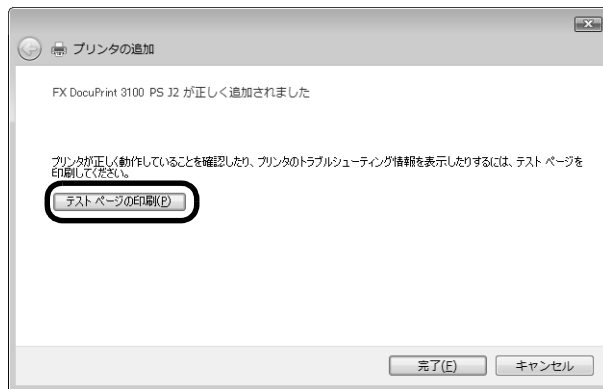
補足

- ［プリンタ］ に表示されるモデル名とお使いの機種との対応については、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して「次へ」をクリックしてください。

11 プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、［次へ］ をクリックします。

12 ［このプリンタを共有しない］ を選択して、［次へ］ をクリックします。

補足

- コンピューターへのインストールは各OS用の手順で、コンピューターごとにインストールすることをお勧めします。

13 テストページをプリントする場合は、［テストページの印刷］を選択します。
テストページをプリントしない場合は、手順 14 に進みます。

14 ［完了］をクリックします。

補足

- 「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示された場合は、［はい］をクリックして、インストールを続けてください。

15 コピーが終了したら、［スタート］＞［コントロールパネル］＞［ハードウエアとサウンド］＞［プリンタ］で、プリンターが追加されたことを確認します。

補足

- インストール終了後に、オプションを必ず設定してください。オプションはインストールしたプリンターのプロパティを開き、［プリンター構成］タブの［オプションの設定］を表示して設定します。［プリンター構成］タブの表示方法については、「［プリンター構成］タブ」（P.90）を参照してください。

これで、プリンタードライバーのインストールが終了しました。CD-ROM を取り出してください。
続けて、「プリンタードライバーの設定項目」（P.88）を参照して、プリンタードライバーを設定します。

注記

- 使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

ここでは、Windows 7 を例にインストール操作の手順を説明します。

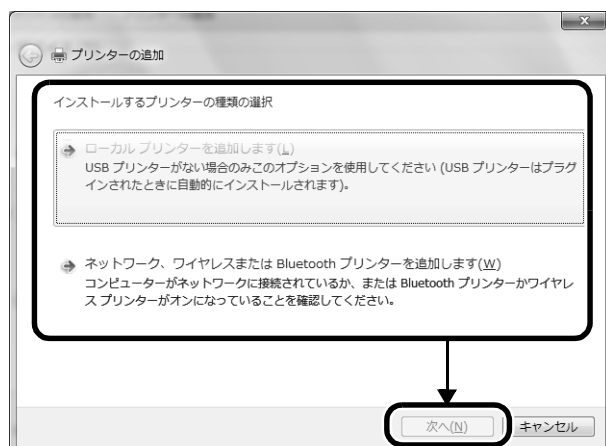
補足

- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1 つ前の画面に戻ります。

1 Windows 7 を起動します。
管理者アカウントでログインしてください。

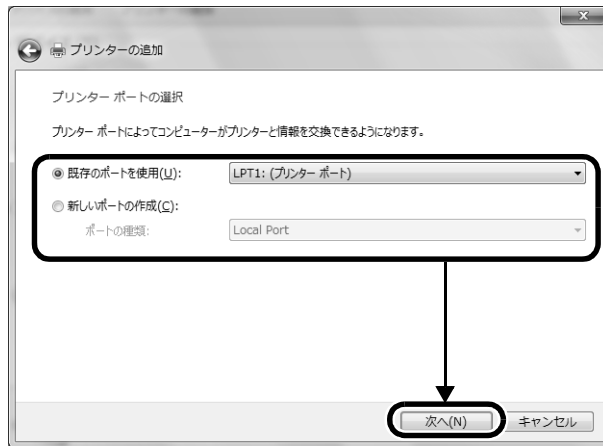
2 ［スタート］メニューから、［デバイスとプリンター］を選択します。

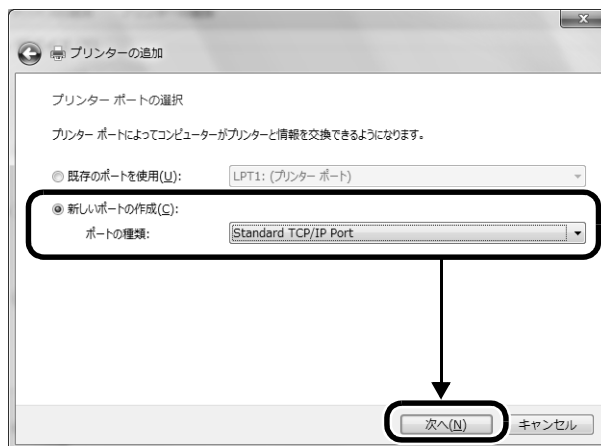
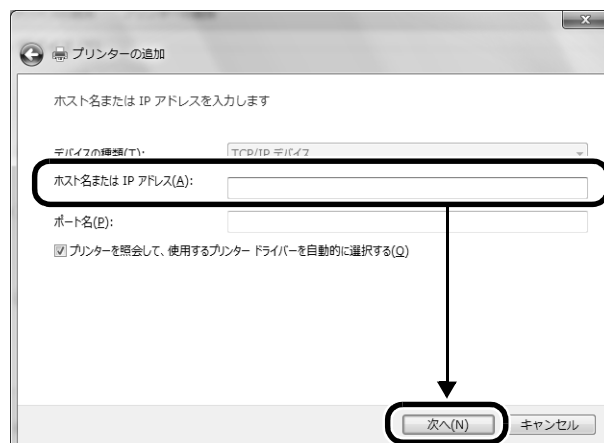
3 ［プリンターの追加］を選択します。

4 プリンターの接続方法を選択して、［次へ］をクリックします。

プリンターが直接コンピューターに接続されているとき、またはプリンターが TCP/IP 環境にネットワークプリンターとして接続されているときは、［ローカルプリンターを追加します］を選択します。それ以外は、［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］を選択します。

補足

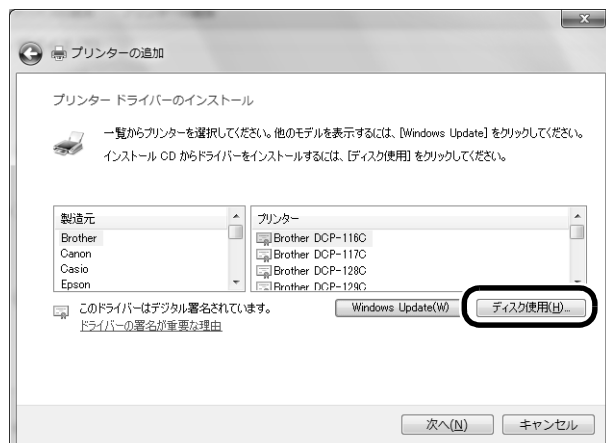
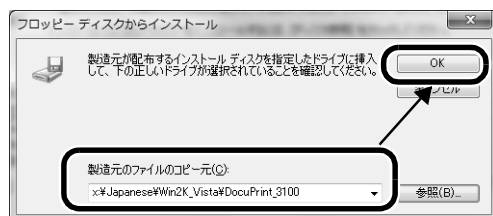
- ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］を選択した場合は、［プリンター名または TCP/IP アドレスでプリンターを検索］画面で対象プリンターを設定します。

5 使用するポートを選択して、［次へ］をクリックします。

◆**LPR プロトコルを使用してプリンターに直接接続する場合**

1) ［新しいポートの作成］をクリックし、［ポートの種類］で［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

2) ［ホスト名または IP アドレス］にプリンターの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

3) 「追加のポート情報が必要です」と表示された場合は、［デバイスの種類］の［標準］で、お使いの機種を選択してください。

4) 表示される画面で、［完了］をクリックします。
プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

6 「PostScript Driver Library」の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

8 ［製造元のファイルのコピー元］に「x:¥Japanese¥Win2K_Vista¥DocuPrint_3100」と入力して、［OK］をクリックします。

補足

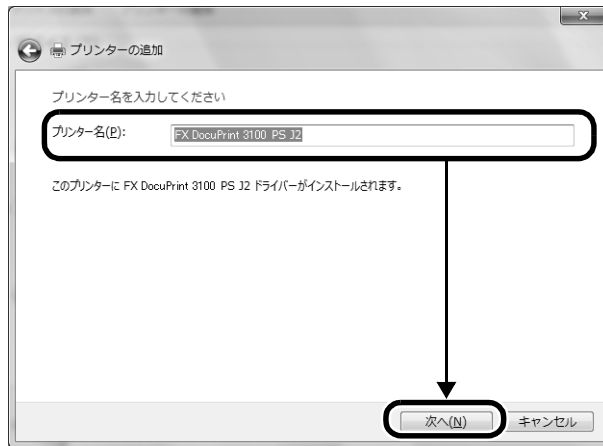
- ここでは、CD-ROM のドライブ名を「x:」として説明しています。CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブ名を指定してください。
- 64 ビットの場合は「x:¥Japanese¥WinX64¥DocuPrint_3100」と入力します。
- 英語版のドライバーを指定するときは「Japanese」の代わりに「English」と指定します。
- ［参照］をクリックして、CD-ROM 内のフォルダーを直接指定することもできます。

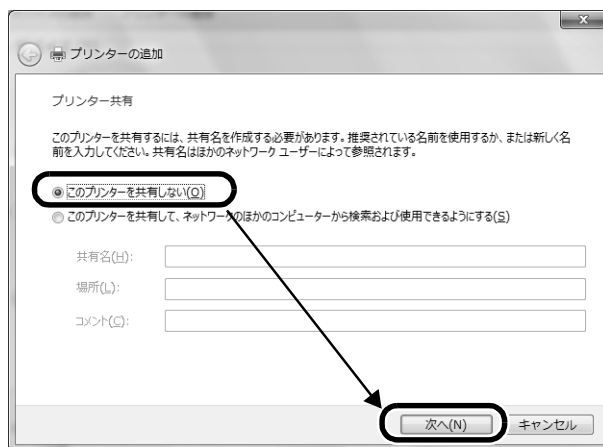
9 ［プリンター］一覧の中から、機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせてモデルを選択して、［次へ］をクリックします。

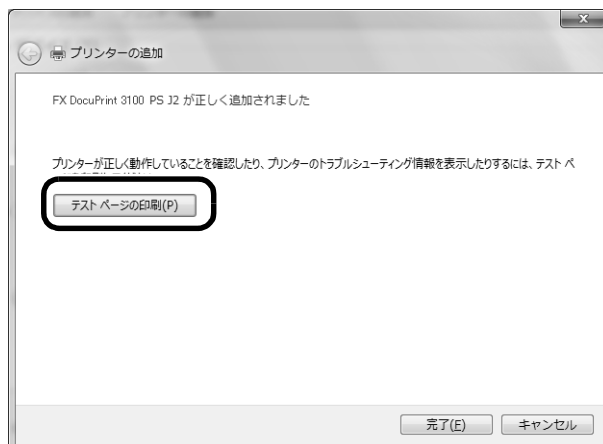
ここでは FX DocuPrint 3100 PS J2 を選択した例で説明します。

補足

- ［プリンター］に表示されるモデル名とお使いの機種との対応については、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して「次へ」をクリックしてください。

10 プリンター名を入力し、［次へ］をクリックします。

11 ここでは、［このプリンターを共有しない］を選択して、［次へ］をクリックします。

補足

- コンピューターへのインストールは各OS用の手順で、コンピューターごとにインストールすることをお勧めします。

12 テストページをプリントする場合は、［テストページの印刷］を選択します。
テストページをプリントしない場合は、手順 13 に進みます。

13 ［完了］をクリックします。

補足

- 「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示された場合は、［はい］をクリックして、インストールを続けてください。

14 コピーが終了したら、［スタート］＞［デバイスとプリンター］で、プリンターが追加されたことを確認します。

補足

- インストール終了後に、オプションを必ず設定してください。オプションはインストールしたプリンターのプロパティを開き、［プリンター構成］タブの［オプションの設定］を表示して設定します。［プリンター構成］タブの表示方法については、「［プリンター構成］タブ」（P.90）を参照してください。

これで、プリンタードライバーのインストールが終了しました。CD-ROM を取り出してください。
続けて、「プリンタードライバーの設定項目」（P.88）を参照して、プリンタードライバーを設定します。

注記

- 使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

USB ポートを利用する

Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7 および Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 がインストールされたコンピューターから USB ポートを利用してプリントする場合の設定を説明します。

注記

- ここで追加されたプリンターは、「ドキュメントモニター」を使ってプリンターの状態を監視することはできません。

補足

- USB ポートを利用できる機種については、ドライバーCD キットの CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

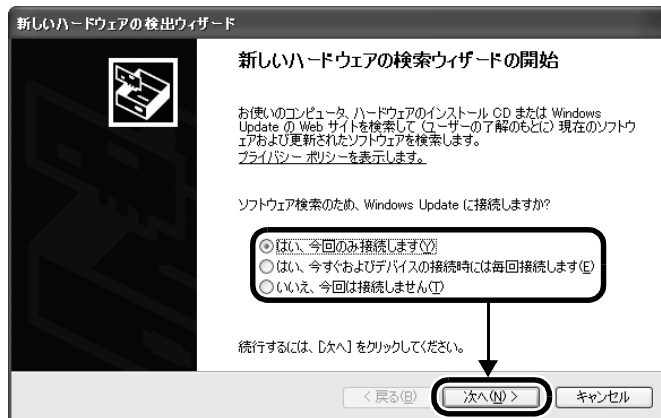
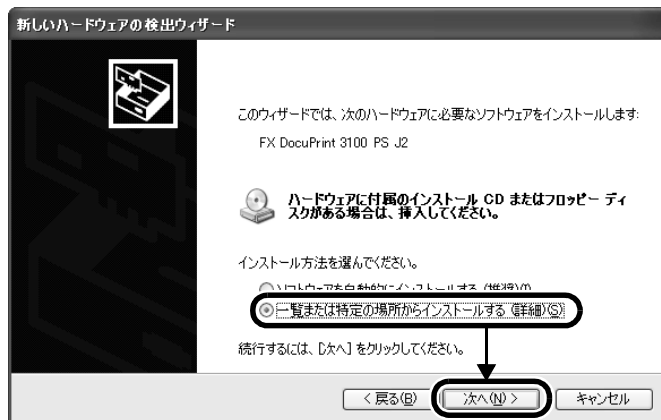
Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP を例にインストール操作の手順を説明します。

1 プリンターの電源を切ります。

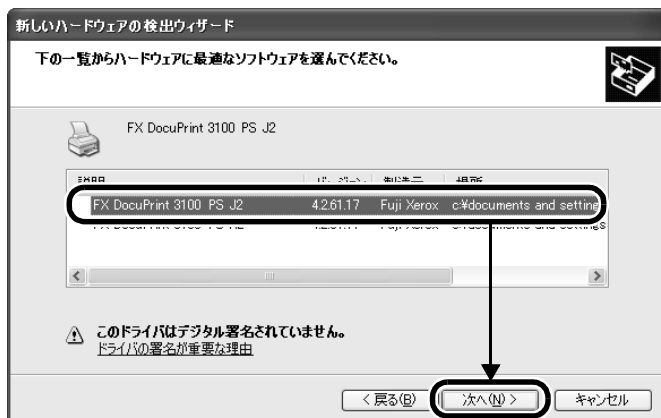
2 プリンターの USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。

3 コンピューターの USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。

4 プリンターの電源を入れます。
［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。
接続方法を選択して［次へ］をクリックします。

5 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細)］を選択して、［次へ］をクリックします。

6 ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択します。
［リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］にチェックして、［次へ］をクリックします。

7 お使いの機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせてモデルを選択して、［次へ］をクリックします。

ここでは、FX DocuPrint 3100 PS J2 を選択した例で説明します。

注記

- モリサワ書体を使用する場合で、表示されるモデル名のあとに、「PS J2」が表示されないときは、「PS H3」モデルを選択してください。インストール後、「モリサワ書体のプリンタードライバーをインストールする場合」（P.50）を参照して、モリサワ書体のプリンタードライバーをインストールしてください。

補足

- 表示されるモデル名とお使いの機種との対応については、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

8 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

■モリサワ書体のプリンタードライバーをインストールする場合

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］の順に選択します。

2 「PS H2」モデルのプリンターアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

3 ［詳細設定］タブをクリックして、［新しいドライバ］をクリックします。

［プリンタドライバの追加ウィザード］画面が表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。

プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

5 「[プリンタの追加」を使ってインストールする」の手順 7（P.36）～手順 14 を参照して、モリサワ書体のモデル名を選択して、ドライバーをインストールします。

6 プロパティ画面の［OK］をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

ここでは、Windows Vista を例にインストール操作の手順を説明します。

1 プリンターの電源を切ります。

2 プリンターの USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。

3 コンピューターの USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。

4 プリンターの電源を入れます。
［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。
接続方法を選択して［次へ］をクリックします。

5 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細)］を選択して、［次へ］をクリックします。

6 ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択します。
［リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］にチェックして、［次へ］をクリックします。

7 お使いの機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせてモデルを選択して、［次へ］をクリックします。

注記
- モリサワ書体を使用する場合で、表示されるモデル名のあとに、「PS J2」が表示されないときは、「PS H2」モデルを選択してください。インストール後、「モリサワ書体のプリンタードライバーをインストールする場合」（P.50）を参照して、モリサワ書体のプリンタードライバーをインストールしてください。

補足
- 表示されるモデル名とお使いの機種との対応については、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」（P.12）を参考に、インストールするプリンタードライバーを選択して［次へ］をクリックしてください。

8 ［完了］をクリックします。
プリンタードライバーがインストールされます。

■モリサワ書体のプリンタードライバーをインストールする場合

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］の順に選択します。

2 「PS H2」モデルのプリンターアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

3 ［詳細設定］タブをクリックして、［新しいドライバ］をクリックします。
［プリンタドライバの追加ウィザード］画面が表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。
プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

5 「[プリンタの追加」を使ってインストールする」の手順 7（P.36）～手順 14 を参照して、モリサワ書体のモデル名を選択して、ドライバーをインストールします。

6 プロパティ画面の［OK］をクリックします。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

ここでは、Windows 7 を例にインストール操作の手順を説明します。

1 プリンターの USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。

2 コンピューターの USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。
ドライバーが正しくインストールされないことを知らせるメッセージが表示されます。

3 Windows の［スタート］メニューから、［デバイスとプリンター］を選択します。
［デバイスとプリンター］ウィンドウが表示されます。

4 ［デバイスとプリンター］ウィンドウの［未指定］に追加されたプリンターアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
［プロパティ］画面が表示されます。

補足
- ［プリンターと FAX］に「！」マークが付いたプリンターアイコンが追加されます。

5 ［ハードウエア］タブをクリックし、［デバイスの機能］から追加されたプリンターを選択して、［プロパティ］ボタンをクリックします。

6 表示される［プロパティ］画面の［全般］タブをクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックします。

7 ［プロパティ］画面の［ドライバー］タブをクリックして、［ドライバーの更新］ボタンをクリックします。
［ドライバーソフトウェアの更新］画面が表示されます。

8 ［コンピューターを参照してドライバーソフトウエアを検索します］を選択します。

9 ［参照］ボタンをクリックし、ドライバーソフトウエアを選択して、［次へ］をクリックします。
平成書体のプリンタードライバーがインストールされます。

補足
- ［ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません］画面が表示された場合は、［このドライバーソフトウェアをインストールします］を選択し、ドライバーソフトウェアをインストールします。

10 ［プロパティ］画面で［閉じる］ボタンおよび［OK］ボタンをクリックします。
［デバイスとプリンター］ウィンドウの［プリンターと FAX］にプリンターアイコンが表示され、平成書体のプリンタードライバーが使用できます。モリサワ書体のプリンタードライバーをご利用の場合は、手順 11 以降を参照して、平成書体のプリンタードライバーをモリサワ書体のプリンタードライバーに変更してください。

補足
- ［プリンターと FAX］で「！」マークが付いたプリンターにドライバーソフトウエアがインストールされると、「！」マークが消えます。

11 ［PS H2］モデルのプリンターアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プリンターのプロパティ］を選択します。

12 ［詳細設定］タブを選択し、［新しいドライバー］ボタンをクリックします。

［プリンタードライバーの追加ウィザード］画面が表示されます。

13 ［次へ］をクリックします。

プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

14 「［プリンタの追加］を使ってインストールする」の手順 6（P.36）〜 手順 13 を参照して、モリサワ書体のモデル名を選択して、ドライバーをインストールします。

15 プロパティ画面の［OK］をクリックします。

ヘルプの使い方

ヘルプの使い方は、次のとおりです。
ここでは、Windows XP でヘルプ画面の表示方法を説明します。

プロパティダイアログボックスでヘルプを使う

プリンタードライバーのプロパティで、ヘルプを使う手順を説明します。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］の順に選択します。

2 プリンターアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。
プロパティダイアログボックスが表示されます。

3 ［プリンター構成］タブを選択して、［オプションの設定］をクリックします。

4 画面右下の［ヘルプ］をクリックします。

ヘルプが表示されます。

補足

- プロパティダイアログボックスの右上に、？が表示される場合は、クリックするとマウスポインターの横に？マークの表示が現れます。その状態で、説明を見たい項目をクリックすると、ポップアップウィンドウが表示されて、その項目に関する情報が表示されます。

印刷設定ダイアログボックスでヘルプを使う

印刷設定ダイアログボックスで、ヘルプを使う手順を説明します。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］の順に選択します。

2 プリンターアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［印刷設定］を選択します。

3 印刷設定ダイアログボックスが表示されます。画面下の［ヘルプ］をクリックします。

ヘルプが表示されます。

補足

- ダイアログボックスの右上に、?が表示される場合は、クリックすると、マウスポインターの横に ? マークの表示が現れます。その状態で、説明を見たい項目をクリックすると、ヘルプが表示されて、その項目に関する情報が表示されます。

プリンタードライバーを更新するには

CD-ROM から「ドライバーインストールツール」を起動して、プリンタードライバーを更新する手順を説明します。

補足

- インストール時に表示される画面内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、その画面での設定を取り消して、1つ前の画面に戻ります。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

2 ［プリンタードライバーの更新］をクリックします。
［プリンター・プリンタドライバーを更新するプリンターの選択］画面が表示されます。

3 プリンタードライバーを更新するプリンターを、一覧から選択して、［次へ］をクリックします。
［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

4 内容を確認して、［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。
インストールが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

5 ［テスト印刷］をクリックします。
テストページがプリントされます。

6 ［完了］をクリックすると、確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

3 プリンタードライバーのインストール（Macintosh）

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM（PostScript Driver Library）の中に同梱されているものは、次のとおりです。

補足
- 付属の CD-ROM によっては、「DocuPrint_3100」フォルダーがない場合があります。そのような場合には「DocuPrint_3100」フォルダーを「Other」フォルダーと読みかえてください。
- 次の各フォルダーは、CD-ROM の中の「Japanese」フォルダー、「English」フォルダーのどちらか、または両方にあります。

■「MacOS 9.2.2」フォルダー内の「DocuPrint_3100」フォルダー

Adobe 社製 PostScriptDriver のファイルが入っています。

- AdobePS88J Installer ：Mac OS 9.2.2 日本語版用

補足
- 解凍には、Stuffit Expander™ が必要です。

- readme ファイル

■「MacOSX10.3.9 - 10.4」フォルダー内の「DocuPrint_3100」フォルダー

Mac OS X 10.3.9 - 10.4 用の PPD インストールパッケージが入っています。

- Fuji Xerox Plug-in Installer : Mac OS X 10.3.9 - 10.4 用
- readme ファイル

■「MacOSX10.5-」フォルダー内の「DocuPrint_3100」フォルダー

Mac OS X 10.5 - 10.6 用の PPD インストールパッケージが入っています。

- Fuji Xerox Plug-in Installer : Mac OS X 10.5 - 10.6 用
- readme ファイル

■「MacPPD」フォルダー内の「DocuPrint_3100」フォルダー

プリンタードライバーの設定（AdobePS 8.8J 以外）などで使用するプリンタ記述ファイルが入っています。

補足
- 解凍には、Stuffit Expander™ が必要です。

■「Utility」フォルダー内の「FujiXeroxPSUtility」フォルダー

Fuji Xerox PS Utility を使用すると、Macintosh からプリンターの設定ができます。Fuji Xerox PS Utility は、Mac OS 9.2.2 日本語版で動作します。Mac OS X では、Classic 環境で動作します。

■「Utility」フォルダー内の「MacScreenFont」フォルダー

Macintosh で使用するスクリーンフォントです。お使いの PostScript ソフトウエアキットに合わせたフォントをインストールします。

■readme ファイル

お問い合わせ先や、注意事項などが記載されています。必ずお読みください。

ソフトウエアの動作環境

Macintosh 用のプリンタードライバーとユーティリティーの動作環境は、次のとおりです。

■プリンタードライバー

AdobePS 8.8J: Mac OS 9.2.2 日本語版用

■PPD インストールパッケージ

Fuji Xerox Plug-in Installer: Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11（10.4.7 を除く）

Mac OS X 10.5 - 10.6 用

■ユーティリティー

Fuji Xerox PS Utility : Mac OS 9.2.2 日本語版用

補足

- Mac OS X では、Classic 環境で動作します。

USB ポートを使用する場合

- Mac OS 9.2.2 日本語版
- Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11
- Mac OS X 10.5 - 10.6

プリンタードライバーのインストールと PPD の設定

Mac OS 9.2.2 日本語版に Adobe 社製 AdobePS ドライバーをインストールする方法と、Mac OS X のプリンターの追加方法について OS のバージョン別に説明します。

補足

- Mac OS X をお使いの場合は、プリンタードライバーのインストールは必要ありません。OS に付属の Adobe 社製 PostScript ドライバーを使用します。

参照

- プリンタードライバーをインストールする前に、プリンター側で使用環境に合わせてEtherTalkポート、または USB ポートが起動に設定されていることを確認してください。詳しくは、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。

Mac OS 9.2.2 の場合

プリンタードライバーのインストール

ここでは、「AdobePS88J Installer」を使用して、「AdobePS 8.8J」をインストールする手順を説明します。

注記

- 同じフォルダーに入っている「readme.txt」には、インストール方法や、そのほか詳細な事項が記載されています。必ずお読みください。

1 Macintosh を起動します。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

デスクトップ上に［FXOPS-PS］アイコンが表示されます。

3 ［FXOPS-PS］アイコンをダブルクリックします。
［FXOPS-PS］ウィンドウが表示されます。

4 「Japanese」フォルダー＞「MacOS9.2.2」フォルダー＞「DocuPrint_3100」フォルダーの順番に開きます。

5 「mac88jps.hqx」を StuffIt Expander™ を使用して解凍します。

補足

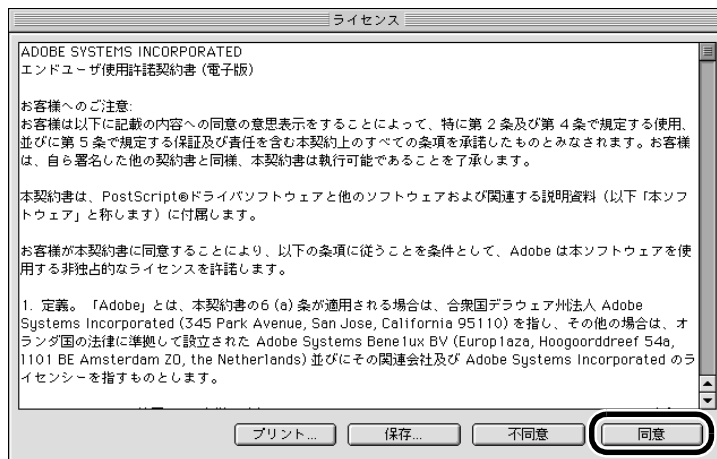
- 「mac88jps.hqx」の解凍には、StuffIt Expander™ が必要です。

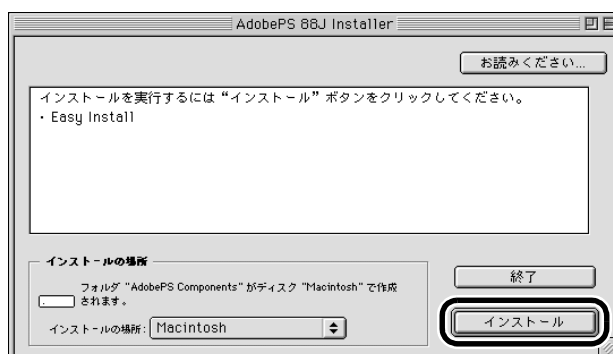
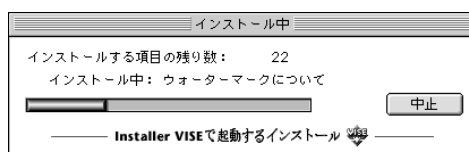
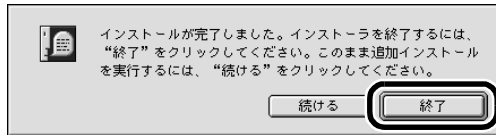
6 「最初にお読みください」ファイルを開き、Adobe Printer Driver に関する情報を確認します。

7 ［AdobePS 88J Installer］のプログラムアイコンをダブルクリックします。
インストーラーが起動します。

8 ［続ける］をクリックします。

［ライセンス］画面が表示されます。

9 内容を確認し、同意する場合は、［同意］をクリックします。

［AdobePS 88J Installer］画面が表示されます。

10 ［インストールの場所］を確認し、必要に応じて変更してから、［インストール］をクリックします。

インストールが開始されます。

11 インストールが完了すると下の画面が表示されるので、［終了］をクリックします。

これで、AdobePS 88J のインストールが終了しました。

続けて、「PPD ファイルの設定」（P.62）を参照して、プリンタードライバーを設定します。

PPD ファイルの設定

AdobePS ドライバーのインストールが終了したら、プリンタードライバーに本機種用の PostScript プリンタ記述（PPD）ファイルを設定します。

プリンタードライバーは、PPD ファイルの中にある情報をもとに、プリンターの機能をコントロールします。

使用環境によって、手順が異なります。

■EtherTalk を使用する場合

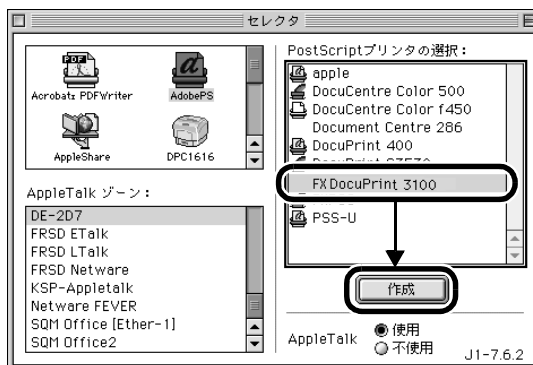
1 プリンターの EtherTalk のポート状態が［起動］で、EtherTalk のプリントモード指定が［PS］（PostScript）に設定されていることを確認します。

参照

- EtherTalk の設定については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。また、お使いの機種によっては、プリントモード指定が不要な場合があります。

2 ［アップル］メニューから［セレクタ］を選択して、［AdobePS］を選択します。

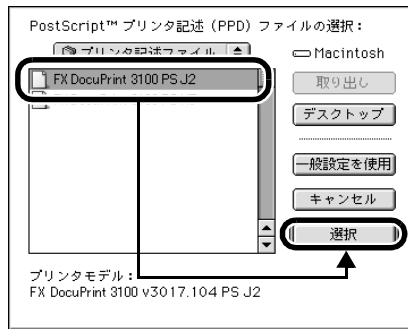
3 セレクタの右側に表示されている［PostScript プリンタの選択］リストからプリンターを選択し、［作成］をクリックします。

ここでは、FX DocuPrint 3100 を選択した例で説明します。

補足

- ホスト装置とプリンターの接続環境によっては、表示される画面が異なることがあります。

自動的にプリンターが検索され、PPD ファイルが設定されます。

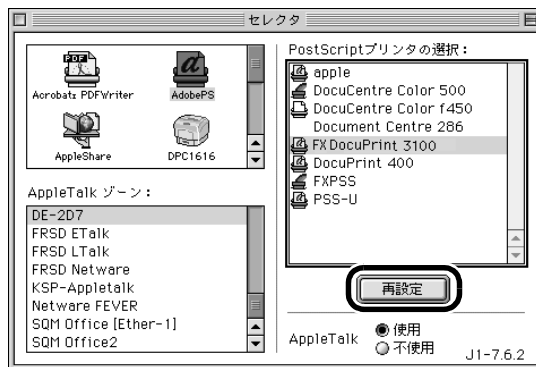
◆ **PPD ファイルが自動的に検索されない場合**

［PostScript プリンター記述（PPD）ファイルの選択］画面が表示されます。一覧の中から、機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択し、［選択］をクリックします。

参照

- 表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」（P.13）を参照して、選択してください。

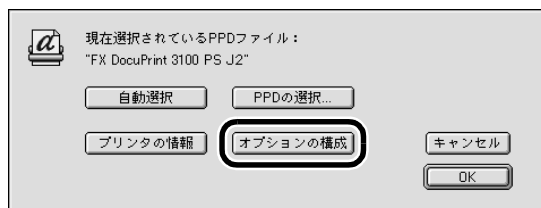
お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

4 オプションを設定します。セレクタで［再設定］をクリックします。

補足

- プリントのための設定は、プリンタードライバーのインストール後でも、任意に変更できます。
- オプションの機能を使用するには、［オプションの構成］を設定する必要があります。プリンターの構成に合わせて、必ず設定をしてください。なお、通常は［設定可能なオプション］は、プリンターとの双方向通信によって自動的に設定されます。ユーザーが設定を変える必要はありません。

5 ［オプションの構成］をクリックします。

6 オプションを設定します。

参照

- オプションについては、「プリンターオプションの設定」（P.131）を参照してください。

7 ［OK］をクリックし、次の画面でも［OK］をクリックします。

8 セレクタを終了します。

■USB ポートを使用する場合

1 USB ケーブルが接続されている場合は、いったん取り外します。

2 Macintosh の電源が入っていることを確認して、プリンターの電源を切ります。

3 Macintosh とプリンターを USB ケーブルで接続します。

4 プリンターの電源を入れます。

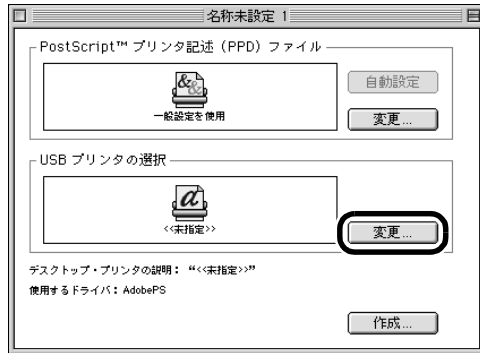
5 ［デスクトップ・プリンタ Utility］を起動します。
［デスクトップ・プリンタ Utility］が起動し、［新規］画面が表示されます。

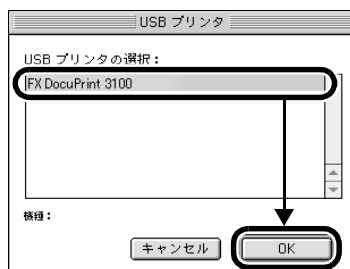
補足

- ［デスクトップ・プリンタ Utility］は、Macintosh のハードディスクの中にある「AdobePS Components」フォルダーにあります。

6 ［プリンタ］から［AdobePS］、［デスクトップに作成］から［プリンタ（USB）］を選択して、［OK］をクリックします。

プリンターを設定する画面が表示されます。

7 ［USB プリンタの選択］の［変更］をクリックします。

［USB プリンタ］画面が表示されます。

8 リストからプリンターを選択して、［OK］をクリックします。

9 ［PostScript^{TM} プリンタ記述（PPD）ファイル］の［自動設定］をクリックします。
［PostScript^{TM} プリンタ記述（PPD）ファイルの選択］画面が表示されます。

10 一覧の中から､機種と搭載しているPostScript和文フォントに合わせてPPDファイルを選択して、［選択］をクリックします。

参照

- 表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については､｢プリンターに対応した PPD ファイル名について｣（P.13）を参照して、選択してください。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

11 ［作成］をクリックします。

12 表示された画面で、プリンター名と保存場所を指定して、［保存］をクリックします。
設定が保存され、プリンターが作成されます。

13 オプションを設定します。

参照

- オプションについては、｢プリンターオプションの設定｣（P.131）を参照してください。

補足

- プリントのための設定は、プリンタードライバーのインストール後でも、任意に変更できます。
- オプションの機能を使用するためには、オプションを設定する必要があります。プリンターの構成に合わせて、必ず設定をしてください。なお、通常は、プリンターとの双方向通信によって自動的に設定されます。ユーザーが設定を変える必要はありません。

Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11/10.5 - 10.6 の場合

PPD ファイルのインストール

Mac OS X 用の PostScript プリンタ記述（PPD）ファイルを Mac OS X の Macintosh にインストールします。
ここでは、Mac OS X 10.5 を例に説明します。

補足

- Mac OS X は、プリンタードライバーのインストールは必要ありません。OS に付属の Adobe 社製 PostScript ドライバーを使用します。
- 付属の CD-ROM に「DocuPrint_3100」フォルダーがない場合は、「Other」フォルダーを「DocuPrint_3100」フォルダーに置き換えてください。

1 Macintosh を起動します。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
デスクトップ上に［FXOPS-PS］アイコンが表示されます。

3 ［FXOPS-PS］アイコンを開きます。
［FXOPS-PS］ウィンドウが表示されます。

4 Mac OS X 10.5 - 10.6 をお使いの場合は、「Japanese」フォルダー＞「MacOSX10.5-」フォルダー＞「DocuPrint_3100」フォルダーの順に選択し、「mac105ps.dmg」をダブルクリックします。
Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11 をお使いの場合は、「Japanese」フォルダー＞「MacOSX10.3.9 - 10.4.」フォルダー＞「DocuPrint_3100」フォルダーの順に選択し、「mac103ps.dmg」をダブルクリックします。

5 表示されたフォルダーの中から「readme」ファイルを開き、インストーラーに関する情報を読みます。

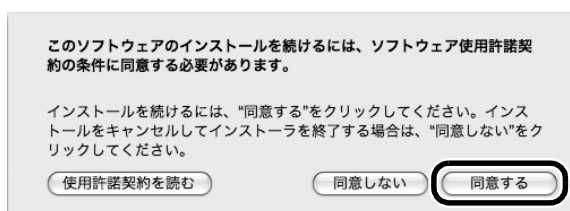
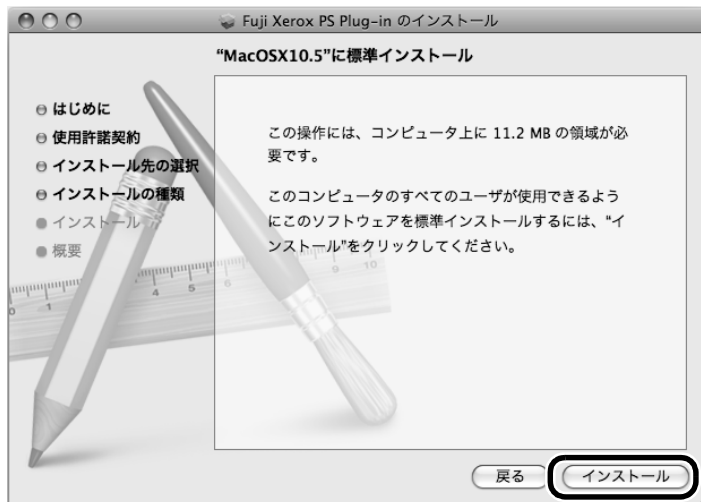
6 ［Fuji Xerox Plug-in Installer］のプログラムアイコンをダブルクリックします。

インストーラー画面が表示されます。

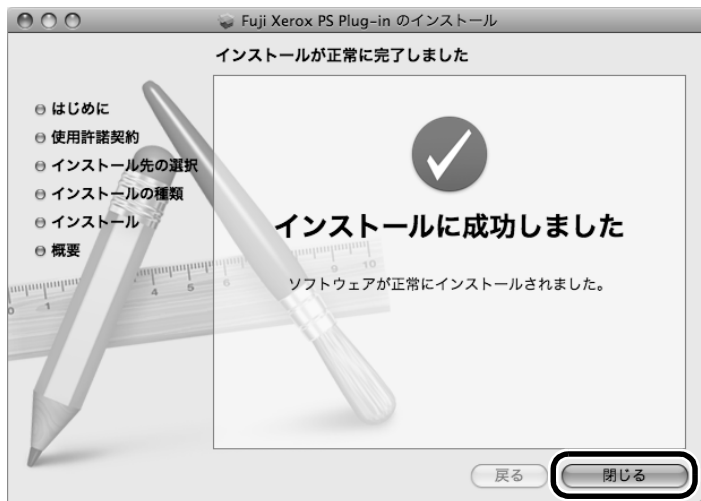
7 ［続ける］をクリックします。

使用許諾に同意する画面が表示されます。

8 内容を確認し［続ける］をクリックします。

9 ［同意する］をクリックします。

10 ［インストール］をクリックします。

11 管理者の名前とパスワードを入力して、［OK］をクリックします。

インストールが開始されます。

12 インストールが完了したことを示す画面が表示されたら、[閉じる] をクリックします。

13 これで、PPD ファイルのインストールが終了しました。

続けて、「プリンターの追加（Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11）」（P.69）または「プリンターの追加（Mac OS X 10.5 - 10.6）」（P.73）を参照して、プリンターを追加します。

プリンターの追加（Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11）

PPD ファイルのインストールが終了したら、プリンタードライバーに PPD ファイルを設定し、プリンターを追加します。
プリンタードライバーは、PPD ファイルの中にある情報をもとに、プリンターの機能をコントロールします。

ここでは、Mac OS X 10.3.9 を例に説明します。

1 USB ポートを使用する場合は、次の手順を行ってください。
USB ポートを使用しない場合は、手順 2 に進みます。

1) USB ケーブルが接続されているときは、いったん取り外します。

2) Macintosh の電源が入っていることを確認して、プリンターの電源を切ります。

3) Macintosh とプリンターを USB ケーブルで接続します。

4) プリンターの電源を入れます。

2 プリンターのポートの設定を確認します。

■AppleTalk を使用する場合

[EtherTalk] を起動して、EtherTalk のプリントモード指定が PS（PostScript）に設定されていることを確認します。

■IP を使用する場合

[LPD] を起動します。

補足

- IP ネットワーク上のプリンターを自動的に検出できます。ディスカバリー機能を有効にしたい場合は、[Bonjour] を起動してください。

■［USB-1（2.0）］または［USB-2（2.0）］を使用する場合

［USB］を起動します。

参照

- プリンター側の設定については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。また、お使いの機種によっては、プリントモード指定が不要な場合があります。

3 ［プリンタ設定ユーティリティ］を起動します。

4 ［追加］をクリックします。

5 プリンターと接続するためのプロトコルを選択します。

■AppleTalk を使用する場合

1) メニューから［AppleTalk］を選択し、使用するプリンターのゾーンを指定します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3)［自動選択］を選択して、手順 6）に進みます。
自動選択できない場合は、［その他］を選択し、手順 4）に進みます。
ファイル選択の画面が表示されます。

4) Mac OS X が起動しているボリュームの「/Library/printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」を表示します。

5) 機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、［選択］をクリックします。

ここでは、DocuPrint 3100 PS J2 を選択した例で説明します。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

参照

- 表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」（P.13）を参照して、選択してください。

6) ［追加］をクリックします。

■IP を使用する場合

ここでは、Mac OS X 10.3.9 を例に記載しています。

1) メニューから［IP プリント］を選択し、［プリンタのアドレス］にお使いのプリンターの IP アドレスを入力します。

2) ［プリンタの機種］から、［その他］を選択します。
ファイル選択の画面が表示されます。

3) Mac OS X が起動しているボリュームの「/Library/printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」を表示します。

4) 機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、［選択］をクリックします。

ここでは、DocuPrint 3100 PS J2 を選択した例で説明します。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

参照

- 表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」（P.13）を参照して、選択してください。

5) ［追加］をクリックします。

■［USB-1（2.0）］または［USB-2（2.0）］を使用する場合

1) メニューから［USB］を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3) ［プリンタの機種］から、［自動選択］を選択します。

4) ［追加］をクリックします。

■Rendezvous を使用する場合

補足

- Mac OS X10.4.11 で IP ネットワーク上のプリンターを自動的に検出する場合、[Bonjour] を選択してください。

1) メニューから［Rendezvous］を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3)［追加］をクリックします。

これで、プリンターの追加は終了です。

プリンターオプションについて

［プリンタ設定ユーティリティ］のメニューバーから、［プリンタ］をクリックして、［情報を見る］を選択します。
次に［設定可能なオプション］を選択し、プリンターに装着されているオプションを選択します。

参照

- オプションについては、「プリンターオプションの設定」（P.131）を参照してください。

プリンターの追加（Mac OS X 10.5 - 10.6）

プリンタードライバーのインストールが終了したら、プリンタードライバーに PPD ファイルを設定し、プリンターを追加します。
プリンタードライバーは、PPD ファイルの中にある情報をもとに、プリンターの機能をコントロールします。

ここでは、Mac OS X 10.5 を例に記載しています。

1 USB ポートを使用する場合は、次の手順を行ってください。USB ポートを使用しない場合は、手順 2 に進みます。

1) USB ケーブルが接続されているときは、一度取り外します。

2) Macintosh の電源が入っていることを確認して、プリンターの電源を切ります。

3) Macintosh とプリンターを USB ケーブルで接続します。

4) プリンターの電源を入れます。

2 プリンターのポートの設定を確認します。

■AppleTalk を使用する場合

［EtherTalk］を起動して、EtherTalk のプリントモード指定が PS（PostScript）に設定されていることを確認します。

補足

- Mac OS X 10.6 では、AppleTalk は使用できません。

■IP を使用する場合

［LPD］を起動します。

補足

- IP ネットワーク上のプリンターを自動的に検出できます。ディスカバリー機能を有効にしたい場合は、［Bonjour］を起動してください。

■［USB-1（2.0）］または［USB-2（2.0）］を使用する場合

［USB］を起動します。

参照

- プリンター側の設定については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。また、お使いの機種によっては、プリントモード指定が不要な場合があります。

3 ［システム環境設定］を起動します。

4 ［プリントとファクス］をクリックします。

5 ［+］をクリックします。

6 プリンターと接続するためのプロトコルを選択します。

■AppleTalk を使用する場合

補足

- Mac OS X 10.6 では、AppleTalk は使用できません。

1) メニューから［AppleTalk］を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3) ［ドライバ］から［自動選択］を選択して、手順 6）に進みます。

自動選択できない場合は、［その他］を選択し、手順 4）に進みます。
ファイル選択の画面が表示されます。

4) Mac OS X が起動しているボリュームの「/Library/printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」を表示します。

5) 機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、［開く］をクリックします。

ここでは、FX DocuPrint 3100 PS J2 を選択した例で説明します。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

参照

- 表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」（P.13）を参照してください。

6) ［追加］をクリックします。

■IP を使用する場合

1) メニューから［IP］を選択し、［アドレス］に使用するプリンターの IP アドレスを入力します。

2)［ドライバ］から、［その他］を選択します。

ファイル選択の画面が表示されます。

3) Mac OS X が起動しているボリュームの「/Library/printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」を表示します。

4) 機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、［開く］をクリックします。

ここでは、FX DocuPrint 3100 PS J2 を選択した例で説明します。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

参照

- 表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」（P.13）を参照して、選択してください。

5)［追加］をクリックします。

■［USB-1（2.0）］または［USB-2（2.0）］を使用する場合

1) メニューから［デフォルト］を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3)［ドライバ］から、［自動選択］を選択します。

4)［追加］をクリックします。

■Bonjour を使用する場合

1) メニューから［デフォルト］を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3)［追加］をクリックします。

これで、プリンターの追加は終了です。

プリンターオプションについて

［システム環境設定］の［プリントとファクス］画面で、使用するプリンターを選択します。
次に［オプションとサプライ］を選択し、プリンターに装着されているオプションを選択します。

参照

• オプションについては、「プリンターオプションの設定」（P.131）を参照してください。

スクリーンフォントのインストール

付属の CD-ROM に入っているフォントのインストール方法について説明します。
お使いのPostScriptソフトウエアキットに合わせたフォントをインストールしてください。

1 Macintosh を起動します。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
デスクトップ上に［FXOPS-PS］アイコンが表示されます。

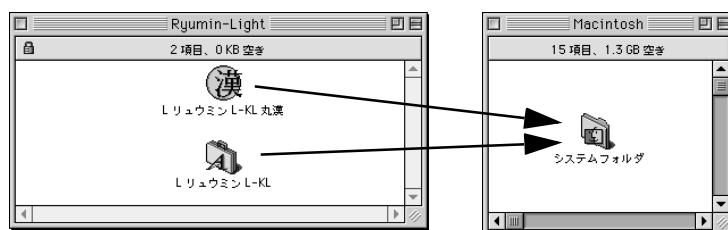
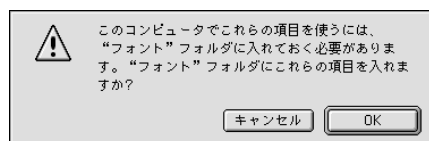
3 ［FXOPS-PS］アイコンを開きます。
［FXOPS-PS］ウィンドウが表示されます。

4 「Japanese」フォルダー＞「Utility」フォルダー＞「MacScreenFont」フォルダーの順に開きます。

5 「MacFont.sea.hqx」を StuffIt Expander^{TM} を使用して解凍します。

補足
- 「MacFont.sea.hqx」の解凍には、StuffIt Expander^{TM} が必要です。

■Mac OS 9.2.2 日本語版の場合

1) インストールするフォントフォルダー内のすべてのファイルを、Macintosh の「システムフォルダ」にコピーします。

2) ［OK］をクリックします。

■Mac OS X 10.3.9 - 10.4.11/10.5 - 10.6 の場合

1) インストールするフォントフォルダー内のすべてのファイルを、Mac OS X ディスクの「Library」フォルダーにある「Fonts」フォルダーにコピーします。

6 Macintosh を再起動します。

注記

- 使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

Fuji Xerox PS Utility について

「Fuji Xerox PS Utility」を使用すると、Macintosh からプリンターの設定ができます。ここでは、Fuji Xerox PS Utility のインストールや削除の方法、および使用方法について説明します。

Fuji Xerox PS Utility は、Mac OS 9.2.2 日本語版で動作します。Mac OS X では、Classic 環境で動作します。

補足

- Fuji Xerox PS Utility を使用する場合には、プリンターの EtherTalk のポート状態を起動にし、セレクタでプリンターが正しく設定されていることを確認してください。ポート状態の設定については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。

Fuji Xerox PS Utility のインストール

1 Macintosh を立ち上げます。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

デスクトップ上に［FXOPS-PS］アイコンが表示されます。

3 ［FXOPS-PS］アイコンをダブルクリックします。

［FXOPS-PS］ウィンドウが表示されます。

4 「Japanese」フォルダー＞「Utility」フォルダー＞「FujiXeroxPSUtility」フォルダーの順に開きます。

5 「FXPSUtil.sea.hqx」を StuffIt Expander™ を使用して解凍します。

補足

- 「FXPSUtil.sea.hqx」の解凍には、StuffIt Expander™ が必要です。

Fuji Xerox PS Utility がインストールされます。

参照

- Fuji Xerox PS Utility の使い方については、「Fuji Xerox PS Utility の使い方」（P.81）を参照してください。

注記

- 使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

Fuji Xerox PS Utility の削除

インストール先のハードディスクから、「FujiXeroxPSUtility」フォルダーを［ごみ箱］アイコンにドラッグします。

Fuji Xerox PS Utility が削除されます。

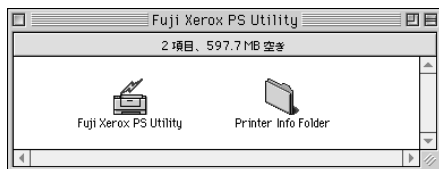
Fuji Xerox PS Utility の使い方

Fuji Xerox PS Utility を使うと、プリンターのシステム関連の設定、給紙関連の設定、排紙関連の設定、プリンターへの PS ファイルのダウンロード、プリンター名の設定、EtherTalk ゾーンの設定ができます。

ここでは、Fuji Xerox PS Utility の起動方法と、設定方法について説明します。

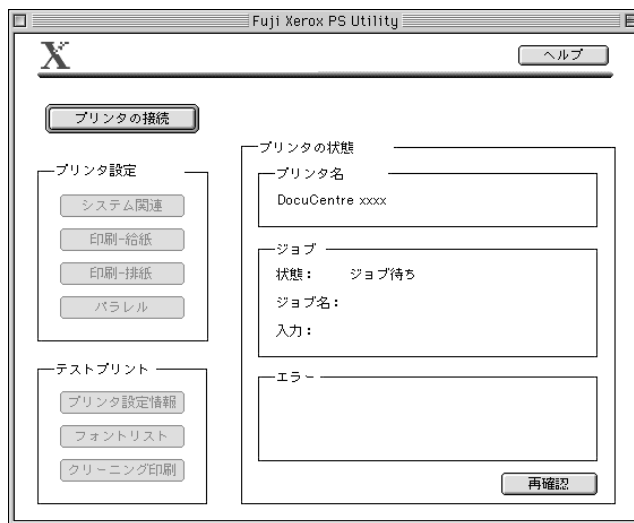
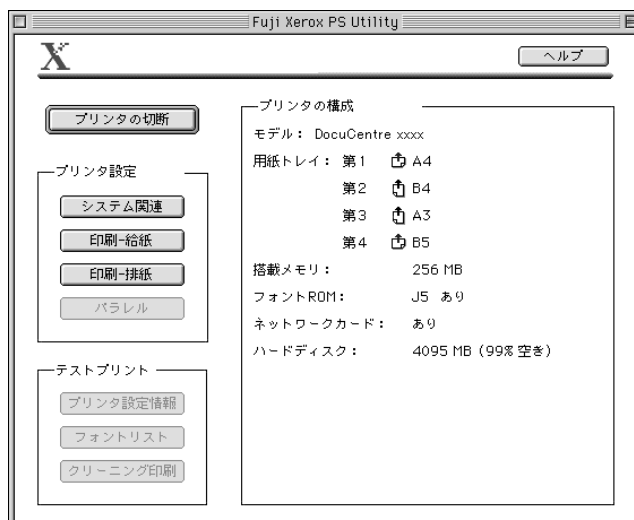
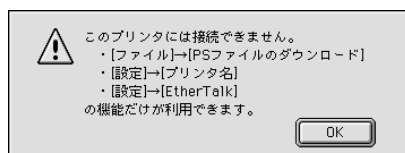
補足
- 接続する機種によって、設定できる項目が異なります。

Fuji Xerox PS Utility を起動する

1 「Fuji Xerox PS Utility」フォルダーの［Fuji Xerox PS Utility］アイコンをダブルクリックします。

2 Fuji Xerox PS Utility のメインウィンドウが表示されます。メニューバーや各ボタンを使って操作します。

Fuji Xerox PS Utility の操作を終了するときは、［ファイル］メニューから［終了］を選択します。

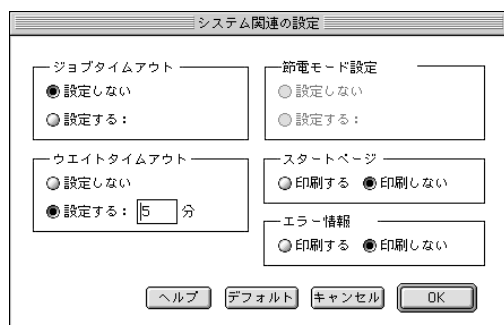
プリンターを設定する

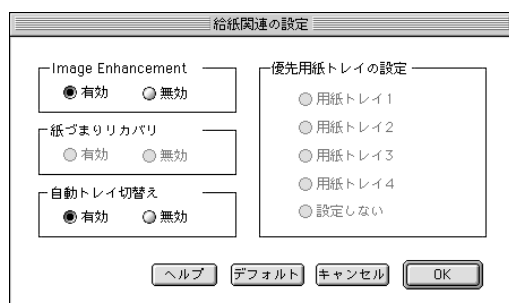
1 メインウィンドウの［プリンタの接続］をクリックするか、［ファイル］メニューから［プリンタの接続］を選択します。

現在、セレクタで選択されているプリンターに接続され、次の画面が表示されます。

また、接続するプリンターによっては、次の画面が表示されるので、内容を確認して、［OK］をクリックします。

2 プリンターの任意の項目を設定します。

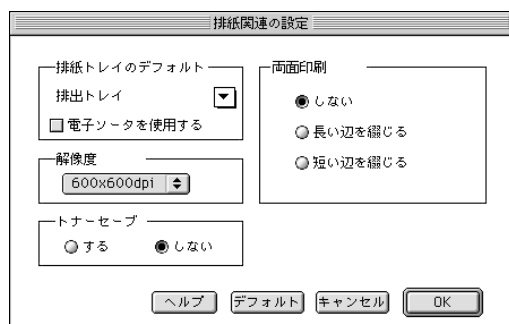
補足

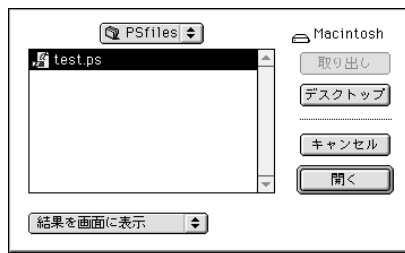
- 設定できる項目の詳細については［ヘルプ］をクリックし、ヘルプを参照してください。

■システム関連の設定

［システム関連］をクリックするか、［設定］メニューから［システム関連］を選択します。ジョブタイムアウト、ウェイトタイムアウトなど、プリンターの動作に関する基本的な設定ができます。

■給紙の設定

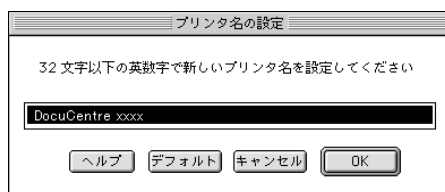
［印刷 - 給紙］をクリックするか、［設定］メニューから［印刷 - 給紙］を選択します。Image Enhancement（スムージング機能）や紙づまりの処理、用紙トレイの初期値など、プリントに関する設定ができます。

■排紙の設定

［印刷 - 排紙］をクリックするか、［設定］メニューから［印刷 - 排紙］を選択します。排紙トレイのデフォルトや解像度、トナーセーブ、両面印刷など、排紙に関する設定ができます。

■PS ファイルのダウンロード

［ファイル］メニューから、［PS ファイルのダウンロード］を選択します。

表示された画面で、PostScript ファイルを選択し、PostScript ファイルをプリンターへダウンロードできます。

また、プリンターからの受信結果を画面に表示したり、ファイルに保存したりすることもできます。

■プリンタ名の設定

［設定］メニューから、［プリンタ名］を選択します。

表示された［プリンタ名の設定］画面で、プリンター名の設定ができます。

■EtherTalk の設定

［設定］メニューから、［EtherTalk］を選択します。

表示された［EtherTalk の設定］画面で、現在のゾーンの確認やゾーンの変更ができます。

3 各項目を設定したら、［OK］をクリックします。

プリンター設定が更新され、メインウィンドウに戻ります。

4　プリンタードライバーの設定（Windows）

プリンタードライバーの設定項目

ここでは、プリンタードライバーに追加される機種固有の設定項目について、Windows の OS ごとに説明します。

プリンタードライバーのプロパティで設定する項目のうち、プリンター固有の次の項目について説明します。これ以外の項目については、ヘルプを参照してください。

- ［プリンター構成］タブ
- ［用紙 / 出力］タブ
- ［イメージ］タブ
- ［レイアウト / スタンプ］タブ
- ［詳細設定］タブ

タブを表示する

各タブを表示する手順を説明します。

［プリンター構成］タブを表示する

■Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから、［設定］＞［プリンタ］の順に選択して、プリンターのアイコンを右クリックして表示される［プロパティ］を選択します。

■Windows XP、Windows Server 2003 の場合

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択して、プリンターのアイコンを右クリックして表示される［プロパティ］を選択します。

■Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

［スタート］メニューから、［コントロール パネル］＞［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択して、プリンターのアイコンを右クリックして表示される［プロパティ］を選択します。

■Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選択して、プリンターのアイコンを右クリックして表示される［プリンターのプロパティ］を選択します。

［用紙 / 出力］タブ、［イメージ］タブ、［レイアウト / スタンプ］タブ、［詳細設定］タブを表示する

■Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから、［設定］＞［プリンタ］の順に選択して、プリンターのアイコンを右クリックして表示される［印刷設定］を選択します。

■Windows XP、Windows Server 2003 の場合

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択して、プリンターのアイコンを右クリックして表示される［印刷設定］を選択します。

■Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

［スタート］メニューから、［コントロール パネル］＞［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択して、プリンターのアイコンを右クリックして表示される［印刷設定］を選択します。

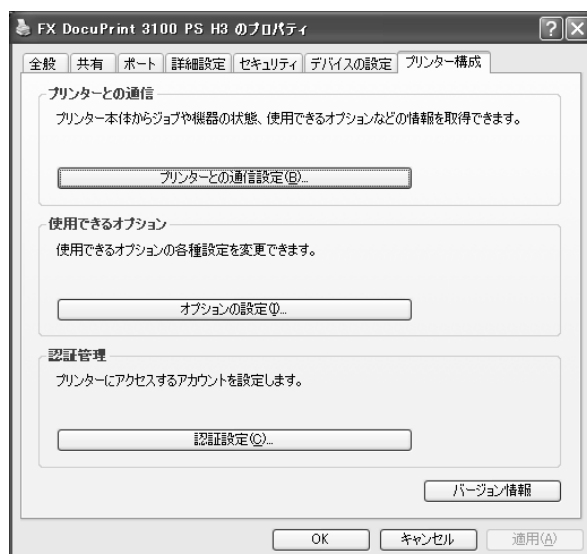
■Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

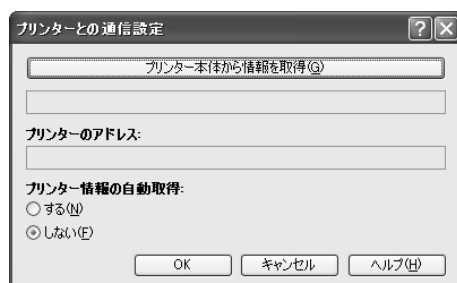
［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選択して、プリンターのアイコンを右クリックして表示される［印刷設定］を選択します。

［プリンター構成］タブ

［プリンター構成］タブ内の設定について説明します。

補足

- * は初期値です。
- ［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

［プリンターとの通信］

［プリンターとの通信設定］をクリックすると、次の画面が表示されます。

［プリンター本体から情報を取得］

プリンター本体からジョブやプリンターの状態、使用できるオプションなどの情報を取得できます。
取得した情報は、［オプションの設定］ダイアログボックスの設定や、用紙の設定に、自動的に反映されます。

補足

- プリンターが TCP/IP、または IPX で接続され、お使いのコンピューターと通信できる状態の場合に設定できます。
- 現在 Windows にログインしているユーザーに、プリンタードライバー設定のアクセス権がない場合は、設定を変更できません。

［プリンターのアドレス］

［プリンター本体から情報を取得］ボタンをクリックして取得した、プリンターのアドレスが表示されます。

TCP/IP の場合は、IP アドレスが表示されます。

IPX の場合は、ネットワークアドレスとノードアドレスが表示されます。

［プリンター情報の自動取得］

プリンター本体からジョブやプリンターの状態、使用できるオプションなどの情報を、自動で取得するかしないかを設定します。

■［する］

プリンタードライバーの画面を表示したときに、プリンター本体からジョブやプリンターの状態、使用できるオプションなどの情報を自動で取得します。

［する］を選択すると、［オプションの設定］ダイアログボックスは設定できなくなります。

■［しない］*

自動で取得しません。

［しない］を選択した場合、オプションや給紙トレイの設定は、［オプションの設定］ダイアログボックスで手動で行ってください。

［使用できるオプション］

［オプションの設定 ...］ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

オプションの設定を、手動で変更します。

補足

- ［プリンターとの通信設定］ダイアログボックスで、［プリンター情報の自動取得］を［しない］にしている場合に設定できます。

設定項目

■［内蔵ハードディスク］

ハードディスク（オプション）が装着されている場合に設定します。

［あり］を選択すると［用紙 / 出力］タブの［プリント種類］で［セキュリティープリント］、［サンプルプリント］、［時刻設定プリント］が選択できるようになります。

- ［なし］*
- ［あり］

補足

- ［レイアウト / スタンプ］タブの［製本レイアウト］は両面印刷モジュール（オプション）とハードディスク（オプション）の両方を装着している場合に、選択できます。

■［RAM ディスク］

増設システムメモリー（1GB）（オプション）が装着されている場合に設定します。

［あり］を選択すると、［用紙 / 出力］タブの［プリント種類］で［セキュリティープリント］、［サンプルプリント］、［時刻設定プリント］が選択できるようになります。

- ［なし］*
- ［あり］

■［メモリー容量］

装着されているメモリー容量に合わせて設定します。

- ［768MB］
- ［1280MB］

■［両面ユニット］

両面印刷モジュール（オプション）が装着されている場合に設定します。

［あり］を選択すると、［レイアウト / スタンプ］タブの［製本レイアウト］が選択できるようになります。

- ［なし］*
- ［あり］

補足

- ［レイアウト / スタンプ］タブの［製本］は両面印刷モジュール（オプション）とハードディスク（オプション）の両方を装着している場合に、選択できます。

■［給紙トレイ構成］

本機の給紙トレイ構成を設定します。

- ［1 トレイ］*
- ［2 トレイ］
- ［3 トレイ］

■［暗証番号の最小桁数］

蓄積用ユーザーID、セキュリティプリントで設定する、暗証番号の最小桁数を設定します。

- ［0］*
- ［1］～［12］

■［認証 / 集計時の入力項目］

認証管理をする場合に、使用する ID を選択します。

- ［User ID と Account ID］*
- ［User ID のみ］
- ［Account ID のみ］

補足

- お使いのプリンターの設定に応じて自動で設定されるため、通常は変更する必要はありません。

［認証管理］

［認証設定 ...］ボタンをクリックすると、［認証管理］ダイアログボックスが表示されます。認証の設定ができます。

補足

- 認証機能を使用している場合に、認証情報が不正と判断されたジョブは、プリンター側の設定によって、削除、または［認証プリント］に保存されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

［認証管理方法の設定］

認証管理をしてプリントするかどうか設定します。

- ［認証管理しない］
  認証管理をしないでプリントします。
- ［認証管理する］*
  認証管理をしてプリントします。
- ［認証管理ツールを使用する］
  ジョブオーナー名設定ツールとして登録されているアプリケーションを使用して、認証管理を行います。

補足

- ［認証管理ツールを使用する］は、「ApeosWare Accounting Service 履歴」または「ApeosWare Management Suite/Apeosware Device Management」に同梱されているジョブオーナー名設定ツールをインストールしている場合に表示されます。

［認証管理モード］

認証に関係する各種の設定について、各ユーザーが変更できるようにするかどうか、管理者が決めた設定をそのまま使用するかどうかを選択します。

- ［管理者］

  集計管理は管理者が設定したモードで動作し、ユーザーは変更できなくなります。プリンターアイコンごとに、異なる設定ができます。

- ［ユーザー］*

  各ユーザーが、集計管理の設定を変更できるようになります。ユーザーごとに、異なる設定ができます。

注記

- 現在 Windows にログオンしているユーザーに、プリンターの設定へのアクセス権がない場合、設定を変更できません。
- 対象になる設定は、［認証管理］ダイアログボックスの［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］と［常に同じ認証情報を使用する］の設定、または User ID についての設定です。

［使用する認証情報］

認証情報として、認証用 ID と蓄積用 ID のどちらを使用するかを設定します

［認証管理方法の設定］で［認証管理する］を選択すると、表示されます。

- ［User ID と Account ID］*

  認証用 User ID を入力できます。

- ［蓄積用ユーザー ID］

  蓄積用ユーザー ID を入力できます。

- ［すべて］

  認証用 User ID または蓄積用ユーザー ID を入力できます。

補足

- ［プリンター構成］タブの［オプションの設定］ダイアログボックスの［認証 / 集計時の入力項目］との組み合わせで、ユーザーが入力できる認証情報を制限できます。

［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］

この項目を選択すると、プリントを指示したときに［ユーザー情報の入力］ダイアログボックスが表示されます。ユーザーは、ユーザー名やパスワードなどを入力してプリントを開始します。

■［前回入力した情報を表示する］

［ユーザー情報の入力］ダイアログボックスに、前回設定したユーザーの認証情報を表示します。前回設定したユーザーの認証情報は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。

■［User ID をアスタリスク（***）で表示する］

［ユーザー情報の入力］ダイアログボックスに入力した User ID を、アスタリスク（*）で表示します。

■［Account ID をアスタリスク（***）で表示する］

［ユーザー情報の入力］ダイアログボックスに入力した Account ID を、アスタリスク（*）で表示します。

参照

- ［ユーザー情報の入力］ダイアログボックスの詳細は、「［ユーザー情報の入力］ダイアログボックス」(P.96) を参照してください。

［常に同じ認証情報を使用する］

この項目を選択すると、プリント時に、ここで設定した認証情報が使用されるようになります。

注記

- User ID とパスワードは、プリンターに登録されているものと合わせてください。異なっているとプリントされません。
- 使用する User ID、パスワード、および Account ID は、プリンターの管理者に確認してください。

補足

- プリンターの操作パネルに表示される［User ID］という項目は、プリンター側で表示名（例：User Name）を変更できます。プリンター側で表示名を変えても、プリンタードライバーでの表示名は［User ID］のままです。

■［User ID の指定］

User ID の指定方法を選択します。User ID は、プリントジョブの集計機能を使用するときに使用されます。

- ［ID を入力する］

  User ID を入力する場合に選択します。
  ［ID を入力する］を選択した場合は、下の［User ID］に User ID を入力します。

- ［ログイン名を使用する］*

  User ID として、Windows のログイン名が使用されます。
  ［User ID］に「ログインユーザー名」が表示され、［User ID］のテキストボックスは編集できない状態になります。ログイン名は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）以内で表示されます。

■［User ID］

［User ID］に、任意の User ID を入力します。［User ID の指定］で［ID を入力する］を選択した場合、User ID を半角で 32 文字（全角で 16 文字）以内で入力します。

■［パスワード］

User ID に対するパスワードを、半角の英数字 4 ～ 12 文字で入力します。

入力したパスワードは、アスタリスク（*）で表示されます。

■［Account ID］

集計管理するための Account ID を入力します。半角の英数字 32 文字以内で入力します。

■［蓄積用ユーザー ID］

蓄積したプリントジョブを、機器側で検索するために、蓄積用ユーザー ID を登録します。
入力した文字列は、機器の認証プリント機能で、保存文書の名前として表示されます。
蓄積用ユーザー ID は、半角で 8 文字以内で入力します。

補足

- プリンター側の認証プリントの受信制御で、ジョブを保存する設定にしてください。

■［暗証番号］

蓄積用ユーザーID に対する暗証番号を入力します。半角数字で 12 文字以内で入力します。入力した番号は、アスタリスク（*）で表示されます。
暗証番号を登録しない場合は、空欄のまま［OK］ボタンをクリックします。

［ユーザー情報の入力］ダイアログボックス

［認証管理］ダイアログボックスで、［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選択すると、プリントを指示したときに、［ユーザー情報の入力］ダイアログボックスが表示されます。
［使用する認証情報］の設定によって表示される項目が異なります。

［使用する認証情報］で［User ID と Account ID］を選択した場合

［User ID］、［パスワード］、［Account ID］の項目が表示されます。

■［User ID］

プリンターに登録されている User ID（ジョブオーナー名）を入力します。User ID は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）以内で入力します。

注記

- User ID は、プリンターに登録されているものと合わせてください。異なっているとプリントされません。
- 使用する User ID は、プリンターの管理者に確認してください。

■［パスワード］

User ID に対するパスワードを、半角の英数字 4 ～ 12 文字で入力します。

入力したパスワードは、アスタリスク（*）で表示されます。

注記

- パスワードは、プリンターに登録されているものと合わせてください。異なっているとプリントされません。
- 使用するパスワードは、プリンターの管理者に確認してください。

■［Account ID］

集計管理するための Account ID を入力します。半角の英数字で 32 文字以内で入力します。

補足

- 使用する Account ID は、プリンターの管理者に確認してください。

［使用する認証情報］で［蓄積用ユーザー ID］を選択した場合

［蓄積用ユーザー ID］、［暗証番号］の項目が表示されます。

■［蓄積用ユーザー ID］

蓄積用ユーザー ID を入力します。
入力した文字列は､機器の認証プリント機能で､保存文書の名前として表示されます。
蓄積用ユーザー ID は、半角で 8 文字以内で入力します。

注記

- 認証プリント機能については、プリンターのマニュアルを参照してください。

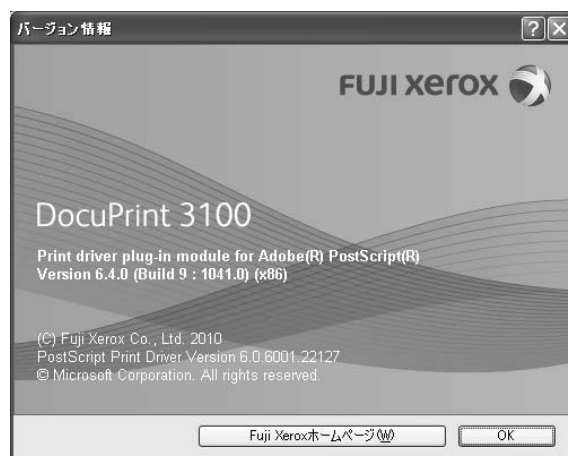
■［暗証番号］

蓄積用ユーザー ID に対する暗証番号を、半角の数字で 12 文字以内で入力します。
入力した番号は、アスタリスク（*）で表示されます。
空欄のまま［OK］ボタンをクリックすると、暗証番号なしの設定になります。

［バージョン情報］

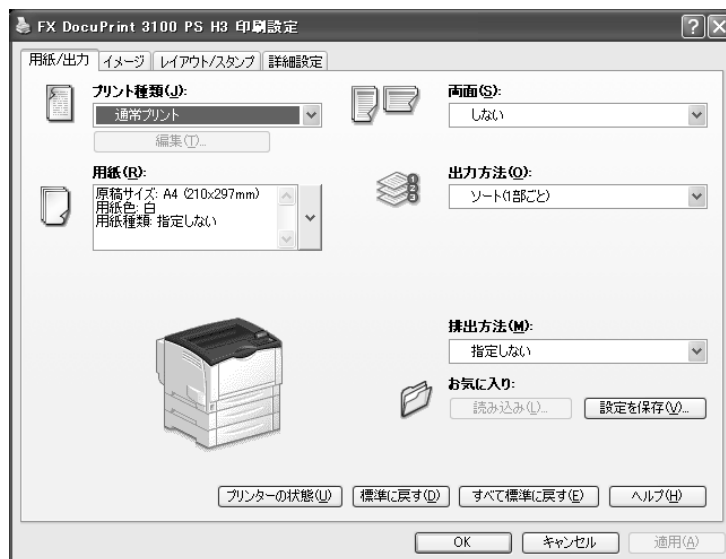
［バージョン情報］をクリックすると､［バージョン情報］ダイアログボックスが表示されます。

［バージョン情報］ダイアログボックス

プリンタードライバーのバージョンや著作権などが表示されます。

■［Fuji Xerox ホームページ］

このボタンをクリックすると、お使いのコンピューターのブラウザーが起動し、弊社のホームページ内にあるドライバーダウンロードサービスのページが表示されます。
このホームページから最新のプリンタードライバーなどをダウンロードできます。

［用紙 / 出力］タブの設定

［用紙 / 出力］タブで設定する項目について説明します。

参照

- ［用紙 / 出力］タブを表示する手順は、「タブを表示する」(P.89) を参照してください。

補足

- * は初期値です。
- ［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。
- ［すべて標準に戻す］をクリックすると、表示されているすべてのタブの各項目を初期値に戻すことができます。

［プリント種類］

プリントの種類を設定します。設定できる項目は、次のとおりです。

- ［通常プリント］*

  通常のプリントをする場合に設定します。

- ［セキュリティープリント］

  プリントを指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、プリントしたいときにプリンター側の指示で出力する機能です。

  ［編集］をクリックして表示される［セキュリティープリント］ダイアログボックスで、各項目を設定します。

参照

- ［セキュリティープリント］ダイアログボックスについては、「［セキュリティープリント］ダイアログボックス」(P.99) を参照してください。

- ［サンプルプリント］

  複数部数をプリントする場合に、まず 1 部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数をプリンター側の指示で出力する機能です。

  ［編集］をクリックして表示される［サンプルプリント］ダイアログボックスで、各項目を設定します。

参照

- ［サンプルプリント］ダイアログボックスについては、「［サンプルプリント］ダイアログボックス」(P.100) を参照してください。

補足

- サンプルプリントをする場合は、プリント部数を 2 部以上に設定します。

- ［時刻指定プリント］

  プリントを指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、指定した時刻に出力させる機能です。指定した時刻に電源が切ってあった場合は、電源が入ってからプリントされます。

  ［編集］をクリックして表示される［時刻指定プリント］ダイアログボックスで、各項目を設定します。

参照

- ［時刻指定プリント］ダイアログボックスについては、「［時刻指定プリント］ダイアログボックス」(P.100) を参照してください。

［セキュリティープリント］ダイアログボックス

セキュリティープリントをする場合に必要な設定をします。

［ユーザー ID］

セキュリティープリントで使用されるユーザー ID を入力します。ユーザー ID は、半角で 8 文字以内で入力します。

［暗証番号］

セキュリティープリントの［ユーザー ID］に対応する、暗証番号を入力します。半角数字 12 文字以内で入力します。番号は、アスタリスク（*）で表示されます。

［蓄積する文書名］

セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントで、プリンターに保存する文書の名前の指定方法を選択します。

- ［文書名の自動取得］

  文書名はプリントを指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数字で 12 文字を超える部分は無効になります。

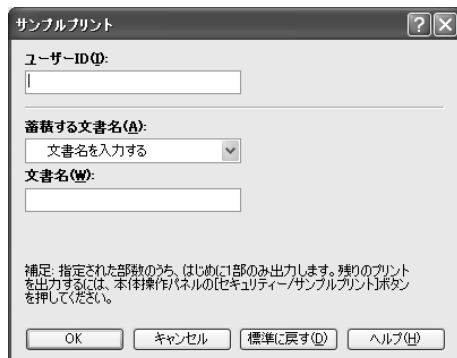
- ［文書名を入力する］

  ［文書名］に文書の名前を入力します。

[文書名]

[蓄積する文書名] で [文書名を入力する] を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数字で 12 文字以内です。

[サンプルプリント] ダイアログボックス

サンプルプリントをする場合に必要な設定をします。

[ユーザー ID]

サンプルプリントで使用されるユーザー ID を入力します。ユーザー ID は、半角で 8 文字以内で入力します。

[蓄積する文書名]

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。

- [文書名の自動取得]

  文書名はプリントを指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数字で 12 文字を超える部分は無効になります。

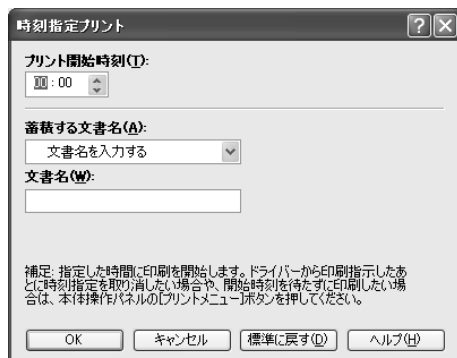
- [文書名を入力する]

  [文書名] に文書の名前を入力します。

[文書名]

[蓄積する文書名] で [文書名を入力する] を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数字で 12 文字以内です。

[時刻指定プリント] ダイアログボックス

時刻指定プリントをする場合に必要な設定をします。

［プリント開始時刻］

時刻指定プリントを選択した場合に、プリントを開始する時刻を指定します。指定できる時刻の範囲は、00:00 ～ 23:59 です。

［蓄積する文書名］

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。

- ［文書名の自動取得］

  文書名はプリントを指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数字で 12 文字を超える部分は無効になります。

- ［文書名を入力する］

  ［文書名］に文書の名前を入力します。

［文書名］

［蓄積する文書名］で［文書名を入力する］を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数字で 12 文字以内です。

［用紙］

原稿のサイズや用紙種類、用紙トレイの選択など、用紙について設定ができます。

［原稿サイズ］

プリントするファイルの原稿サイズを指定します。

補足

- ［ユーザー定義用紙］を選択すると、［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。表示されたダイアログボックスで、ユーザー定義の用紙サイズについて設定できます。

［用紙色］

プリントに使用する用紙の色を指定します。
用紙色は、トレイごとにプリンター側で設定します。
プリンタードライバーで［用紙色］を設定すると、用紙に合うトレイから用紙が給紙されます。

- ［白］*
- ［青］
- ［黄色］
- ［緑］
- ［ピンク］
- ［透明］
- ［アイボリー］
- ［グレー］
- ［クリーム］
- ［山吹色］
- ［赤］
- ［オレンジ］
- ［ユーザー色 1］～［ユーザー色 5］
- ［その他］
- ［自動］

補足

- ［自動］を選択した場合は、プリンター側の色設定は無視され、用紙サイズまたは指定したトレイ番号の用紙から給紙されます。［その他］は、プリンター側で任意の色［その他］の色として設定している場合に使用できます。

［用紙種類］

プリントする用紙の種類を指定します。

［用紙トレイ選択］を［自動選択（用紙種類 / 用紙色優先）］にしてプリントする場合に、優先して選択する用紙種類を設定します。

用紙種類は、トレイごとにプリンター側で設定します。

また、［用紙トレイ選択］を［トレイ 5（手差し）］にしてプリントする場合は、手差しトレイの用紙種類を設定することができます。

- ［指定しない］*
- ［普通紙］
- ［普通紙うら面］
- ［再生紙］
- ［うす紙（60 ～ 90g/ ㎡）］
- ［厚紙 1（91 ～ 157g/ ㎡）］
- ［厚紙 2（158 ～ 216g/ ㎡）］
- ［OHP フィルム］
- ［ユーザー定義用紙 1］～［ユーザー定義用紙 5］

［用紙トレイ選択］

プリントに使用する用紙トレイを選択します

- ［自動選択］*
- ［自動選択（用紙種類 / 用紙色優先）］
- ［トレイ 1］～［トレイ 3］
- ［トレイ 5（手差し）］

補足

- 表示される用紙トレイは、装着されている用紙トレイによって異なります。

［用紙一括設定］

［用紙一括設定］ダイアログボックスが表示されます。

用紙についての設定を一括して行うことができます。

参照

- ［用紙一括設定］ダイアログボックスについては、「［用紙一括設定］ダイアログボックス」(P.103) を参照してください。

［OHP 合紙］

［OHP 合紙］ダイアログボックスが表示されます。
OHP フィルムにプリントするときに、合紙を挿入することができます。

参照

- ［OHP 合紙］ダイアログボックスについては、「［OHP 合紙］ダイアログボックス」(P.104) を参照してください。

［サイズ混在］

［サイズ混在］ダイアログボックスが表示されます。

用紙サイズが混在している原稿をプリントする場合の設定ができます。

参照

- ［サイズ混在］ダイアログボックスについては、「［サイズ混在］ダイアログボックス」(P.106) を参照してください。

［表紙 / 合紙付け］

［表紙 / 合紙付け］ダイアログボックスが表示されます。

表紙や合紙をプリントする場合の設定ができます。

参照

- ［表紙 / 合紙付け］ダイアログボックスについては、「［表紙 / 合紙付け］ダイアログボックス」(P.108) を参照してください。

［用紙一括設定］ダイアログボックス

［用紙トレイ選択］

参照

- ［用紙トレイ選択］については、「［用紙トレイ選択］」(P.102) を参照してください。

補足

- ［用紙トレイ選択］で［トレイ 5（手差し）］を選択すると、［手差し用紙の給紙方向］が表示され設定できるようになります。

［原稿サイズ］

参照

- ［原稿サイズ］については、「［原稿サイズ］」(P.101) を参照してください。

［用紙の倍率］

プリントする用紙サイズに合わせて、原稿を自動的に拡大、または縮小してプリントできます。

- ［変更しない］*

  用紙サイズが変更されても、プリントする内容が自動では拡大、縮小しません。

- ［自動］

  ［出力用紙サイズ］で選択した用紙サイズに合わせて、原稿を自動的に拡大、または縮小してプリントします。

注記

- アプリケーションによっては、自動では原稿のイメージを拡大、または縮小できない場合があります。

［出力用紙サイズ］

プリントする用紙サイズに合わせて、原稿を自動的に拡大、または縮小する場合に、プリントする用紙サイズを設定します。

選択できる出力用紙サイズは、機器に装着されているオプションによって異なります。

補足

- 次の条件を満たしている場合に、設定できます。
  - ［レイアウト / スタンプ］タブの［まとめて 1 枚］を［1］に設定している。
  - ［レイアウト / スタンプ］タブの［製本レイアウト］に、チェックマークを付けていない。
  - ［用紙の倍率］で［自動］を選択している。

［用紙種類］

参照

- ［用紙種類］については、「［用紙種類］」(P.102) を参照してください。

［用紙色］

参照

- ［用紙色］については、「［用紙色］」(P.101) を参照してください。

［手差し用紙の給紙方向］

用紙トレイ 5（手差し）を使用してプリントする場合の用紙のセット方向を設定します。用紙トレイ 5（手差し）に用紙の短辺をあわせてセットする場合は［たて置き優先］、用紙の長辺をあわせてセットする場合は［よこ置き優先］となります。用紙のサイズによって、向きが限定されている場合は、ここの設定は無効になり、用紙をセットした方向でプリントされます。

- ［よこ置き優先］*
- ［たて置き優先］

［OHP 合紙］ダイアログボックス

［用紙の設定情報］

原稿サイズやプリントする用紙の種類など、用紙についての設定情報を表示します。

［合紙の種類］

OHP フィルムをプリント時に合紙を挿入する場合、合紙の種類を選択できます。
［挿入しない］以外を選択すると、OHP フィルムを 1 枚プリントするごとに、合紙を 1 枚自動的に挿入します。

- ［挿入しない］ *
- ［白紙］
- ［プリントした用紙］

補足

- ［白紙］または［プリントした用紙］を選択すると、部数は 1 部に固定されます。合紙用の用紙は、OHP フィルムと同じサイズで、同じ向きにセットしてください。
- 合紙用の用紙は、OHP フィルムと同じサイズで、同じ向きにセットしてください。
- ［用紙 / 出力］タブの［用紙］メニューボタンの［用紙種類］から、［OHP フィルム］を選択すると、［白紙］と［プリントした用紙］を選択できるようになります。
- ［用紙 / 出力］タブの［用紙］メニューボタンの［用紙トレイ選択］から、［トレイ 1］、［トレイ 2］または［トレイ 3］を選択すると、［白紙］と［プリントした用紙］を選択できるようになります。

［合紙用トレイ選択］

OHP フィルムをプリント時に合紙を挿入する場合、合紙を給紙するトレイを設定します。

- ［自動］ *
- ［トレイ 1］～［トレイ 3］
- ［トレイ 5（手差し）］

補足

- ［合紙の種類］で［白紙］または［プリントした用紙］を選択した場合に設定できます。
- ［合紙用トレイ選択］で［トレイ 5（手差し）］を選択すると、［用紙種類］を選択できるようになります。
- ［用紙トレイ選択］で［トレイ 5（手差し）］を選択すると、［手差し用紙の給紙方向］が表示され設定できるようになります。

［用紙種類］

手差しトレイを使用する場合の用紙の種類を指定します。

- ［指定しない］ *
- ［普通紙］
- ［普通紙うら面］
- ［再生紙］
- ［厚紙 1（91 ～ 157g/ ㎡）］
- ［厚紙 2（158 ～ 216g/ ㎡）］
- ［うす紙（60 ～ 90g/ ㎡）］
- ［ユーザー定義 1］～［ユーザー定義 5］

補足

- この項目は、［合紙用トレイ選択］から［トレイ 5（手差し）］を選択すると、指定できます。

[手差し用紙の給紙方向]

用紙トレイ 5（手差し）を使用してプリントする場合の用紙のセット方向を設定します。用紙トレイ 5（手差し）に用紙の短辺をあわせてセットする場合は［たて置き優先］、用紙の長辺をあわせてセットする場合は［よこ置き優先］となります。用紙のサイズによって、向きが限定されている場合は、ここの設定は無効になり、用紙をセットした方向でプリントされます。

- ［よこ置き優先］*
- ［たて置き優先］

[サイズ混在］ダイアログボックス

[サイズ混在原稿を印刷する］チェックボックス

2 種類の異なる用紙サイズが混在している原稿をプリントする場合、各用紙サイズのページの上下の向きが一致するように、自動的に原稿を回転してプリントします。

また、両面プリントで、長辺をとじる用紙サイズと短辺をとじる用紙サイズが混在している原稿をプリントする場合、うら面の向きを自動的に調整します。

[先頭のページ]

サイズ混在原稿の先頭のページの［原稿サイズ］と［原稿の向き］を設定すると、プリントの向きが自動で調整されます。

■[原稿サイズ]

先頭のページの原稿サイズを指定します。
この設定によって、[混在するページ］の［原稿サイズ］が自動的に設定されます。

■[原稿の向き]

先頭のページの原稿の向きを指定します。
［たて原稿]、または［よこ原稿］を選択します。

[混在するページ]

混在するページの［原稿サイズ］と［原稿の向き］を設定します。

■［原稿サイズ］

混在するページの原稿サイズが表示されます。先頭のページの［原稿サイズ］の設定によって、この原稿サイズは自動的に設定されます。

表示される組み合わせは、次のとおりです。

［先頭のページ］の設定	［混在するページ］の［原稿サイズ］
A3（297x420mm）	A4（210x297mm）
A4（210x297mm）	A3（297x420mm）
B4（257x364mm）	B5（182x257mm）
B5（182x257mm）	B4（257x364mm）
11x17"	8.5x11"（レター）
8.5x11"（レター）	11x17"

■［原稿の向き］

混在するページの原稿の向きを指定します。

- ［たて原稿］*
- ［よこ原稿］

［原稿 180° 回転］

原稿を 180° 回転してプリントします。

- ［しない］*
- ［たて原稿］
- ［よこ原稿］
- ［たてよこ原稿（封筒など）］

補足

- ［レイアウト / スタンプ］タブの［まとめて 1 枚］で［2 アップ］以上を選択した場合は、それぞれのページを回転してプリントします。

［とじ位置］

サイズ混在原稿を左とじ（右開き）、または右とじ（左開き）にするかを選択します。

- ［パターン 1］*
- ［パターン 2］

補足

- ［詳細設定］タブの［用紙 / 出力］の［サイズ混在出力時の画像の向き合わせ］を［する］にすると表示されます。

［表紙 / 合紙付け］ダイアログボックス

［おもて表紙を付ける］

チェックマークを付けると、プリントする原稿の先頭に、おもて表紙を挿入します。

［おもて表紙用トレイ選択］で選択されているトレイにセットされている用紙が、おもて表紙として挿入されます

■［おもて表紙を印刷する］

チェックマークを付けると、プリントする原稿の最初のページが、おもて表紙にプリントされます。

■［おもて表紙用トレイ選択］

おもて表紙として挿入する用紙がセットされているトレイを設定します。

- ［トレイ 1］*
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 5（手差し）］

［うら表紙を付ける］

チェックマークを付けると、プリントする原稿の最後に、うら表紙を挿入します。

［うら表紙用トレイ選択］で選択されているトレイにセットされている用紙が、うら表紙として挿入されます。

補足

- うら表紙にはプリントできません。

■［うら表紙用トレイ選択］

うら表紙として挿入する用紙がセットされているトレイを設定します。

- ［トレイ 1］*
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 5（手差し）］

［合紙を付ける］

チェックマークを付けると、プリントする原稿の途中に、合紙を挿入します。

［合紙用トレイ選択］で選択されているトレイにセットされている用紙が、合紙として挿入されます。合紙を挿入する位置は、［付ける位置］で指定します

■［合紙用トレイ選択］

合紙として挿入する用紙がセットされているトレイを設定します。

- ［トレイ 1］*
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 5（手差し）］

■［付ける位置］

合紙を挿入する位置を、ページ数で指定します。

合紙は、指定したページの前に挿入されます。

［用紙種類］

手差しトレイを使用する場合の用紙の種類を指定します。

補足

- ［おもて表紙用トレイ選択］、［うら表紙用トレイ選択］、または［合紙用トレイ選択］から［トレイ 5（手差し）］を選択すると、設定できます。

［両面］

用紙のおもて面とうら面にプリントします。

- ［しない］*

  両面プリントはされません。

- ［長辺とじ］

  用紙の長辺を軸に、おもて面とうら面の上方向が一致するようにプリントされます。

- ［短辺とじ］

  用紙の短辺を軸に、おもて面とうら面の上方向が一致するようにプリントされます。

［出力方法］

用紙の出力方法を選択します。
左側のアイコンをクリックすると、選択項目を切り替えられます。

- ［ソート（1 部ごと）］*

  複数ページの原稿を部数単位でプリントできます。

- ［スタック（ページごと）］

  複数ページの原稿をページ単位でプリントできます。

［排出方法］

［指定しない］に固定されています。

［お気に入り］

お気に入りは、プリンタードライバーの各設定値をあらかじめ登録しておいて、簡単にプリンタードライバーの設定ができる機能です。

［読み込み］

このボタンをクリックすると、［お気に入りの読み込み］ダイアログボックスが表示され、登録済みのお気に入りを読み込みできます。

■［お気に入りの読み込み］ダイアログボックス

［設定を保存］

このボタンをクリックすると、［お気に入りの保存］ダイアログボックスが表示され、プリンタードライバーの各設定値を保存できます。

■［お気に入りの保存］ダイアログボックス

［プリンターの状態］

お使いのコンピューターのブラウザーが起動し、プリンターの CentreWare Internet Services に接続して、プリンターの状態を表示します。
CentreWare Internet Services を利用するには、プリンター側でインターネットサービスを起動する必要があります。

補足

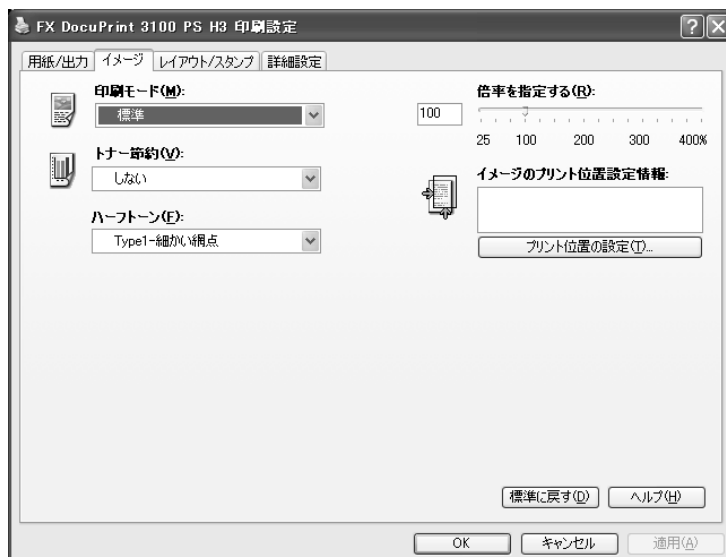
- プリンターが、TCP/IP、または IPX で接続され、お使いのコンピューターと通信できる状態の場合に設定できます。

［イメージ］タブの設定

［イメージ］タブで設定する項目について説明します。

参照

- ［イメージ］タブを表示する手順は、「タブを表示する」(P.89) を参照してください。

補足

- * は初期値です。
- ［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

［印刷モード］

プリントするときの画質を指定します。
変更の結果は、左側のアイコンで確認できます。また、アイコンをクリックすると、設定項目を切り替えられます。

- ［標準］*
  画質にこだわらないで、速くプリントしたい場合に適しています。
- ［高精細（文字 / 線)］
  細かい線画などをプリントする場合に選択します。

［トナー節約］

トナーの消費量を少なくしてプリントします。

［かなりうすい（ドラフト)］を選択した場合は全体的に色が薄くなるため、画質にこだわらない、ドラフト原稿などを印刷する場合に適しています。

- ［しない］*
- ［ややうすい（節約量小)］
- ［うすい（節約最大)］
- ［かなりうすい（ドラフト)］

[ハーフトーン]

プリントする原稿の特徴に合わせて、イメージを描画する網点の細かさを調整します。

- ［Type1- 細かい網点］*
- ［Type1- 粗い網点］
- ［Type3- 細かい網点］
- ［Type3- 粗い網点］

[倍率を指定する]

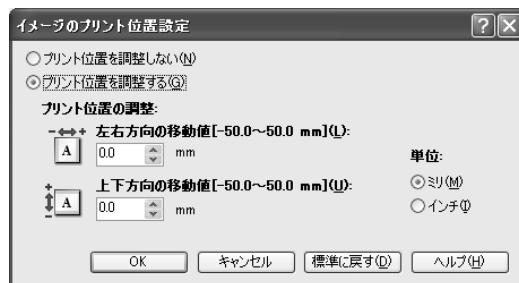
任意の倍率を指定してプリントできます。倍率は、25 ～ 400% の範囲で、1% 単位に指定できます。

補足

- アプリケーションの［印刷］ダイアログボックスなどで、ここでの指定と異なる倍率を指定している場合、ここで指定した倍率でプリントされないことがあります。ここで指定した倍率で確実にプリントするには、アプリケーションの倍率を「100%」に設定してください。
- 拡大、縮小機能を持っていないアプリケーションでは、倍率は指定できません。

[イメージのプリント位置設定情報]

［プリント位置の設定］をクリックすると、［イメージのプリント位置設定］ダイアログボックスが表示されます。

用紙に対してプリント位置を、上下 / 左右方向に調整することができます。

[プリント位置を調整しない]

初期設定の位置でプリントします。

[プリント位置を調整する]

選択すると［プリント位置の調整］が表示され、プリント位置を、左右方向、または上下方向に調整できます。

■［プリント位置の調整］

［左右方向の移動値］：左右方向に移動する値を選択します。
-50 ～ 50mm の間で設定できます。

［上下方向の移動値］：上下方向に移動する値を選択します。
-50 ～ 50mm の間で設定できます。

■［単位］

移動する値を［ミリ］または［インチ］から選択します。

［レイアウト / スタンプ］タブの設定

［レイアウト / スタンプ］タブで設定する項目について説明します。

参照

- ［レイアウト / スタンプ］タブを表示する手順は、「タブを表示する」(P.89) を参照してください。

補足

- * は初期値です。
- ［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

［ページレイアウト］

プリントするページをレイアウトできます。

［まとめて 1 枚］

［まとめて 1 枚］のボタンをチェックすると連続する 2、4、6、9、16 ページ分の原稿を 1 枚の用紙にまとめてプリントします。
まとめてプリントするページ数のボタンをクリックして設定します。

［製本レイアウト］

［製本レイアウト］をチェックすると、［製本］ボタンが選択されます。
［製本］ボタンをクリックすると［製本］ダイアログボックスが表示されます。

参照

- ［製本］ダイアログボックスについては、「［製本］ダイアログボックス」(P.114) を参照してください。

［ページレイアウトの追加設定］

ページに枠線を付けるか付けないかを設定できます。

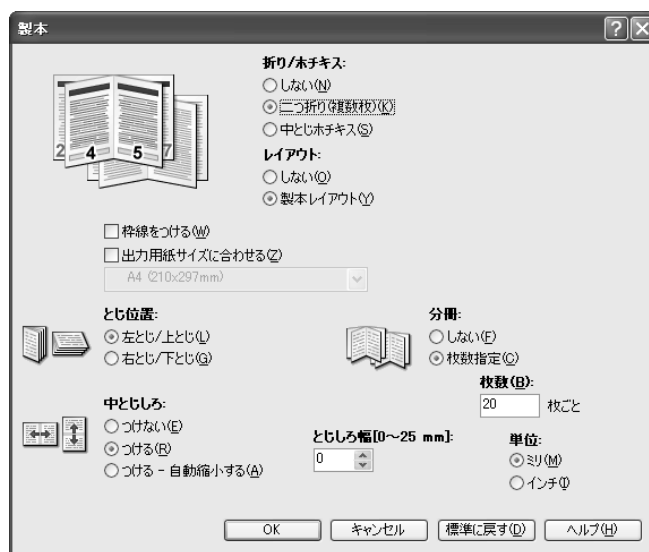
- ［枠線をつけない］*
- ［枠線をつける］

参照

- ［枠線をつける］については、「［枠線をつける］」(P.114) を参照してください。

プリントする原稿の向きを指定します。

- ［たて原稿］*
- ［よこ原稿］

［製本］ダイアログボックス

［レイアウト］

レイアウトの方法を指定します。

■［しない］*

レイアウトを設定しません。

■［製本レイアウト］

選択すると、ページの割り付け方やとじ方などを設定できるようになります。

［枠線をつける］

チェックマークを付けると、［まとめて 1 枚］または［製本］で設定した各ページの周りに枠線をつけてプリントします。

［出力用紙サイズに合わせる］

プリントに使用する用紙サイズを指定します。チェックマークを付けると、用紙サイズを選択できます。

注記

- アプリケーションによっては、出力する用紙のサイズに合うように、自動的に原稿のイメージを拡大、または縮小してプリントされないことがあります。

補足

- ［用紙 / 出力］タブの［原稿サイズ］の設定と異なる用紙サイズを選択した場合、［出力用紙サイズ］に合うように、自動的に原稿のイメージを拡大または縮小してプリントします。

［とじ位置］

製本するときの、とじる位置を指定します。

■［左とじ / 上とじ］

原稿の向きが、たてのときは左とじ（右開き）、よこのときは上とじ（下開き）になるように各ページを割り付けます。

■［右とじ / 下とじ］

原稿の向きが、たての場合は右とじ（左開き）、よこのときは下とじ（上開き）になるように各ページを割り付けます。

［分冊］

分冊にして製本するかどうかを指定します。［枚数指定］をチェックすると、分冊して製本します。

■［しない］*

■［枚数指定］

［枚数］

分冊して製本する場合、各冊子の枚数を、1 枚単位に指定できます。

補足

- ［分冊］で［枚数指定］をチェックしている場合に設定できます。
- 中とじホチキスを設定している場合は、2 枚から 15 枚ごとの設定になります。
- 中とじホチキス以外の場合は、1 枚から 20 枚ごとの設定になります。

［中とじしろ］

中とじで、二つ折りにしたときに中とじ部分の印字が見えにくくなるのを防ぐため、用紙の中央にとじしろをつけます。

■［つけない］*

中とじしろを付けません。

■［つける］

用紙の中央にとじしろを付けます。

■［つけるー自動縮小する］

用紙の中央にとじしろを付け、中とじしろの分だけ狭くなったプリント領域内に収まるように、自動的に原稿を縮小してプリントします。

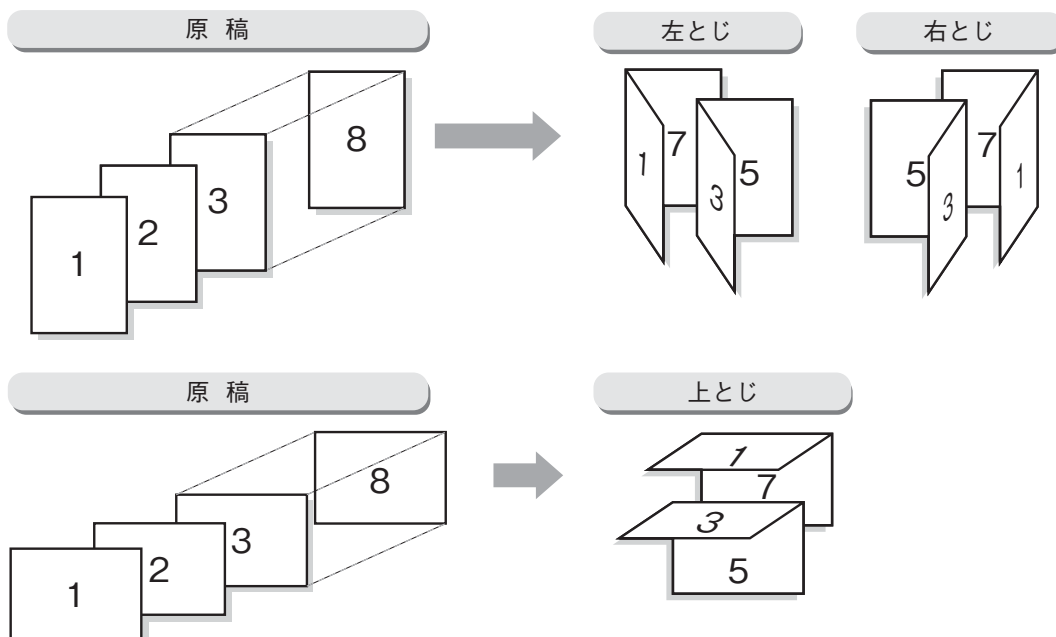
■［とじしろ幅］

中とじのとじしろ幅を設定します。
とじしろ幅は、0 ～ 25mm または 0.0 ～ 0.9inch の間で設定します。

［単位］

［とじしろ幅］で表示される単位をミリメートルまたはインチに切り替えできます。

次に、製本したときにどのようにプリントされるかを示します。

原稿イメージに対し、左とじ、右とじ、上とじして、二つ折りした場合の例です。

［スタンプ］

あらかじめ登録されたスタンプや、新たに登録したスタンプを、原稿に重ねてプリントできます。

- ［(なし)］*

  スタンプをプリントしない場合に選択します。

- ［マル秘］、［回覧］、［参考］、［至急］、［禁複写］、および［取扱注意］

  スタンプの種類を選択できます。

  あらかじめプリンタードライバーに登録されている標準のスタンプです。

- ［追加設定］

  選択したスタンプを追加設定するときに選択します。

補足

- ［追加設定］で［透過する］、［背景に印刷する］、［前面に印刷する］を選択したり、スタンプを［すべてのページ］、［最初のページのみ］プリントする設定ができます。

- ［登録］

  ［登録］を選択すると、［スタンプ設定］ダイアログボックスが表示され、新しいスタンプを登録することができます。スタンプは 32 個まで登録できます。

- ［編集］

  編集したいスタンプを選択して、［編集］を選択すると、［スタンプ設定］ダイアログボックスが表示され、スタンプの設定を変更することができます。

- ［削除］

  削除したいスタンプを選択して、［削除］を選択すると、スタンプが削除されます。

［スタンプ設定］ダイアログボックス

［登録］または［編集］を選択すると［スタンプ設定］ダイアログボックスが表示されます。スタンプにしたい内容を新たに作成して、登録することができます。登録内容によって、設定方法が異なります。［内容］以降は、登録内容ごとに設定項目の説明をします。

［登録名］

［スタンプ］メニューに表示する名前を入力します。入力できる文字数は、全角、半角で 32 文字以内です。

［内容］

プリントするスタンプの内容を設定します。

変更の結果は、仕上がりイメージで確認できます。

- ［文字列］

  文字列のスタンプをプリントできます。文字列は、下の［文字列］に入力します。

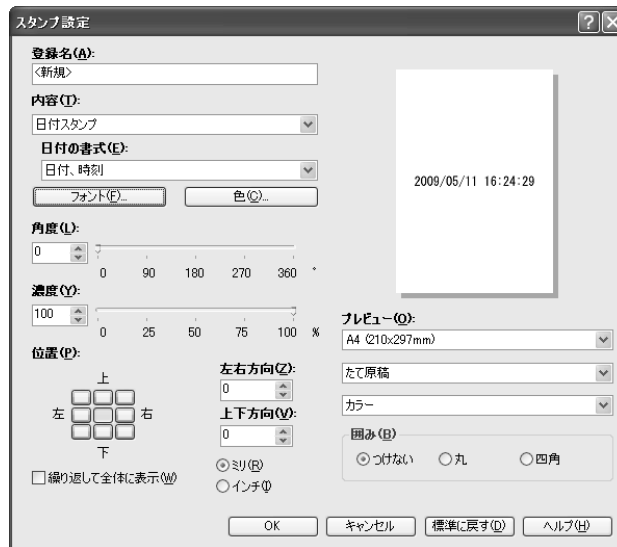
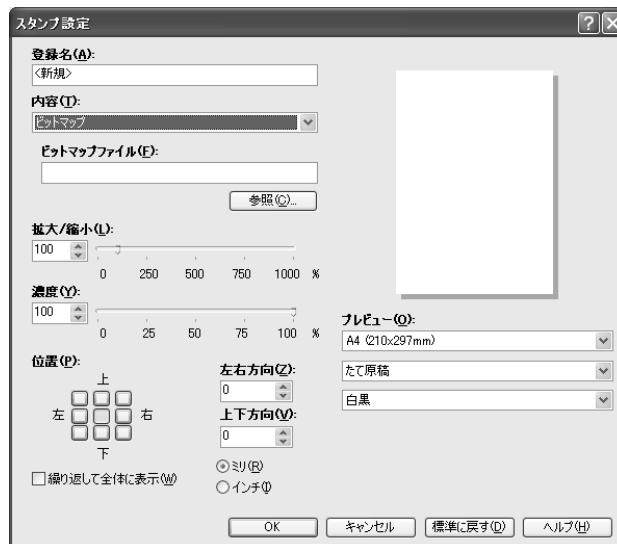
- ［日付スタンプ］

  プリントした日時のスタンプをプリントできます。日付の書式は、［日付の書式］で選択します。

- ［ビットマップ］

  あらかじめ保存しておいたビットマップファイルをスタンプとしてプリントできます。ビットマップのファイルは、下の［ビットマップファイル］の［参照 ...］ボタンで指定できます。

［内容］－［文字列］を選択した場合の画面

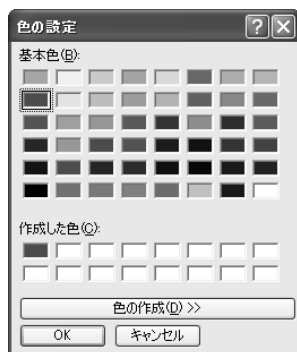
［内容］－［日付スタンプ］を選択した場合の画面

［内容］－［ビットマップ］を選択した場合の画面

■［文字列］

スタンプに表示したい文字を入力します。文字数は半角で 64 文字（全角で 32 文字）以内で入力します。

■［フォント］

［フォント］をクリックすると［フォント］画面が表示されます。
［フォント名］、［スタイル］、［サイズ］、［文字セット］を設定できます。

■［色］

スタンプの色を選択できます。［色の作成］で、作成した色を登録できます。

■［角度］

スタンプの角度を指定します。0 ～ 360°の範囲で 1°単位に、キー入力、スライドバー、または▲▼ボタンで指定します。

■［濃度］

スタンプの濃度を指定します。0 ～ 100% の範囲で 1% 単位に、キー入力、スライドバー、または▲▼ボタンで指定します。

■［位置］

スタンプがプリントされる位置を設定します。

- 左上
- 中央上
- 右上
- 左中央
- 中央 *
- 右中央
- 左下
- 中央下
- 右下

■［繰り返して全体に表示］

スタンプを、用紙の全面に繰り返してプリントするか、1 か所だけプリントするかを設定します。

チェックマークを付けると、繰り返して用紙の全面にプリントします。

■［左右方向］［上下方向］

スタンプを左右方向、上下方向に移動できます。移動値は、ミリまたはインチで指定します。ミリとインチを切り替えるには、ラジオボタンをチェックします。

■［プレビュー］

スタンプのイメージを確認するため、仕上がりイメージの用紙サイズ、用紙の方向、カラーを設定できます。

■［囲み］

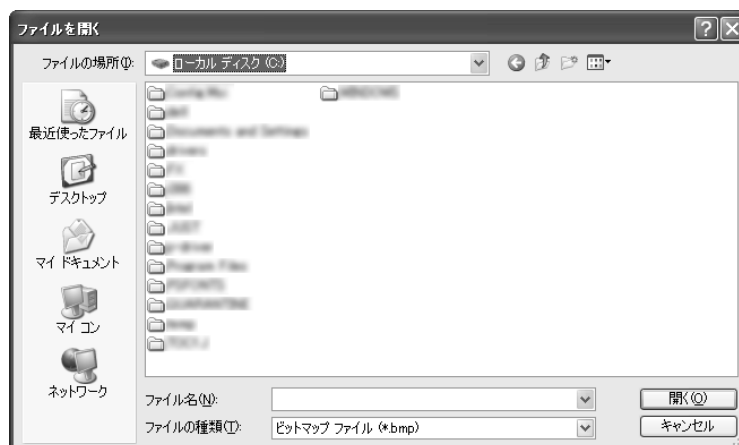
スタンプの周りに丸や四角の枠を設定できます。

■［日付の書式］

表示させたい日付の書式を次から選択します。

- ［日付、時刻］*
- ［日付］
- ［時刻］
- ［曜日、日付、時刻］
- ［曜日、日付］
- ［曜日、日付、時刻、タイムゾーン］
- ［日付、時刻、タイムゾーン］
- ［時刻、タイムゾーン］

■［ビットマップファイル］

スタンプに表示するしたいイメージファイルを選択します。ファイルの場所を直接入力するか、［参照］から選択します。
［参照］をクリックすると、［ファイルを開く］画面が表示されます。

■［拡大 / 縮小］

スタンプを表示する倍率を設定できます。1%単位で 0 ～ 1000%の範囲で指定できます。

［詳細設定］タブの設定

［詳細設定］タブのプリンター固有の機能について説明します。

参照

- ［詳細設定］タブを表示する手順は、「タブを表示する」(P.89) を参照してください。

［詳細設定］タブで設定したい項目を選択して、右に表示されるメニューで設定を変更します。［+］をクリックすると内容が表示され、［−］をクリックすると閉じます。

補足

- * は初期値です。
- ［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

［ドキュメントのオプション］

［TrueType フォント］

TrueType フォントのプリント方法を設定します

- ［デバイス フォントと代替］*
- ［ソフト フォントとしてダウンロード］

［PostScript オプション］

［PostScript 出力オプション］

PostScript ファイルの出力形式を選択します。
通常は、［印刷処理が速くなるよう最適化］を選択します。

- ［印刷処理が速くなるよう最適化］*
- ［エラーが軽減するよう最適化］
- ［EPS（Encapsulated PostScript）］
- ［アーカイブ形式］

[TrueType フォントダウンロードオプション]

TrueType フォントのダウンロード方法を選択します。

- [自動] *
- [アウトライン]
- [ビットマップ]
- [Native TrueType]

[PostScript 言語レベル]

使用するPostScriptの言語レベルを、[1]（最小値）、[2]、[3]（最大値）から選択します。数値が大きいほど言語レベルが高く、提供される機能が多くなります。

[PostScript エラーハンドラーを送信]

PostScript エラーが発生した場合、メッセージをプリンターに送信するように設定できます。

- [はい]

  プリントのジョブにエラーが発生したときに、プリンター側でメッセージがプリントされます。

- [いいえ]

  メッセージをプリンターに送信しません。

[用紙 / 出力]

[部数]

プリントする部数をする部数を、1 ～ 9999 の範囲で設定します。
▲▼ボタンで値を選択するか、キーボードで値を入力します。

[バナーシート]

プリントジョブごとに区別するための、仕分け用の用紙（バナーシート）のプリント方法を設定します。

- [出力しない]
- [出力する（スタートシート）]
- [プリンターの設定を用いる] *

補足

- [用紙 / 出力] タブの [プリント種類] で、[通常プリント]、および [サンプルプリント] を選択した場合に設定できます。

[仕切り合紙]

複数ページの原稿を、複数の部数でソートしないでプリントする場合、ページの変わり目に仕切り用の合紙を挿入できます。

- [付けない] *
- [トレイ 1] ～ [トレイ 3]
- [トレイ 5（手差し）]

補足

- 次の条件を満たしている場合に、設定できます。
  - ［用紙 / 出力］タブで、［出力方法］を［スタック（ページごと）］にしている。
  - ［表紙 / 合紙付け］ダイアログボックスの［合紙を付ける］に、チェックマークを付けていない。
  - ［紙折り］を設定していない。
  - ［OHP 合紙］を設定していない。
  - ［表紙 / 合紙付け］を設定していない。

［用紙の置き換え］

［用紙 / 出力］タブの［用紙］の［用紙トレイ選択］を［自動選択］を選択した場合に、プリントするサイズの用紙がプリンターにセットされていないときの動作を設定します。

- ［プリンターの設定を用いる］*

  プリンター側の設定を使用します。設定については、プリンターの操作パネルで確認してください。

- ［用紙補給を表示する］

  操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまでプリントされません。

- ［手差しトレイから給紙する］

  指定されたサイズの用紙が用紙トレイにない場合、用紙トレイ 5（手差し）から給紙します。

- ［近いサイズを選択（縮小 / 等倍）］

  最も近いサイズの用紙を選択して、等倍、または必要に応じて自動的にイメージを縮小してプリントします。

- ［近いサイズを選択（等倍）］

  最も近いサイズの用紙を選択して、等倍でプリントします。

- ［大きいサイズを選択（縮小 / 等倍）］

  原稿サイズより大きな用紙を選択して、等倍、または必要に応じて自動的にイメージを縮小してプリントします。

- ［大きいサイズを選択（等倍）］

  原稿サイズより大きな用紙に、等倍でプリントします。

［白紙節約］

白紙ページを含む文書をプリントする場合に、白紙ページをプリントするかどうかの設定をします。

- ［しない］*
- ［する］

［ジョブ終了をメールで通知］

プリントを指示したあと、ジョブの終了をメールで通知するように設定できます。

- ［しない］*
- ［する］

  ［ジョブ終了をメールで通知］ダイアログボックスが表示されるので、メールアドレスを半角英数字 128 文字以内で入力します。

補足

- この機能を使用する場合は、プリンター側でメールを使えるように設定する必要があります。プリンター側の設定方法については、プリンターのマニュアルを参照してください。

［ユーザ定義用紙向き修正］

ユーザー定義用紙にプリントする場合に、用紙の向きを 90°回転してプリントするように設定できます。

- ［しない］
- ［する］*

［出力できない用紙サイズを表示］

プリント可能範囲を超える用紙サイズを、原稿サイズの選択肢やアプリケーションから設定できる用紙サイズとして表示するかしないかを設定します。

- ［しない］
- ［する］*

［逆順印刷］

ページ順にプリントするか、ページ順と逆にプリントするかを設定します。

- ［しない］*
- ［する］

補足

- 次の設定をしている場合に、この機能を設定できます。
  - プリンターアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると表示されるダイアログボックスの［詳細設定］タブで、［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックマークを付けている。
  - ［詳細設定］タブの［その他］の［メタファイルスプール］で、［する］を選択している。

［選択トレイの用紙種類指定］

［用紙 / 出力］タブの［用紙トレイ選択］で［トレイ 1］～［トレイ 3］を指定した場合に、プリンタードライバーで設定した用紙種類を、機器側で有効にするかどうかを設定します。

- ［しない］*
- ［する］

［サイズ混在出力時の画像の向き合わせ］

サイズ混在原稿の出力で、天地が逆転しないように該当するページをページ回転します。

- ［しない］
- ［する］*

［イメージ］

［左右反転印刷］

原稿の左右を反転してプリントするかどうかを設定します。

- ［はい］
- ［いいえ］*

［白黒反転印刷］

白色と黒色を反転させたイメージでプリントすることができます。

- ［はい］
- ［いいえ］*

［Image Enhancement］

Image Enhancement 機能を使用するかどうかを設定します。

［する］に設定すると、文字や図形の斜め線で発生しがちなギザギザが目立たないように、エッジ部分が滑らかなるよう処理します。

濃度が滑らかに変化するようなイメージ（ビットマップ）を含む原稿では、逆に滑らかな濃度変化が失われることがあります。その場合は、［しない］を選択してください。

- ［しない］
- ［する］*

補足

- ［カラー］タブで、［印刷モード］を［高速］、または［高画質］にすると、設定できます。
- ［する］、または［しない］のどちらを選択しても、プリント速度に変化はありません。

［プリンタードライバーの解像度］

プリンタードライバーが、Windows システムやアプリケーションに通知する解像度を設定します。

プリンタードライバーは、機器が持っている解像度を、Windows システムやアプリケーションに通知しますが、一部のアプリケーションでは、高解像度の値を通知した場合、描画に問題が発生することがあります。

このような場合に、通知する解像度を変更することで、問題を回避します。

- ［600dpi］*
- ［1200dpi］

補足

- ［カラー］タブの［印刷モード］が、［高精細（文字 / 線）］の場合に選択できます。

［破線再現］

点線が実線のようにプリントされてしまう場合、［する］に設定します。

- ［しない］*
- ［する］

注記

- アプリケーションによっては、この機能が有効にならないことがあります。
- 実線としてプリントされていた線が、点線でプリントされてしまうことがあります。

［レイアウト］

［原稿 180°回転］

原稿を 180°回転してプリントします。
［レイアウト］タブの［まとめて 1 枚］で［2 アップ］以上を選択した場合は、それぞれのページを回転してプリントします。

- ［しない］*
- ［よこ原稿］

- ［たて原稿］
- ［たてよこ原稿（封筒など）］

［とじしろ］

［設定］ボタンをクリックすると、［とじしろ］ダイアログボックスが表示されます。［とじしろ］ダイアログボックスでは、用紙に付けるとじしろの設定ができます。

［ダブルプリント］

原稿サイズより大きい用紙サイズで、1 つのページを 2 回繰り返して印刷するかどうかを指定します。

- ［しない］*
- ［する］

［その他］

［メタファイルスプール］

プリント時に、プリントデータを一時的に保存（スプール）する形式として、EMF（拡張メタファイル）形式を使用するか、RAW 形式を使用するかを設定します。

- ［する］
  EMF 形式でスプールします。プリント処理の時間が短くなります。
- ［しない］*
  プリンタードライバーが作成する RAW 形式でスプールします。EMF 形式で正しくプリントできない場合に使用します。プリント処理の時間は長くなります。

補足

- プリンターアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると表示されるダイアログボックスの［詳細設定］タブで、［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックマークを付けている場合に設定できます。

［ドキュメントモニターの使用］

ドキュメントモニターを使用するかしないかを設定します。

- ［する］*
- ［しない］

補足

- この項目は、ドキュメントモニターがインストールされている場合に表示されます。

［CID フォント］

プリンター側で CID フォントだけを使用するか、CID フォントと OCF フォントの両方を使用するかを設定します

- ［CID Native］*
  CID フォントだけを使用します。
- ［OCF Compatible］
  CID フォントと OCF フォントの両方を使用します。

［ヘルプ］

このボタンをクリックすると、プリンタードライバーのヘルプウィンドウが表示されます。

［バージョン情報］

［バージョン情報］ダイアログボックスについては、「［バージョン情報］」(P.97) を参照してください。

5　プリンタードライバーの設定（Macintosh）

プリンタードライバーの設定項目

プリンターオプションとプリンタードライバーの設定について説明します。

Mac OS 9.2.2 日本語版の場合と Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合では設定手順は異なりますが、設定項目は共通です。

プリンターオプションの設定

Mac OS 9.2.2 の場合

正しくプリントするために、ここでの設定は、必ず正しい内容にする必要があります。

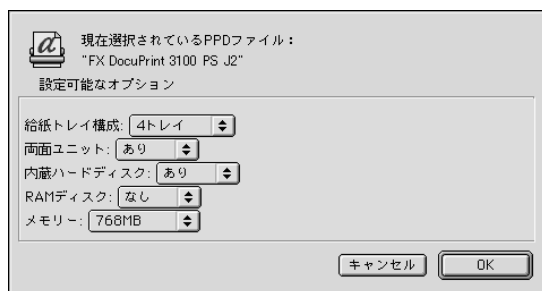
補足

- 通常、プリンターオプションは、プリンターとの双方向通信によって自動的に設定されます。ユーザーが設定を変える必要はありません。

1 セレクタでプリンターを選択し、［再設定］をクリックします。
［現在選択されている PPD ファイル］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［オプションの構成］をクリックします。

［設定可能なオプション］が表示されます。

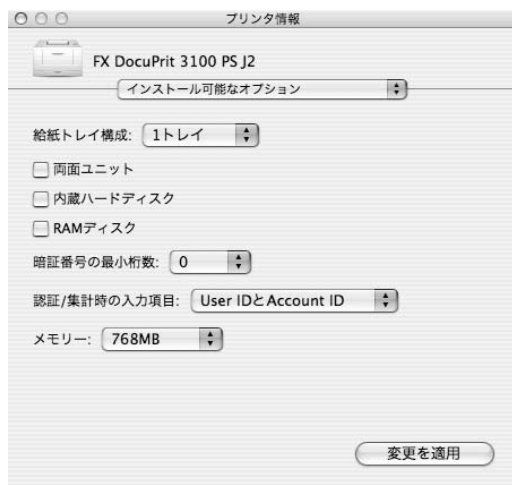
3 ［設定可能なオプション］で、設定したいオプションのメニュー項目を設定して、［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.3.9-10.4.11 の場合

正しくプリントするために、ここでの設定は、必ず正しい内容にする必要があります。

補足

- 通常、プリンターオプションは、プリンターとの双方向通信によって自動的に設定されます。ユーザーが設定を変える必要はありません。

1 ［プリンタ設定ユーティリティ］の［プリンタリスト］でプリンター名を選択し、［情報を見る］をクリックします。

2 ［インストール可能なオプション］を選択し、プリンターに装着されているオプションを選択します。

補足
- オプションは設定できますが、設定したオプションに関する機能とほかの機能との不整合に関する処理は働きません。

Mac OS X 10.5-10.6 の場合

正しくプリントするために、ここでの設定は、必ず正しい内容にする必要があります。

補足
- 通常、プリンターオプションは、プリンターとの双方向通信によって自動的に設定されます。ユーザーが設定を変える必要はありません。

1 ［システム環境設定］の［プリンタとファクス］でプリンター名を選択し、［オプションとサプライ］をクリックします。

2 ［ドライバ］を選択し、プリンターに装着されているオプションを選択します。

補足
- オプションは設定できますが、設定したオプションに関する機能とほかの機能との不整合に関する処理は働きません。

設定項目

設定できる項目は次のとおりです。

補足

- * は初期値です。

[給紙トレイ構成]

本機の給紙トレイ構成を設定します。

- [1 トレイ] *
- [2 トレイ]
- [3 トレイ]

[両面ユニット]

両面印刷モジュール（オプション）が接続されている場合に設定します。

- [なし] *
- [あり]

補足

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

[内蔵ハーデドディスク]

ハードディスク（オプション）が装着されている場合に設定します。

[あり] を選択すると、[プリント種類] で [セキュリティープリント]、[サンプルプリント]、[時刻設定プリント] が選択できるようになります。

- [なし] *
- [あり]

補足

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

[RAM ディスク]

増設システムメモリー（オプション）が装着されている場合に設定します。

[あり] を選択すると [プリント種類]、[セキュリティープリント]、[サンプルプリント]、[時刻設定プリント] が選択できるようになります。

- [なし] *
- [あり]

補足

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

[暗証番号の最小桁数]

蓄積用ユーザー ID、セキュリティプリントで設定する、暗証番号の最小桁数を設定します。

- [0] *
- [1] ～ [12]

［認証 / 集計時の入力項目］

認証管理をする場合に、使用する ID を選択します。

- ［User ID と Account ID］*
- ［User ID のみ］
- ［Account ID のみ］

［メモリー］

装着されているメモリーが表示されます。

- ［768MB］
- ［1280MB］

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーの設定について説明します。

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。
［プリント］画面が表示されます。

2 ［Fuji Xerox 詳細設定］を選択します。

Mac OS 9.2.2 をお使いの場合は、［プリンタ固有機能］を選択します。
Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 をお使いの場合は、手順 3 に進みます。

Mac OS 9.2.2 をお使いの場合は、手順 4 に進みます。

3 ［機能セット］を選択します。

4 選択肢の中から設定したい機能を選択します。

設定項目

設定できる項目は次のとおりです。

補足

- * は初期値です。
- Mac OS 9.2.2の場合は、[プリンタ固有機能] で設定する項目について、Mac OS X 10.3.9-10.4.11/ 10.5-10.6 の場合は、[Fuji Xerox 詳細設定] を選択し、[機能セット] から、[設定 1]、[設定 2]、[設定3]、[表紙/合紙]、[レイアウト]、[OHP合紙]、[詳細設定] で設定する項目について説明します。

[用紙種類]

手差しトレイから給紙する用紙の種類を設定します。[指定しない] を選択すると、プリンター側の設定が使用されます。

- [指定しない] *
- [普通紙]
- [普通紙うら紙]
- [再生紙]
- [OHP フィルム]
- [うす紙（60 ～ 90g/ ㎡）]
- [厚紙 1（91 ～ 157g/ ㎡）]
- [厚紙 2（158 ～ 216g/ ㎡）]
- [ユーザー定義用紙 1] ～ [ユーザー定義用紙 5]

[用紙色]

プリントに使用する用紙の色を指定します。

- [白] *
- [青]
- [黄色]
- [緑]
- [ピンク]
- [透明]
- [アイボリー]
- [グレー]
- [クリーム]
- [山吹色]
- [赤]
- [オレンジ]
- [ユーザー色 1] ～ [ユーザー色 5]
- [その他]
- [自動]

[排出先]

設定する必要はありません。

- [自動選択] *

[仕切り合紙]

複数ページの原稿を、複数の部数でソートしないでプリントする場合、ページの変わり目に仕切り用の合紙を挿入できます。

- [付けない] *
- [トレイ 1] ～ [トレイ 3]
- [トレイ 5（手差し）]

[ダブルプリント]

原稿サイズより大きい用紙サイズに、1 つのページを 2 回繰り返して印刷するかどうかを指定します。

- [しない] *
- [する]

補足
- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

[サイズ混在文書を印刷する]

両面プリントで、長辺をとじる用紙サイズと短辺をとじる用紙サイズを混在してプリントする場合に設定します。

- [しない] *

  うら面の向きを調整しないでそのままプリントします。
- [する]

  とじる方向に合わせてうら面にプリントする向きを調整します。

補足
- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

[ユーザー定義用紙向き修正]

ユーザー定義用紙にプリントする場合に、用紙の向きを 90° 回転してプリントするように設定できます

- [する] *
- [しない]

補足
- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定できます。

[手差し用紙の給紙方向]

用紙トレイ 5(手差し)を使用してプリントする場合の用紙のセット方向を設定します。用紙トレイ 5(手差し)に用紙の短辺をあわせてセットする場合は[たて置き優先]、用紙の長辺をあわせてセットする場合は[よこ置き優先]となります。用紙のサイズによって、向きが限定されている場合は、ここの設定は無効になり、用紙をセットした方向でプリントされます。

- [よこ置き優先] *
- [たて置き優先]

[白紙節約]

白紙ページを含む文書をプリントする場合に、白紙ページをプリントするかどうかを設定します。

- [しない] *
- [する]

補足
- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定できます。

[用紙の置き換え]

[一般設定] の [給紙方法] で [自動選択] を選択した場合に、プリントするサイズの用紙がプリンターにセットされていないときの動作を設定します。

- [プリンタの設定を用いる] *

  プリンター側の設定を使用します。設定については、プリンターの操作パネルで確認してください。

- [用紙補給を表示する]

  操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまでプリントされません。

- [近いサイズを選択（縮小 / 等倍）]

  最も近いサイズの用紙を選択して、等倍、または必要に応じて自動的にイメージを縮小してプリントします。

- [近いサイズを選択（等倍）]

  最も近いサイズの用紙を選択して、等倍でプリントします。

- [大きいサイズを選択（縮小 / 等倍）]

  原稿サイズより大きな用紙を選択して、等倍、または必要に応じて自動的にイメージを縮小してプリントします。

- [大きいサイズを選択（等倍）]

  原稿サイズより大きな用紙に、等倍でプリントします。

- [手差しトレイから給紙する]

  指定されたサイズの用紙が用紙トレイにない場合、用紙トレイ 5（手差し）から給紙します。

[選択トレイの用紙種類指定]

[用紙トレイ選択] で [トレイ 1] ～ [トレイ 3] を指定した場合に、プリンタードライバーで設定した用紙種類を、機器側で有効にするかどうかを設定します。

- [しない] *
- [する]

補足

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

[Image Enhancement]

Image Enhancement 機能を使用するかどうかを設定します。
[する] に設定すると、プリント全面のエッジ部が滑らかにプリントされます。

なお、粗い網点で構成されたイメージ（ビットマップ）をプリントすると、滑らかな階調再現ができない場合があります。この場合は、[しない] に設定してください。

- [する] *
- [しない]

補足

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。
- [する]、または [しない] のどちらを選択しても、プリント速度に変化はありません。

［トナー節約］

トナー節約機能を使用するかどうか設定します。［する］に設定すると、トナーの消費量を少なくしてプリントするので、全体的に色が薄くなります。画質にこだわらないドラフト原稿などをプリントするときに使用すると、トナーを節約できます。

- ［しない］*
- ［ややうすい（節約量小）］
- ［うすい（節約量大）］
- ［かなりうすい（ドラフト）］

補足

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

［印刷モード］

プリントするときの画質を指定します。

- ［標準］*
- ［高精細］

［ハーフトーン］

プリントする原稿の特徴に合わせて、イメージを描画する網点の細かさを調整します。

- ［Type1- 細かい網点］*
- ［Type1- 粗い網点］
- ［Type3- 細かい網点］
- ［Type3- 粗い網点］

［CID フォント］

プリンター側で CID フォントだけを扱うモードにするかどうか、OCF フォントも使用できるようにするかどうかを設定します。

CID フォントだけを扱う場合は［CID Native］、CID フォントと OCF フォント両方扱う場合は［OCF Compatible］を選択します。

- ［CID Native］*
- ［OCF Compatible］

補足

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合は、チェックボックスをオンにすると CID フォントだけを扱うモードになり、チェックボックスをオフにすると CID フォントと OCF フォント両方扱うモードになります。

［表紙 / 合紙］-［おもて表紙］

おもて表紙を付けるかどうかを設定します。おもて表紙を付ける場合は、表紙に使用する用紙トレイを設定します。

- ［付けない］*
- ［トレイ 1］～［トレイ 3］
- ［トレイ 5（手差し）］

[表紙 / 合紙] - [うら表紙]

うら表紙を付けるかどうかを設定します。うら表紙を付ける場合は、表紙に使用する用紙トレイを設定します。

- [付けない] *
- [トレイ 1] ～ [トレイ 3]
- [トレイ 5（手差し）]

[表紙 / 合紙] - [合紙]

合紙を付けるかどうかを選択します。合紙を付ける場合は、[付ける位置を指定] ダイアログボックスで合紙を挿入する位置を指定します。

- [付けない] *
- [トレイ 1] ～ [トレイ 3]
- [トレイ 5（手差し）]

■[設定] ボタン

[設定] ボタンをクリックすると、[付ける位置を指定] ダイアログボックスが表示されます。

合紙を挿入する位置を、[付ける位置] にページ数で指定します。

合紙は、指定したページの前に挿入されます。

補足

- MacOS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合に設定できます。

[表紙 / 合紙] - [表紙 / 合紙の用紙種類]

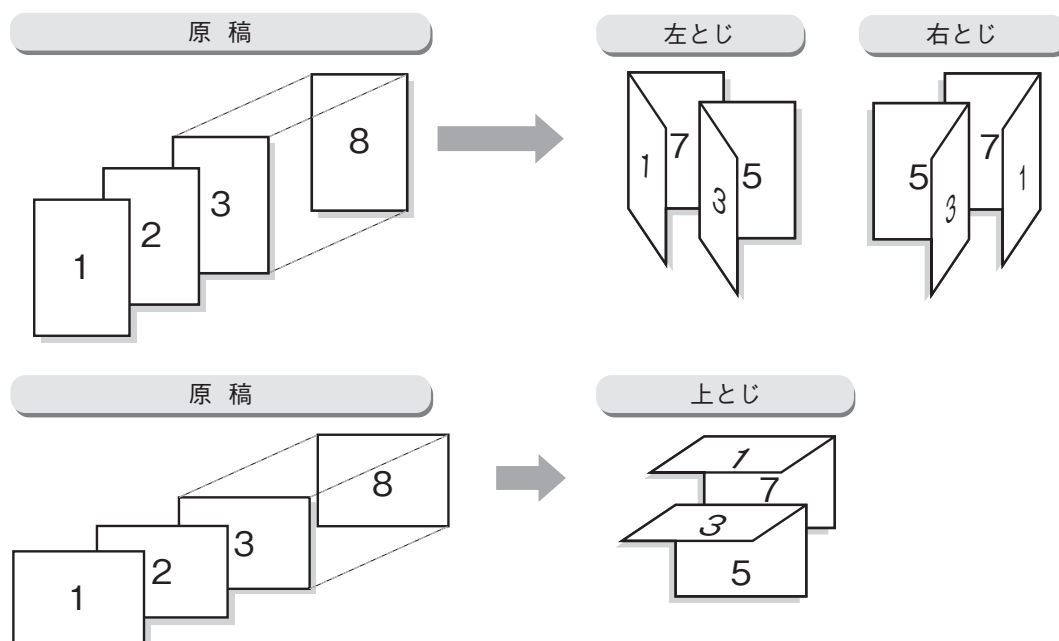
手差しトレイを使用する場合の用紙の種類を指定します

- [プリンターの設定を用いる] *
- [普通紙]
- [普通紙うら面]
- [再生紙]
- [OHP フィルム]
- [うす紙（60 ～ 90g/ ㎡）]
- [厚紙 1（91 ～ 157g/ ㎡）]
- [厚紙 2（158 ～ 216g/ ㎡）]
- [ユーザー定義用紙 1 ～ 5]

[製本]

製本するときの面付けと後処理の方法を指定します。
[左とじ / 上とじ]、[右とじ / 下とじ] を選択すると製本を行います。

- [しない] *
- [左とじ / 上とじ]
- [右とじ / 下とじ]

次に、製本時にどのようにプリントされるかを示します。
原稿イメージに対し、左とじ、右とじ、上とじして、二つ折りした場合の例です。

[製本の出力用紙サイズ]

製本をするときの出力サイズを指定します。

- [プリンターの設定を用いる] *
- [A3]
- [A4]
- [B4]

補足

- 製本する場合に、トレイの給紙方法から選択できるのは［自動選択］だけです。あらかじめ給紙方法から［自動選択］以外を選択している場合は、製本は設定できません。
- ［プリンタの設定を用いる］が選択された場合、原稿サイズに対して、出力用紙サイズは次のようになります。

原稿サイズ	出力サイズ
A4	A3 出力
A3	A3 出力
A5	A4 出力
B4	B4 出力
B5	B4 出力

- ［トレイ 1 の用紙］、［トレイ 2 の用紙］、［トレイ 3 の用紙］を選択した場合は、次の原稿サイズとの組み合わせとなる用紙がトレイにセットされていないとプリントできません。

原稿サイズ	出力サイズ
A3	A4 または A3
A4	A4 または A3
A5	A4 または A3
B4	B4
B5	B4

［製本の分冊］

分冊にして製本する場合の枚数を指定します。

- ［しない］*
- ［1 枚ごと］～［25 枚ごと］

［製本の枠線］

製本した原稿の各ページに枠線をつけます。

- ［つけない］*
- ［つける］

補足

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

［中とじしろをつける］

中とじで、二つ折りにしたときに中とじ部分の印字が見えにくくなるのを防ぐため、用紙の中央にとじしろをつけます。

- ［つけない］*
- ［つける］

補足
- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合はチェックボックスで設定します。

■［設定］ボタン

［つける］を指定した場合に、［設定］ボタンをクリックすると、［中とじしろをつける］ダイアログボックスが表示されます。

［自動縮小する］、［とじしろ幅］を設定できます。

補足
- MacOS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合に設定できます。

［OHP 合紙用トレイ選択］

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の給紙トレイを設定します。

［自動］を選択すると、給紙トレイはプリンター側で設定されている用紙トレイが使用されます。

- ［しない］*
- ［自動］
- ［トレイ 1］〜［トレイ 3］
- ［トレイ 5（手差し）］

［OHP 合紙のプリント］

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙のプリント方法を設定します。

- ［しない（白紙挿入）］*
  白紙が挿入されます。
- ［する］
  OHP フィルムにプリントする内容と同じ内容を合紙にプリントして挿入します。

［OHP 合紙の用紙種類］

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の用紙種類を設定します。

［プリンターの設定を用いる］を選択すると、プリンター側で設定されている用紙種類が使用されます。

- ［プリンターの設定を用いる］*
- ［普通紙］
- ［普通紙うら面］
- ［再生紙］
- ［うす紙（60 〜 90g/ ㎡）］
- ［厚紙 1（91 〜 157g/ ㎡）］
- ［厚紙 2（158 〜 216g/ ㎡）］
- ［ユーザー定義用紙 1 〜 5］

［プリント種類］の設定項目

Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合、［プリント種類］に切り替えたときの設定項目について説明します。

［プリント種類］

プリントの種類を設定します。

- ［通常プリント］*

  通常のプリントをする場合に設定します。

- ［セキュリティープリント］

  プリントを指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、プリントしたいときにプリンター側の指示で出力する機能です。

補足

- 暗証番号を設定していない場合は、プリンター側で暗証番号を入力することなく出力できます。

- ［サンプルプリント］

  複数部数をプリントする場合に、まず 1 部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数をプリンター側の指示で出力させる機能です。

  サンプルプリントをする場合は、プリント部数を 2 部以上に設定します。

- ［時刻指定プリント］

  プリントを指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、指定した時刻に出力する機能です。指定した時刻に電源が切ってあった場合は、電源が入ってからプリントされます。

■［ユーザー ID］

セキュリティープリントとサンプルプリントで使用される、ユーザー ID を入力します。ユーザー ID は、半角で 8 文字以内で入力します。

■［暗証番号］

セキュリティープリントの［ユーザー ID］に対応する、暗証番号を入力します。半角数字 12 文字以内で入力します。番号は、アスタリスク（*）で表示されます。

補足

- 暗証番号を設定していない場合は、プリンター側で暗証番号を入力することなく出力できます。

■［蓄積する文書名］

セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントで、プリンターに保存する文書の名前の指定方法を選択します。［自動取得］または［文書名を入力する］から選択します。

- ［自動取得］

  文書名はプリントを指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角で 12 文字を超える部分は無効になります。

- ［文書名を入力する］*

  ［文書名］に文書の名前を入力します。

■［文書名］

［蓄積する文書名］で［文書名を入力する］を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数字で 12 文字以内です。

■［印刷開始時刻］

時刻指定プリントを選択した場合に、プリントを開始する時刻を指定します。指定した時刻に電源が切ってあった場合は、電源が入ってからプリントされます。指定できる時刻の範囲は、00:00 ～ 23:59 です。

［認証情報］の設定項目

Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合、［認証情報］に切り替えたときの設定項目について説明します。

［認証管理モード］

認証に関係する各種の設定について、各ユーザーが変更できるようにするかどうか、管理者が決めた設定をそのまま使用するかどうかを選択します。

- ［管理者］

  集計管理は管理者が設定したモードで動作し、ユーザーは変更できなくなります。プリンターアイコンごとに、異なる設定ができます。

- ［ユーザー］＊

  各ユーザーが、集計管理の設定を変更できるようになります。ユーザーごとに、異なる設定ができます。

［使用する認証情報］

認証情報として、認証用 ID と蓄積用 ID のどちらを使用するかを設定します

- ［User ID/Account ID］＊

  認証用 User ID を入力できます。

- ［蓄積用ユーザー ID］

  蓄積用ユーザー ID を入力できます。

- ［すべて］

  認証用 User ID または蓄積用ユーザー ID を入力できます。

［認証情報の設定］

［認証情報の設定］をクリックすると、［認証情報の設定］ダイアログボックスが表示されます。プリント出力するときのユーザー認証のための各種設定を行います。

補足

- 現在ログオンしているユーザーに、プリンターの設定へのアクセス権がない場合、この項目はグレー表示になり、設定を変更できません。

補足

- ［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

［常に同じ認証情報を使用する］

この項目を選択すると、プリント時に、ここで設定した認証情報が使用されるようになります。

■［User ID の指定］

User ID の指定方法を選択します。User ID は、プリントジョブの集計機能を使用するときに使用されます。

- ［ログイン名を使用する］*

  User ID として、Macintosh のログイン名が使用されます。

  ［User ID］に「ログインユーザー名」が表示され、［User ID］のテキストボックスは編集できない状態になります。ログイン名の最大文字数は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）です。

- ［ID を入力する］

  User ID を任意に指定したい場合に選択します。

■［User ID］

［User ID］に、任意の User ID を入力します。［User ID の指定］で［ID を入力する］を選択した場合、User ID を半角で 32 文字（全角で 16 文字）以内で入力します。

■［パスワード］

User ID に対するパスワードを、半角の英数字 4 ～ 12 文字で入力します。

入力したパスワードは、アスタリスク（*）で表示されます。

■［Account ID］

集計管理するための Account ID を入力します。半角の英数字 32 文字以内で入力します。

■［蓄積用ユーザー ID］

蓄積したプリントジョブを、機器側で検索するために、蓄積用ユーザー ID を登録します。
入力した文字列は、機器の認証プリント機能で、保存文書の名前として表示されます。
蓄積用ユーザー ID は、半角英数字で 8 文字以内で入力します。

補足
- プリンター側の認証プリントの受信制御で、ジョブを保存する設定にしてください。

■［暗証番号］

蓄積用ユーザーID に対する暗証番号を入力します。半角英数文字で 12 文字以内で入力します。入力した番号は、●で表示されます。

［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］

このボタンを選択すると、プリントを指示したときに［認証情報の入力］ダイアログボックスが表示されます。ユーザーは、ユーザー名やパスワードなどを入力してプリントを開始します。

■［前回入力した情報を表示する］

［認証情報の入力］ダイアログボックスの設定画面に、前回設定したユーザーの認証情報が表示されます。前回設定したユーザーの認証情報は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。

■［User ID の入力文字を隠す］

［認証情報の入力］ダイアログボックスの設定画面で入力したユーザー ID を、●で表示します。

■［Account ID の入力文字を隠す］

［認証情報の入力］ダイアログボックスの設定画面で入力したアカウント ID を、●で表示します。

［認証情報の入力］ダイアログボックス

［認証情報の設定］ダイアログボックスで、［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選択すると、プリントを指示したときに、［認証情報の入力］ダイアログボックスが表示されます。
［使用する認証情報］の設定によって表示される項目が異なります。

［使用する認証情報］で［User ID/Account ID］を選択した場合

［User ID］、［パスワード］、［Account ID］の項目が表示されます。

■［User ID］

プリンターに登録されている User ID（ジョブオーナー名）を入力します。User ID は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）以内で入力します。

■［Account ID］

集計管理するための Account ID を入力します。半角の英数字で 32 文字以内で入力します。

■［パスワード］

User ID に対するパスワードを、半角の英数字 4 ～ 12 文字で入力します。

入力したパスワードは、●で表示されます。

［使用する認証情報］で［蓄積用ユーザー ID］を選択した場合

［蓄積用ユーザー ID］、［暗証番号］の項目が表示されます。

■［蓄積用ユーザー ID］

一般ユーザーが任意に課金管理の設定を変更できないように制限するために蓄積用ユーザー ID を登録します。蓄積用ユーザー ID は、半角で 8 文字（全角で 4 文字）以内で入力します。

■［暗証番号］

蓄積用ユーザー ID に対する暗証番号を、半角の数字で 12 文字以内で入力します。

入力した番号は、●で表示されます。

［スタンプ］の設定項目

Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 の場合、［スタンプ］に切り替えたときの設定項目について説明します。

［スタンプ］

原稿に重ねてプリントするスタンプについて設定できます。

リストボックスから使用したいスタンプを選択します。リストボックスに選択できる項目がない場合は、［新規登録］ボタンをクリックして表示される［スタンプ］ダイアログボックスで新しいスタンプを登録できます。

［編集］ボタン

［スタンプ］リストボックスからスタンプを選択して、このボタンをクリックすると［スタンプ編集］ダイアログボックスが表示され、登録されているスタンプを編集できます。

［削除］ボタン

［スタンプ］リストボックスからスタンプを選択して、このボタンをクリックすると登録されているスタンプを削除できます。

［新規登録］ボタン

このボタンをクリックすると、［スタンプ］ダイアログボックスが表示され、新しいスタンプを表示できます。スタンプは 32 個まで登録できます。

［スタンプ］ダイアログボックス

［登録名］

［スタンプ］リストボックスに表示する名前を指定します。入力できる文字数は、全角、半角で 32 文字以内です。

［プレビュー］

［スタンプ］ダイアログボックスの各項目の設定内容を表すイメージが表示されます。スタンプを設定するときの参考になります。

フォント名で指定されたスクリーンフォントが OS にインストールされていない場合、正しく表示されません。テキストに日本語を使用した場合、日本語フォント名を選択してください。欧文フォントを選択した場合、スタンプが正しく表示および印字できません。

［テキスト］

スタンプに表示したい文字を入力します。文字数は半角で 64 文字（全角で 32 文字）以内で入力します。

色ボタン

スタンプの色を選択できます。［色の作成］で、作成した色を登録できます。

［フォント名］

スタンプで使用するフォントの種類を選択します。

フォント名では、プリンター本体に搭載されたテキストのフォントとして指定します。

［サイズ］

スタンプで使用する文字のサイズを指定します。7 ～ 600 ポイント範囲で、1 ポイント単位に指定できます。キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

［角度］

スタンプの角度を指定します。0 ～ 360°の範囲で 1°単位に、キー入力、スライドバー、または▲▼ボタンで指定します。

［濃度］

スタンプの濃度を指定します。0 ～ 100% の範囲で 1% 単位に、キー入力、スライドバー、または▲▼ボタンで指定します。

［位置］

スタンプの位置を指定します。スタンプの位置は、用紙の中央から、左右と上下の方向に指定します。

■［左右］

スタンプの左右の位置を指定します。ミリ単位の場合は 1mm 刻みに、インチ単位の場合は 0.1inch 刻みに指定します。キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

■［上下］

スタンプの上下の位置を指定します。ミリ単位の場合は 1mm 刻みに、インチ単位の場合は 0.1inch 刻みに指定します。キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

■［ミリ］または［インチ］

［位置］の単位表示をミリメートルまたはインチに切り替えます。

［中心に戻す］ボタン

クリックすると、指定したスタンプの位置を、用紙の中央に戻します。

6　バーコード /OCR-B の設定

バーコード /OCR-B について

PostScript ソフトウエアキットを装着することによって、バーコードをプリントできる機種について、対応するバーコードの種類、バーコードキャラクタに割り当てられた文字コード、プリントされるバーコードのサイズなどについて説明しています。

補足

- 本書は、バーコードの基本的な知識を習得されていることを前提に説明しています。

フォントの種類と文字コード

対応するバーコードの種類は、次の表のとおりです。

参照

- プリントされるバーコードのサイズについては、「バーコードのサイズ」(P.165) を参照してください。
- 各バーコードキャラクタを指定する場合に使用する文字コードは、「文字コード表」(P.156) を参照してください。

バーコードの種類	PS フォント名	文字コード表の参照先
JAN	HitachiITHINJANH8-RG	「JAN 文字コード表」(P.156)
CODE39	HitachiIT-C39H8	「CODE39 文字コード表」(P.157)
NW7	HitachiITHINNW7H8-RG	「NW7 文字コード表」(P.158)
CODE128	HitachiITHINC128H8-RG	「CODE128 文字コード表」(P.159)
ITF（ベアラーバーなし）	HitachiITHINITFH8-RG	「ITF（Interleaved 2 of 5）文字コード表」(P.162)
ITF（ベアラーバーあり）	HitachiITHINITFB-RG	
カスタマバーコード	HitachiITHINPOSTBC-RG	「カスタマバーコード文字コード表」(P.164)

フォントの種類	PS フォント名
OCR B LetterPress M	OCRBLetM

注記

- バーコードの読み取り性能は、プリントする用紙やバーコードリーダーの性能などに大きく依存します。導入前に、ご利用される環境で十分な検証を実施されることを推奨します。

サンプルプログラムと出力結果について

バーコードの種類ごとに代表的なバーコードをプリントするサンプルプログラムと、サンプルプログラムの出力結果の PDF を用意しています。バーコードをプリントする際の参考にしてください。

■サンプルプログラム・出力結果 PDF 格納先

PostScript ソフトウエアキットに付属の CR-ROM「PostScript Driver Library」の次の階層にあります。

「Japanese」フォルダー＞「Manual」フォルダー＞「Barcode_Sample」フォルダー内

■サンプルプログラム名

sample.ps

■出力結果 PDF 名

sample.pdf

文字コード表

バーコードキャラクタを指定する際に使用する文字コードを、バーコードの種類ごとに説明します。

JAN 文字コード表

JAN のバーコードキャラクタをプリントする際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード					
	左側奇数パリティ		左側偶数パリティ		右側偶数パリティ	
	HEX 表現	ASCII 表現	HEX 表現	ASCII 表現	HEX 表現	ASCII 表現
0	30	0	41	A	4B	K
1	31	1	42	B	4C	L
2	32	2	43	C	4D	M
3	33	3	44	D	4E	N
4	34	4	45	E	4F	O
5	35	5	46	F	50	P
6	36	6	47	G	51	Q
7	37	7	48	H	52	R
8	38	8	49	I	53	S
9	39	9	4A	J	54	T
左側ガードバー	22	"				
右側ガードバー	23	#				
センターバー	21	!				

CODE39 文字コード表

CODE39 のバーコードキャラクタをプリントする際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
$	24	$	8	38	8	M	4D	M
%	25	%	9	39	9	N	4E	N
*	2A	*	(SP)	20	SP	O	4F	O
+	2B	+	A	41	A	P	50	P
-	2D	-	B	42	B	Q	51	Q
.	2E	.	C	43	C	R	52	R
/	2F	/	D	44	D	S	53	S
0	30	0	E	45	E	T	54	T
1	31	1	F	46	F	U	55	U
2	32	2	G	47	G	V	56	V
3	33	3	H	48	H	W	57	W
4	34	4	I	49	I	X	58	X
5	35	5	J	4A	J	Y	59	Y
6	36	6	K	4B	K	Z	5A	Z
7	37	7	L	4C	L	(SP)	40	@

NW7 文字コード表

NW7 のバーコードキャラクタをプリントする際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
$	24	$	0	30	0	A	41	A
+	2B	+	1	31	1	B	42	B
-	2D	-	2	32	2	C	43	C
.	2E	.	3	33	3	D	44	D
/	2F	/	4	34	4	A	61	a
			5	35	5	B	62	b
			6	36	6	C	63	c
			7	37	7	D	64	d
			8	38	8			
			9	39	9			
			:	3A	:			

CODE128 文字コード表

CODE128 のバーコードキャラクタをプリントする際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
0	SP	SP	00	20	SP
1	!	!	01	21	!
2	"	"	02	22	"
3	#	#	03	23	#
4	$	$	04	24	$
5	%	%	05	25	%
6	&	&	06	26	&
7	'	'	07	27	'
8	(	(	08	28	(
9	)	)	09	29	)
10	*	*	10	2A	*
11	+	+	11	2B	+
12	,	,	12	2C	,
13	-	-	13	2D	-
14	.	.	14	2E	.
15	/	/	15	2F	/
16	0	0	16	30	0
17	1	1	17	31	1
18	2	2	18	32	2
19	3	3	19	33	3
20	4	4	20	34	4
21	5	5	21	35	5
22	6	6	22	36	6
23	7	7	23	37	7
24	8	8	24	38	8
25	9	9	25	39	9
26	:	:	26	3A	:
27	;	;	27	3B	;
28	<	<	28	3C	<
29	=	=	29	3D	=
30	>	>	30	3E	>
31	?	?	31	3F	?
32	@	@	32	40	@
33	A	A	33	41	A

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
34	B	B	34	42	B
35	C	C	35	43	C
36	D	D	36	44	D
37	E	E	37	45	E
38	F	F	38	46	F
39	G	G	39	47	G
40	H	H	40	48	H
41	I	I	41	49	I
42	J	J	42	4A	J
43	K	K	43	4B	K
44	L	L	44	4C	L
45	M	M	45	4D	M
46	N	N	46	4E	N
47	O	O	47	4F	O
48	P	P	48	50	P
49	Q	Q	49	51	Q
50	R	R	50	52	R
51	S	S	51	53	S
52	T	T	52	54	T
53	U	U	53	55	U
54	V	V	54	56	V
55	W	W	55	57	W
56	X	X	56	58	X
57	Y	Y	57	59	Y
58	Z	Z	58	5A	Z
59	[	[	59	5B	[
60	\	\	60	5C	\
61	]	]	61	5D	]
62	^	^	62	5E	^
63	_	_	63	5F	_
64	NUL	`	64	60	`
65	SOH	a	65	61	a
66	STX	b	66	62	b
67	ETX	c	67	63	c
68	EOT	d	68	64	d
69	ENQ	e	69	65	e
70	ACK	f	70	66	f
71	BEL	g	71	67	g

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
72	BS	h	72	68	h
73	HT	I	73	69	I
74	LF	j	74	6A	j
75	VT	k	75	6B	k
76	FF	l	76	6C	l
77	CR	m	77	6D	m
78	SO	n	78	6E	n
79	SI	o	79	6F	o
80	DLE	p	80	70	p
81	DC1	q	81	71	q
82	DC2	r	82	72	r
83	DC3	s	83	73	s
84	DC4	t	84	74	t
85	NAK	u	85	75	u
86	SYN	v	86	76	v
87	ETB	w	87	77	w
88	CAN	x	88	78	x
89	EM	y	89	79	y
90	SUB	z	90	7A	z
91	ESC	{	91	7B	{
92	FS	¦	92	7C	¦
93	GS	}	93	7D	}
94	RS	~	94	7E	~
95	US	DEL	95	7F	
96	FNC 3	FNC 3	96	A1	
97	FNC 2	FNC 2	97	A2	
98	SHIFT	SHIFT	98	A3	
99	CODE C	CODE C	99	A4	
100	CODE B	FNC 4	CODE B	A5	
101	FNC 4	CODE A	CODE A	A6	
102	FNC 1	FNC 1	FNC 1	A7	
103	START（CODE A）			A8	
104	START（CODE B）			A9	
105	START（CODE C）			AA	
106	STOP			AB	

ITF（Interleaved 2 of 5）文字コード表

ITF のバーコードキャラクタをプリントする際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
00	21	!	30	3F	?	60	5D	]
01	22	"	31	40	@	61	5E	^
02	23	#	32	41	A	62	5F	_
03	24	$	33	42	B	63	60	`
04	25	%	34	43	C	64	61	a
05	26	&	35	44	D	65	62	b
06	27	'	36	45	E	66	63	c
07	28	(	37	46	F	67	64	d
08	29	)	38	47	G	68	65	e
09	2A	*	39	48	H	69	66	f
10	2B	+	40	49	I	70	67	g
11	2C	,	41	4A	J	71	68	h
12	2D	-	42	4B	K	72	69	i
13	2E	.	43	4C	L	73	6A	j
14	2F	/	44	4D	M	74	6B	k
15	30	0	45	4E	N	75	6C	l
16	31	1	46	4F	O	76	6D	m
17	32	2	47	50	P	77	6E	n
18	33	3	48	51	Q	78	6F	o
19	34	4	49	52	R	79	70	p
20	35	5	50	53	S	80	71	q
21	36	6	51	54	T	81	72	r
22	37	7	52	55	U	82	73	s
23	38	8	53	56	V	83	74	t
24	39	9	54	57	W	84	75	u
25	3A	:	55	58	X	85	76	v
26	3B	;	56	59	Y	86	77	w
27	3C	<	57	5A	Z	87	78	x
28	3D	=	58	5B	[	88	79	y
29	3E	>	59	5C	\	89	7A	z
90	7B	{	94	A1		98	A5	
91	7C	¦	95	A2		99	A6	
92	7D	}	96	A3		スタート	A7	
93	7E	~	97	A4		ストップ	A8	

ITF では、バーで表すキャラクタとスペースで表すキャラクタの 2 つのキャラクタの組を 1 つの文字コードで指定します。

ただし、スタートキャラクタとストップキャラクタは1つの文字コードで指定します。

例：

「3」の意味を持つバーと「7」の意味を持つスペースのキャラクタの組をプリントする場合は、「46」（HEX 表現）を指定します。

「7」の意味を持つバーと「3」の意味を持つスペースのキャラクタの組をプリントする場合は、「6A」（HEX 表現）を指定します。

カスタマバーコード文字コード表

カスタマバーコードのバーコードキャラクタをプリントする際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
スタート	3C	<	CC1	61	a
ストップ	3E	>	CC2	62	b
-	2D	-	CC3	63	c
0	30	0	CC4	64	d
1	31	1	CC5	65	e
2	32	2	CC6	65	f
3	33	3	CC7	67	g
4	34	4	CC8	68	h
5	35	5			
6	36	6			
7	37	7			
8	38	8			
9	39	9			

バーコードのサイズ

プリントされるバーコードのおおよその大きさを求める計算式は、次の表のとおりです。

プリントされるバーコードのサイズは、使用するプリンターの特性、解像度、プリント用紙などによって、同じプログラムでも異なることがあります。この表の計算式によって算出した値は、実際にプリントされるバーコードのサイズを保証するものではありません。プリントするバーコードの全長などを見積もる際の目安として利用してください。

バーコードの種類	計算式	
	幅	高さ
JAN（標準）	P × 0.502	P × 0.352
	左右のマージンは含みません。	ガードバーの高さを示します。
JAN（短縮）	P × 0.354	P × 0.352
	左右のマージンは含みません。	ガードバーの高さを示します。
CODE39	P ×（C+2）× 0.106	P × 0.352
	左右端のキャラクタ間ギャップは含みません。 C は、チェックディジットを含みます。	
NW7	P ×（C1 × 0.132+C2 × 0.148-0.026）	P × 0.352
	左右端のキャラクタ間ギャップは含みません。 C1、または C2 は、チェックディジットを含みます。	
CODE128	P ×（C × 0.081+0.096）	P × 0.352
	モード C の場合の計算式です。	
ITF（ベアラーバーなし）	P ×（(C/2 × 0.175）+0.093）	P × 0.352
	クワイエットゾーンは含みません。 C は、チェックディジットを含みます。	
ITF（ベアラーバーあり）	P ×（(C/2 × 0.137）+0.323）	P × 0.352
	ベアラーバー、およびクワイエットゾーンを含みます。 C は、チェックディジットを含みます。	ベアラーバーを含みます。
カスタマバーコード	P × 7.297	P × 0.342
	スタートコードの黒バー以前、およびストップコードの黒バー以降のスペースは含みません。	ロングバーの高さを示します。

P： フォントサイズ（ポイント数）
C： キャラクタ数
C1：キャラクタ数（0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、-、$）
C2：キャラクタ数（:、/、.、+、A、B、C、D）

索引

記号・英数

イ

オ

キ

サ

シ

ス

ソ

タ

ト

ニ

ハ

フ

ヘ

ユ

ヨ

リ

レ

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守、操作、修理**（内容、期間、費用）のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

保守・操作の問い合わせ、
消耗品のご用命は、
裏面の電話番号へご連絡ください。

●裏面の記入がない場合の連絡先
富士ゼロックス株式会社
プリンターサポートデスク
TEL：0120-66-2209
受付時間 9:00~17:30
（土 、日、祝日および弊社指定休業日をのぞく）

A-24017D　FUJI xerox

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：**0120-14-1046**

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時～17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。
担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。
TEL：0120-88-8641　　FAX：0120-22-6993
受付時間：9時～12時、13時～17時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint 3100/3000
PostScript ユーザーズガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行年月 ― 2010 年 10 月　第 1 版

（帳票 No:ME4948J1-1）